

FMV

DESK POWER

LX90S/D,LX90SN,LX70S/D,LX70SN,
LX65S,LX65SN,LX55S/D,LX55SN,
LX50S/DS,LX50S/D,LX50S,LX50SN

さあ、はじめましょう)))

パソコンの準備



1 各部名称

2 使い始める前に

3 接続する

4 パソコンを準備する

5 周辺機器の
設置／設定／増設

6 仕様一覧

知りたいことを調べるには

さあ、
はじめましょう

パソコンの準備

使い始めるまでの準備はこれでバッチリ。



パソコンの準備
の後は

FMV活用ガイド

基本や活用、セキュリティからトラブル解決までこれ一冊。



テレビチューナー
内蔵の機種なら

FMVで見る・録る・残すガイド

テレビや音楽を、見たり聴いたり録ったりして楽しむには、
これ! [注1]

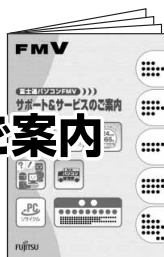
注1: テレビチューナー内蔵機種のみ添付
(ただし、Microsoft®Windows®XP Media Center Edition2005搭載機種には非添付)



サポートに
ついては...

サポート&サービスのご案内

どうしても問い合わせないとわからない...。
そんなときはこれ!



ちょっと確認!

基本操作クイックシート

手元にあると便利、文字入力の早見表! [注2]
(二つ折りになっています)

注2: FMV-BIBLO LOOXシリーズには添付されておりません



マニュアルは「本」だけではありません!



パソコン画面にも
マニュアルがあります

起動方法

「スタート」ボタン

すべてのプログラム

富士通サービスアシスタント
(マニュアル&サポート)

パソコンが初めての方でも安心!
パソコン入門

パソコンの基本操作や
文字入力を楽しむ学習
したいならこれ!



FMVの使い方を知るには
画面で見るマニュアル

ソフトウェア、ハードウ
ェア、インターネットな
どの説明からトラブル
シューティングまで、
幅広い情報を集結!



※この他にも、役に立つ情報が盛りだくさんです。



テクニカルコミュニケーター協会が定める
「画面で見るマニュアル標準マーク」です。

※この他にも、マニュアルや重要なお知らせなどの紙、冊子類があります。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第2章 使い始める前に (●▶P.33)



必要な機器を接続します

第3章 接続する (●▶P.49)



電源を入れてパソコンを使う準備をします

第4章 パソコンを準備する
2 初めて電源を入れる (●▶P.72)

目的に合わせてお読みください

- メモリを増やしたい (●▶P.137)
- 仕様を確認したい (●▶P.160)

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクやCD/DVDなどの媒体にバックアップをお取りください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後6年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただきます。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアが別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

- 1. 本ソフトウェアの使用および著作権**
お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
- 2. バックアップ**
お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
- 3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み**
本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
- 4. 複製**
 - (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
 - (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないで行ってください。
- 5. 第三者への譲渡**
お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。
- 6. 改造等**
お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをとまなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- 7. 壁紙の使用条件**
お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
- 8. 保証の範囲**
 - (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
 - (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知られていた場合も同様とします。
 - (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
- 9. ハイセイフティ**
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

インスタント MyMedia 使用許諾契約書について

本製品には、「インスタント MyMedia」が搭載されています。お使いになる前に、『FMV で見ると・録る・残すガイド』の巻頭にある「インスタント MyMedia 使用許諾契約書」をご確認ください。

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております (<http://www.microsoft.com/japan/>)。

お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。

したがって、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。

ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合がありますので、ご利用前にはサービスパックの「Readme.txt」を必ずご確認ください。

また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。

データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM/DVD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本製品に入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが、故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。

・表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがありますが、故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的な用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合があります。本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。

・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。

・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。

・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。

・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

<主な有寿命部品一覧>

CRT、LCD、ハードディスクドライブ、フロッピーディスクドライブ、CD/DVD ドライブ、
光磁気ディスクドライブ、スマートカードリーダー/ライター、キーボード、マウス、AC アダプタ、
電源ユニット、ファン

消耗品について

・バッテリーパックや乾電池等の消耗品は、その性能/機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

24 時間以上の連続使用について

・本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっておりません。

注意

本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本製品は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品の使用環境は、温度 10 ～ 35 °C / 湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60 °C / 湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）です（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN 搭載モデル (IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠) の場合

- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局) が運用されています。
 - (1) 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - (2) 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等 (例えば、パーティションの設置など) についてご相談してください。
 - (3) その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先: 「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」
- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・パソコン本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠 (5GHz 帯) では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠 (2.4GHz 帯) では見通し半径 25m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造、材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・IEEE 802.11g と IEEE 802.11b の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g は IEEE 802.11b との互換性をとるため、IEEE 802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g と IEEE 802.11b を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・本製品に内蔵の無線 LAN を IEEE 802.11a (J52/W52/W53) 準拠 (5GHz 帯) でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品には、「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定貨物が含まれています。したがって、本製品を輸出する場合には、同法に基づく許可が必要となる場合があります。

本製品は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。
(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ドルビー、DOLBY、AC-3、プロロジック及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

本製品の構成部品 (プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど) には、微量の重金属 (鉛、クロム、水銀) や化学物質 (アンチモン、シアン) が含有されています。

- ・キーボードのキートップ (ワンタッチボタンを除く) には、抗菌樹脂を使用しております。
 - ・抗菌樹脂は、通常の樹脂に比べ、付着した各種雑菌の繁殖を低減するものですが、完全に抑止するものではありません。
 - ・抗菌樹脂には殺菌作用はありません。
 - ・試験機関: (財) 化学技術戦略推進機構 高分子試験・評価センター、(財) 日本化学繊維検査協会
 - ・試験方法: JIS Z 2801、フィルム密着法
 - ・抗菌の方法: 抗菌剤の部品材料への練り込み
- 注: 抗菌処理部分: キーボードのキートップ部分 (キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く)

2.4DS1

上記表示のある無線機器は 2.4GHz 帯を使用しています。変調方式として DS-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。この機器の使用周波数は 2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等 (以下「他の無線局」と略す) が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くに医療機関や工場がないことを確認してください。
- ・万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
- ・不明な点、その他お困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」までお申しつけください。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



このマニュアルの表記について

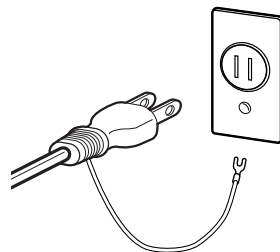
画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

電源プラグとコンセント形状の表記について







このパソコンに添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極接地用口出線付プラグ」です。本書では「電源プラグ」と表記しています。接続先のコンセントには「平行 2 極接地極付プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。通常は、ご家庭のコンセントをご利用になれます。本書では「コンセント」と表記しています。

※「接地用口出線」とはアース線、「接地極」とはアースネジのことです。



本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 <ul style="list-style-type: none">・キーボードの「サポート」ボタンを押す・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント (マニュアル&サポート)」の順にクリック
	CD-ROM / DVD-ROM を表しています。

パソコンの電源状態について

このマニュアルでは、パソコンの電源を入れたときの状態を、それぞれ次のように表記しています。

パソコンの状態	このマニュアルでの表記
Windows XP Home Edition が起動している状態。	Windows が起動しているとき
「インスタント MyMedia」が起動している状態。 この場合は Windows XP Home Edition は起動していません。	「インスタント MyMedia」が起動しているとき

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition または Windows
情報処理機器の省エネルギー化推進に関する法律	省エネ法
スーパーマルチドライブ	CD/DVD ドライブ
高画質化機能搭載MPEG2リアルタイムエンコーダ付TVチューナーカード	高画質テレビチューナー（アナログ放送用）
抗菌キーボード〔注〕 注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分 （キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く）	キーボードまたはワイヤレスキーボード
ワイヤレスマウス（光学式）	マウスまたはワイヤレスマウス
富士通サービスアシスタント V3.5	サービスアシスタント
Norton Internet Security 2006	Norton Internet Security
xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™	xD-ピクチャーカード

警告ラベル／注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。

警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。


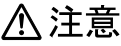
商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Pentium は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標または商標です。
Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の登録商標または商標です。
ATI、RADEON は ATI Technologies Inc. の登録商標です。
SD カードおよび SD ロゴは、SD ASSOCIATION の商標です。
「メモリースティック」、「マジックゲート」は、ソニー株式会社の商標です。
xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™ は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
Bluetooth® は、Bluetooth SIG の商標であり、弊社へライセンスされています。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。




All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2006
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。

また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

異常や故障のとき

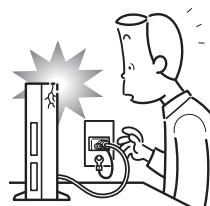
警告



パソコン本体の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐにパソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

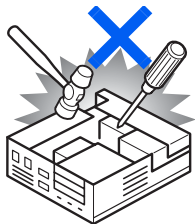
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



本製品を落としたり、カバーなどを破損したときは、パソコン本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

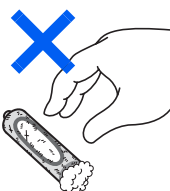
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



本製品をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。

感電・火災の原因となります。

修理や点検などが必要な場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。



長時間使用しないときは、乾電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出しておいてください。

万一乾電池が液漏れ

し、漏れ出した液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

失明など障害の原因となります。

液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。

皮膚に障害を起こす原因となります。

⚠ 注意



液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。また、

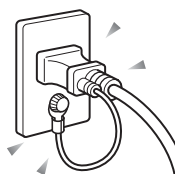
目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

中毒を起こすおそれがあります。

液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

設置されるとき

⚠ 警告



電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。

安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。

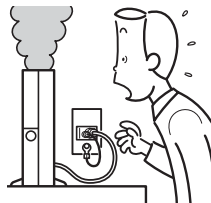
アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



アース線はガス管には絶対に接続しないでください。

火災の原因となります。

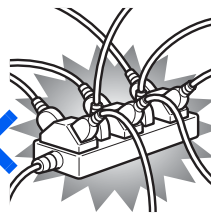


本製品は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。



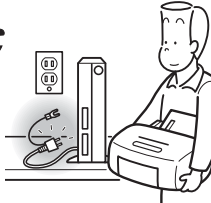
電源プラグは、壁のコンセント（AC100V）に直接かつ確実に接続してください。また、タコ足配線をしてください。

感電・火災の原因となります。



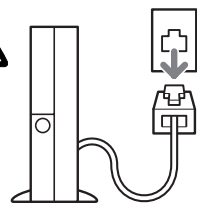
添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。

感電・火災の原因となります。



周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



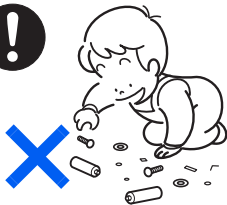
メモリの取り付けや取り外しを行うときなど、本体カバーをあける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらく経ってから本体カバーを開けてください。また、電話回線からモジュラーケーブルが接続されている場合、モジュラーケーブルも取り外してください。

電話回線から着信があった場合、または落雷が起きた場合に感電の原因となります。



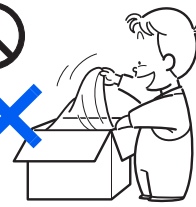
周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。

誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。



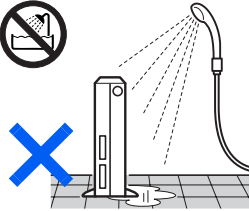
取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

誤って飲み込むと窒息の原因となります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



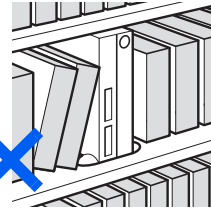
梱包に使用している袋類は、お子様の手の届くところに置かないでください。

口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



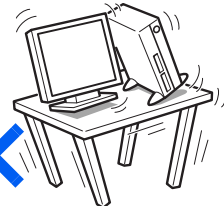
本製品を風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。

火災の原因となります。



振動している場所や傾いたところなどの不安定な場所に置かないでください。

本製品が倒れたり、落下して、けがの原因となります。

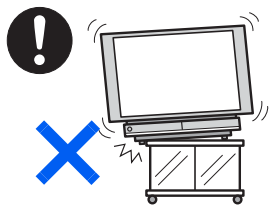


転倒防止の処置をしてください。

地震が発生した場合などに、パソコンが倒れてけがや故障の原因となります。

ラックや床、壁などとの間に適切な転倒防止の処置を行ってください。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



パソコン台やテレビ台を使う場合は、パソコンが台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。

パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 注意



指定外の機器をパソコン本体に接続して電源を取らないでください。

火災・故障の原因となることがあります。



周辺機器などの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがをすることがあります。また、故障の原因となることがあります。



本製品を調理台や加湿器のそば、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。



本製品を直射日光があたる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそばで使用したり、置いたりしないでください。

感電・火災の原因となることがあります。また、破損や故障の原因となることがあります。

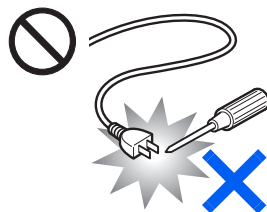


本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に充分注意して行ってください。

電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

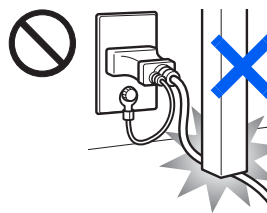
ご使用になるとき

⚠ 警告



ACアダプタの電源プラグに、ドライバーなどの金属を近づけないでください。

火災・感電の原因となります。

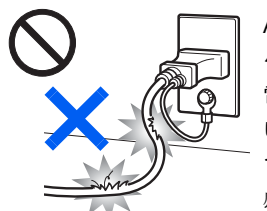


電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ね

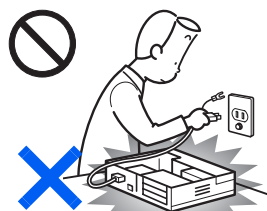
じったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。

修理は、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」、またはご購入元にご連絡ください。

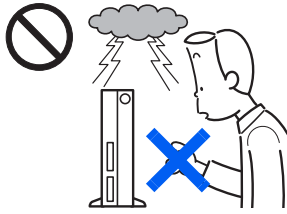


ACアダプタの本体やケーブル、電源コード、電源プラグが傷ついている場合は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



本体カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。感電・火災の原因となります。

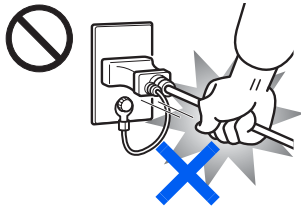


雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続

作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。

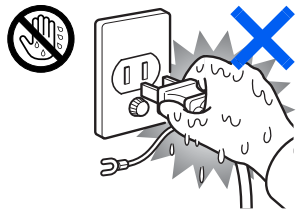
落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。

落雷による感電・火災の原因となります。

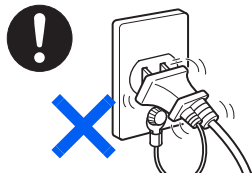


電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



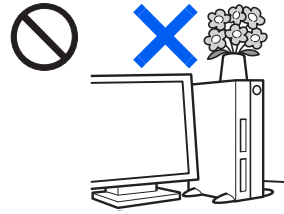
ACアダプタや電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込み、不完全な接続状態で使用しないでください。

火災・故障の原因となることがあります。



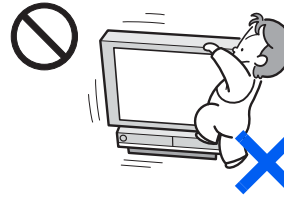
開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。



本製品の上や周りに、花瓶・コップなど液体の入ったものを置かないでください。

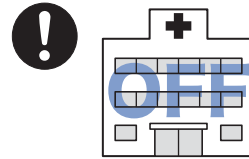
水などの液体が本製品の内部に入ると、感電・火災の原因となります。



パソコンやパソコン台、テレビ台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。

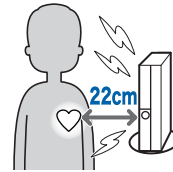
パソコンが落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



無線 LAN の注意

次の場所では、パソコン本体の電源を切るか、無線通信機能をオフにしてください。



無線通信機能からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

・病院内や医療用電子

機器のある場所

特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。

・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所

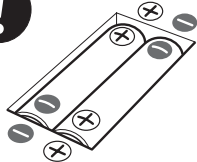
・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く

・満員電車の中など付近に心臓ペースメーカーを

装着している方がいる可能性がある場所

心臓ペースメーカーの装着部位からは 22cm 以上離してください。

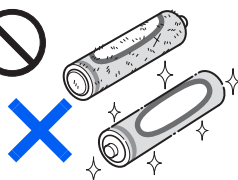
電波によりペースメーカーの動作に影響を及ぼす原因となります。



乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。

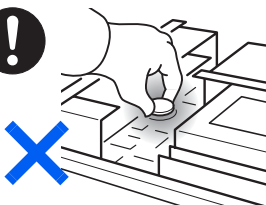
間違えると電池の破裂・

液漏れ・発火の原因となります。



指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。

電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

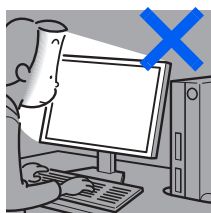


本パソコンの内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、

人体に影響を及ぼすおそれがあります。

リチウム電池はご自身で交換せずに、「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」にご相談ください。



本製品をご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からできるだけ離れてください。

お使いになる方の

体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。

過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。

また、本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



パソコン本体やACアダプタの温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。

低温やけどの原因となります。

⚠ 注意



電源ケーブルを束ねた状態で使用しないでください。

発熱して、火災の原因となることがあります。



本製品の上に重いものを置かないでください。

故障・けがの原因となります。



パソコン台やテレビ台の扉は、開けたままにしないでください。

扉に指をはさんだり、ひっかけたりして、

けがの原因となります。

特に、お子様のいるご家庭ではご注意ください。



CD/DVD、PC カードなどのトレイやスロット、モデムやLANのコネクタなど、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。

けが・感電の原因となることがあります。



パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。

けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



「PCカード」、「SDカード」、「メモリースティック」、「xD-ピクチャーカード」の使用終了直後は、「PCカード」、「SD

カード」、「メモリースティック」、「xD-ピクチャーカード」が高温になっていることがあります。「PCカード」、「SDカード」、「メモリースティック」、「xD-ピクチャーカード」を取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。

火傷の原因となることがあります。

(使用できるメディアは、機種により異なります)



使用中のパソコン本体やACアダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけ、通気孔などの開口部をふさがないようにください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



ヘッドホンやイヤホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。また、ヘッドホンやイヤホンをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。



乾電池には以下のことをしないでください。

破裂・液漏れ・火災・けが・周囲を汚す原因となります。

- ・ショートさせる
- ・加熱したり、火の中に入れる
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れる
- ・落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与える
- ・充電する
- ・ハンダ付けをする



本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは1時間に10～15分の休憩時間や休憩時間の

間の小休止を取るようになしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因となることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等の目の傷害の原因となることがあります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
- ・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
- ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるように使用する。



本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。乾電池を取り外せる場合は、乾電池も取り外してください。

火災の原因となることがあります。

お手入れについて

警告



ACアダプタや電源プラグはコンセントから定期的に抜いて、コンセントとの接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよくふき取っ

てください。

ほこりがたまったままの状態で使用すると感電・火災の原因となります。

レーザーの安全性について

■CD/DVDドライブの注意

本製品に搭載されているCD/DVDドライブは、レーザーを使用しています。

■クラス1レーザー製品

CD/DVDドライブは、クラス1レーザー製品について規定している米国の保健福祉省連邦規則（DHHS 21 CFR）Subchapter Jに準拠しています。

また、クラス1レーザー製品の国際規格である（IEC 60825-1）、CENELEC規格（EN 60825-1）および、JIS規格（JISC6802）に準拠しています。

警告



本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

・光源部を見ないでください

CD/DVDドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。

また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線を覗きこまないでください。

レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因となります。

・お客様自身で分解したり、修理・改造しないでください。

レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因となります。

その他

注意



本製品（付属品を含む）の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

本製品は「廃棄物の処理および清掃に関する法律」の規制を受けます。

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスなどには乾電池を使用しており、一般のゴミと一緒に火中に投げられると乾電池が破裂するおそれがあります。

使用済み乾電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→

「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

目次

このマニュアルの表記について	5
安全にお使いいただくための絵記号について	7
安全上のご注意	7

第1章 各部名称

1 パソコン本体前面	20
2 パソコン本体側面	22
パソコン本体左側面	22
パソコン本体右側面	25
3 パソコン本体背面	27
4 パソコン本体内部	28
5 ワンタッチボタン	30

第2章 使い始める前に

1 確認してください	34
機種名を確認してください	34
添付品がすべて揃っているか確認してください	35
2 使用上のお願い	36
使用および設置に適した場所	36
使用および設置に適さない場所	39
パソコン本体取り扱い上の注意	40
雷についての注意	41
液晶ディスプレイのお手入れ	41
パソコン本体のお手入れ	42
疲れにくい使い方	45
3 必要なものを揃える	47
パソコン本体の箱に入っています	47
テレビを見る場合に必要です	48

第3章 接続する

1 キーボード／マウスを準備する	50
2 アンテナケーブルを接続する	52
このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について	52
必要なものを用意する	55
接続例	56
アンテナケーブルをパソコン本体に接続する	61
B-CAS カードをセットする	64
LX90S/D,LX90SN,LX70S/D,LX70SN,LX55S/D,LX50S/DS,LX50S/D の場合、 LX55SN,LX50SN でハイビジョン・テレビチューナーを選択した場合のみ	
3 リモコンを準備する	65
リモコンに乾電池を入れる	65
4 電源ケーブルを接続する	66

第4章 パソコンを準備する

1 この章でやること	70
2 初めて電源を入れる	72
接続を確認する	72
初めて電源を入れる～Windows のセットアップ	74
3 サービスアシスタント (画面で見るマニュアル) の準備をする	90
4 電源の切り方と入れ方	92

電源を切る	92
電源を入れる	96
5 インターネットを始めるための準備をする	99
インターネットに接続する流れ	99
6 Windows を最新の状態にする	101
「Windows Update」を実行する	101
7 セキュリティ対策ソフトの初期設定をする	109
「Norton Internet Security」の初期設定	109
8 FMV を最新の状態にする	121
「アップデートナビ」を実行する	121
9 パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）	124
10 ユーザー登録をする	125
ユーザー登録をするとご利用になれるサービス	125
パソコンの画面上でユーザー登録する	126
11 使いたい機能の準備をする	127
無線 LAN をお使いになる場合	127
ワイヤレス LAN カード内蔵の機種のみ	
メディアタンクをお使いになる場合	128
LX50S/DS の場合のみ	
12 準備が完了したら	129
パソコンの準備はすべて完了していますか？	129
パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ	130
テレビや「インスタント MyMedia」について知りたいときは	
『FMV で見ると・録ると・残すガイド』へ	131
このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合	132

第 5 章 周辺機器の設置／設定／増設

1 周辺機器をお使いになる前に	134
周辺機器とは？	134
周辺機器を取り付けると	134
周辺機器を取り付けるには	134
周辺機器の取り扱い上の注意	135
2 メモリの増設／交換	137
メモリの取り付け場所	137
取り付けられるメモリ	138
メモリの取り扱い上の注意	140
メモリを増やす	141
メモリ容量を確認する	146
3 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	149
使用に適した配置	149
乾電池について	150
乾電池を交換する	151
ID 設定をする	151
4 リモコンについて	156
乾電池を交換する	156
リモコンをお使いになる場合の注意	157
5 添付コアの取り付けかた	158

第 6 章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	160
仕様一覧の注記について	168
2 その他の仕様	170
液晶ディスプレイ	170

内蔵スピーカー	170
LAN 機能	171
高画質テレビチューナー（アナログ放送用）	172
LX90S/D,LX65S,LX65SN,LX50S の場合、 LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）を選択した 場合、 LX55SN,LX50SN で高画質テレビチューナー（アナログ放送用）を選択した場合のみ	
ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）	172
LX90S/D の場合、 LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）を選択した 場合のみ	
ハイビジョン（地上デジタル）／高画質（アナログ）テレビチューナー	173
LX70S/D,LX55S/D,LX50S/DS,LX50S/D の場合、 LX90SN,LX70SN,LX55SN,LX50SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放 送用）を選択した場合のみ	
リモコン	173
ワイヤレスキーボード（ワンタッチボタン付、無線方式、抗菌）	174
ワイヤレスマウス（光学式）	175
索引	176

Memo

1

第 1 章 各部名称

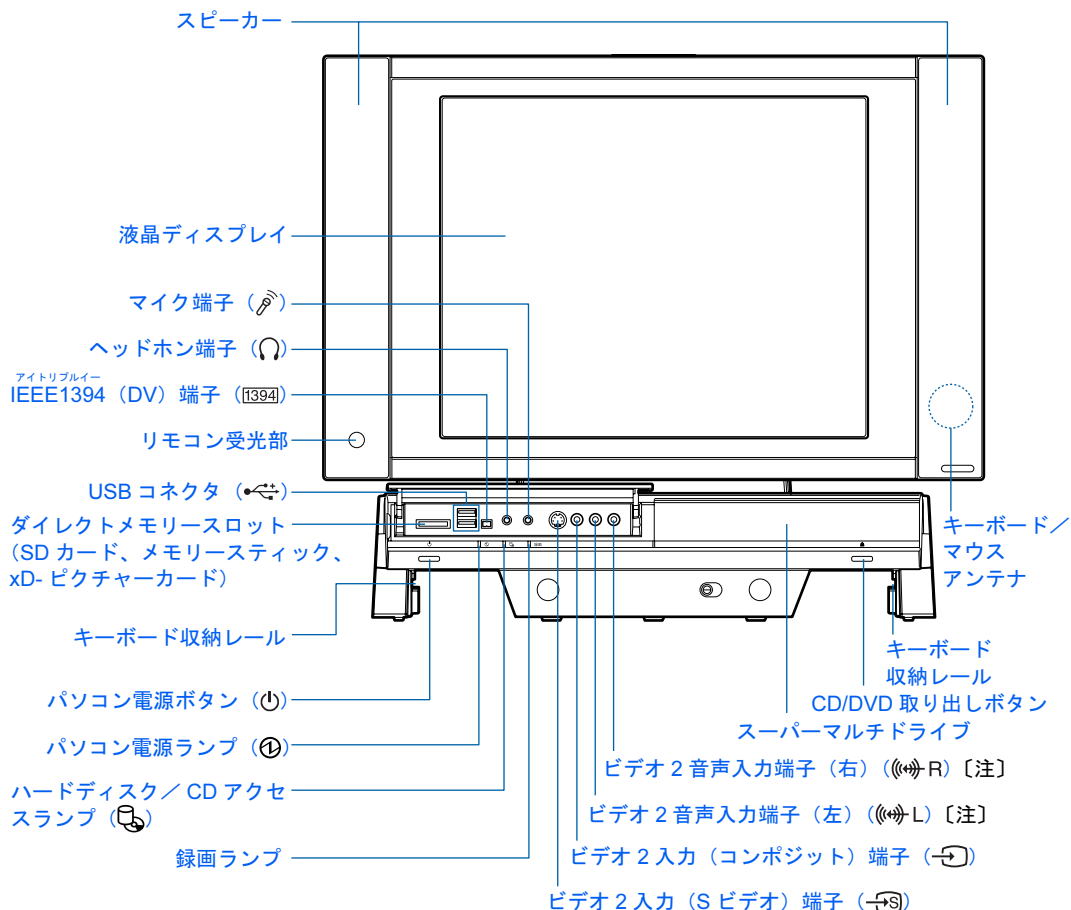
パソコンの各部の名称について説明しています。

1	パソコン本体前面	20
2	パソコン本体側面	22
3	パソコン本体背面	27
4	パソコン本体内部	28
5	ワンタッチボタン	30

1 パソコン本体前面

機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(●▶P.34)をご覧ください。

■LX90/70/55/50 シリーズの場合



注：ビデオ 2 入力端子に接続した映像機器からの音声入力端子です。

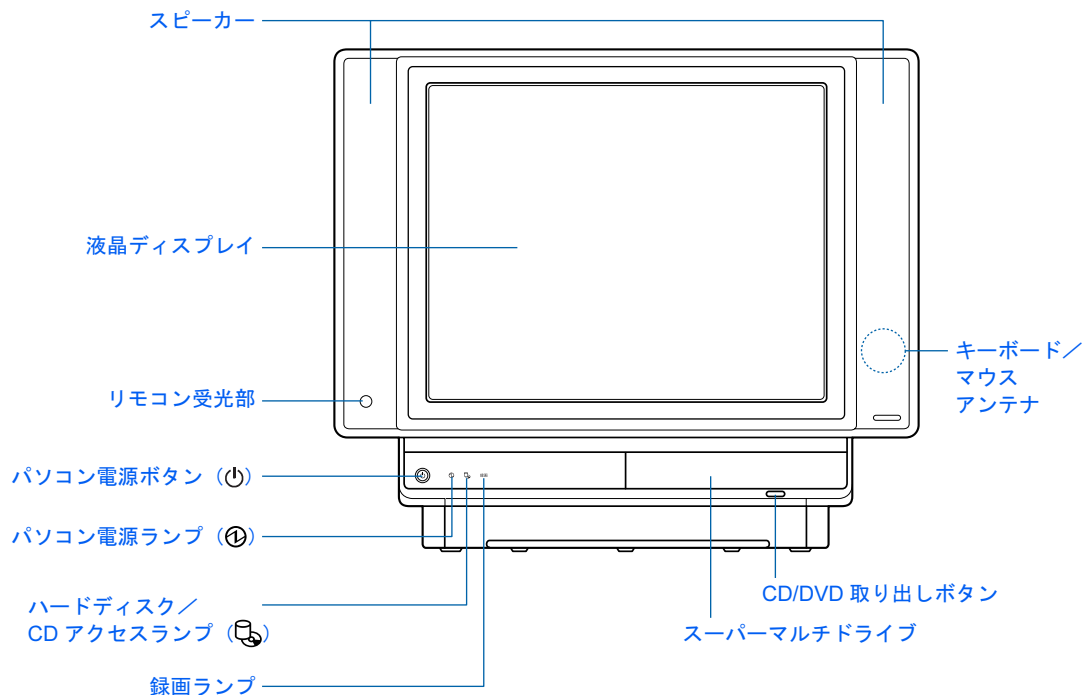
👉 重要


メモリーカードを取り出すときの注意

- ・ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD- ピクチャーカード) からメモリーカードを取り出す場合は、メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。また、メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- ・メモリーカードを取り出すときは、ダイレクトメモリスロット (SD カード、メモリスティック、xD- ピクチャーカード) を人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出すとき、思わぬけがをすることがあります。

詳しくは、👉(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

■ LX65 シリーズの場合



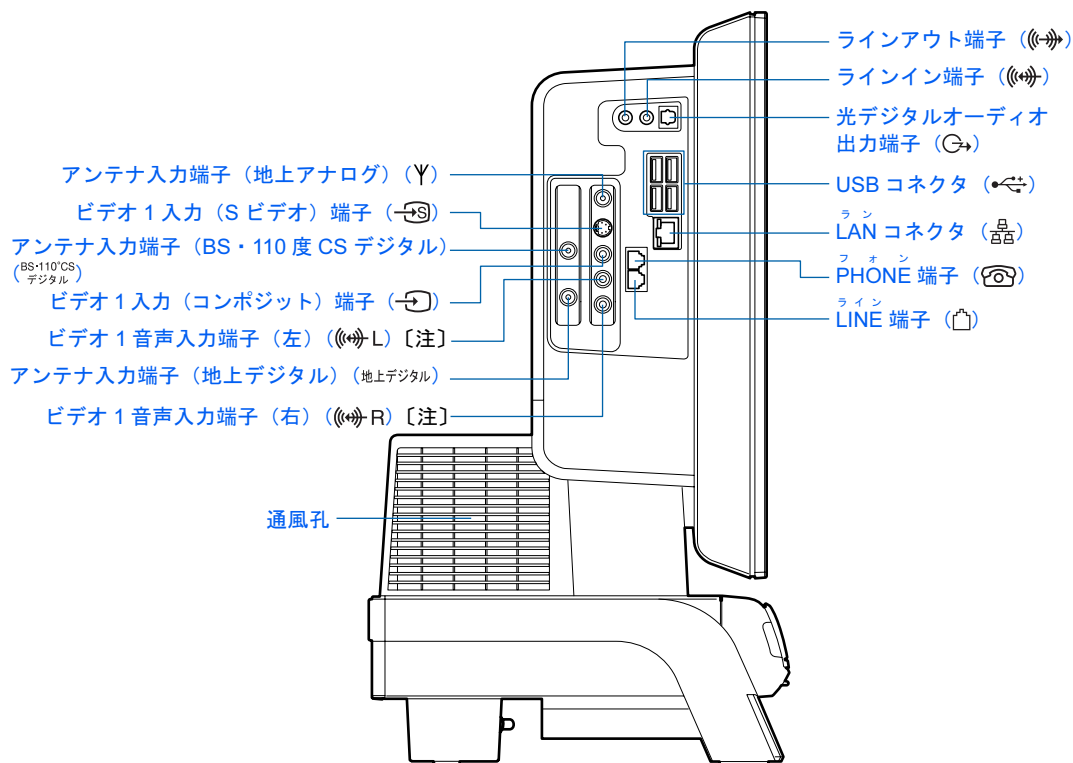
詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(▶▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

2 パソコン本体側面

パソコン本体左側面

機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(●▶P.34)をご覧ください。

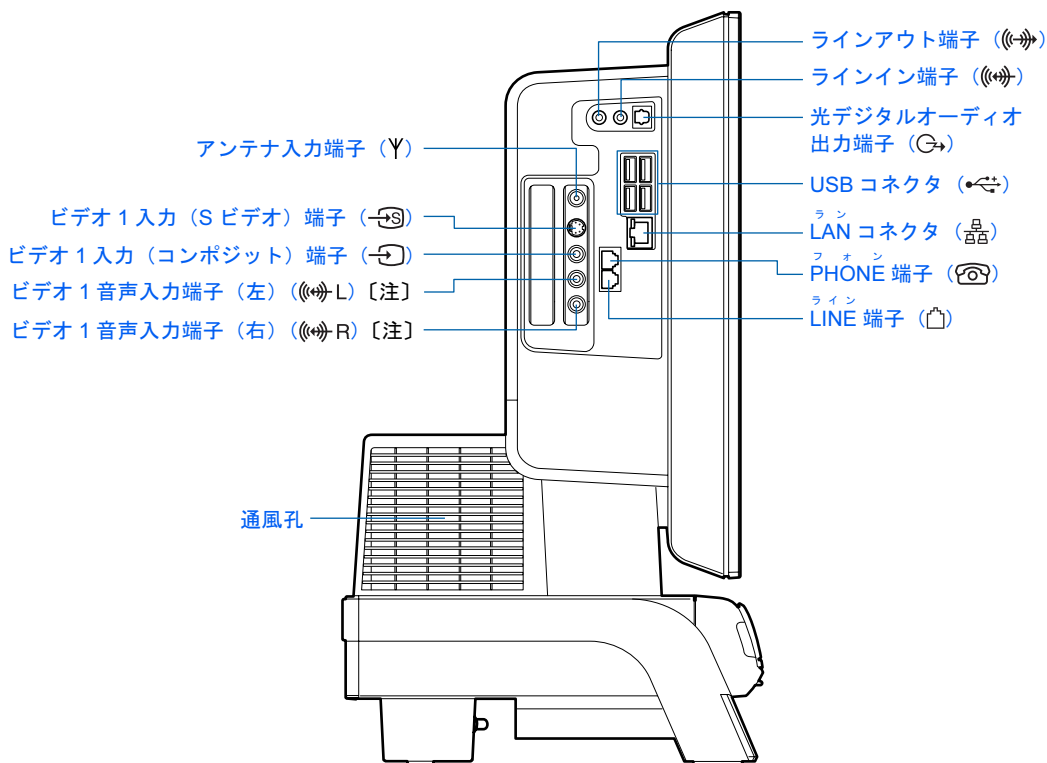
■ LX90S/D の場合、 LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用） を選択した場合




注：ビデオ 1 入力端子に接続した機器からの音声入力端子です。

詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

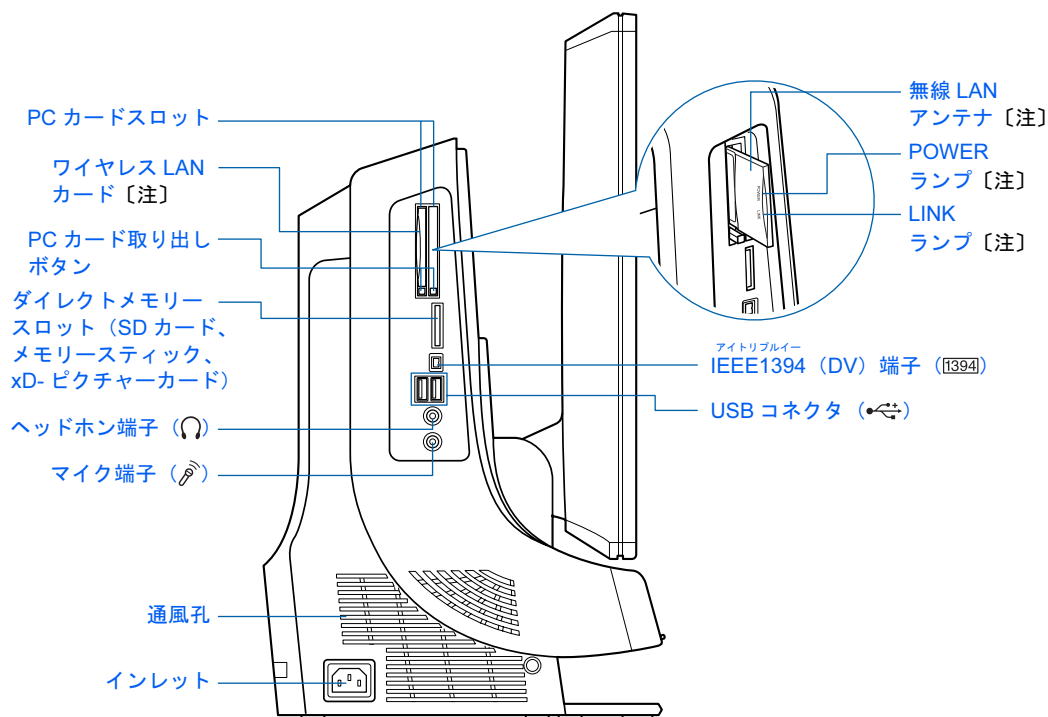
■ LX70/55/50 シリーズの場合、
LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）を選択した
場合



注：ビデオ 1 入力端子に接続した機器からの音声入力端子です。

詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(▶▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

■ LX65 シリーズの場合



注：ワイヤレス LAN カード搭載の機種のみ

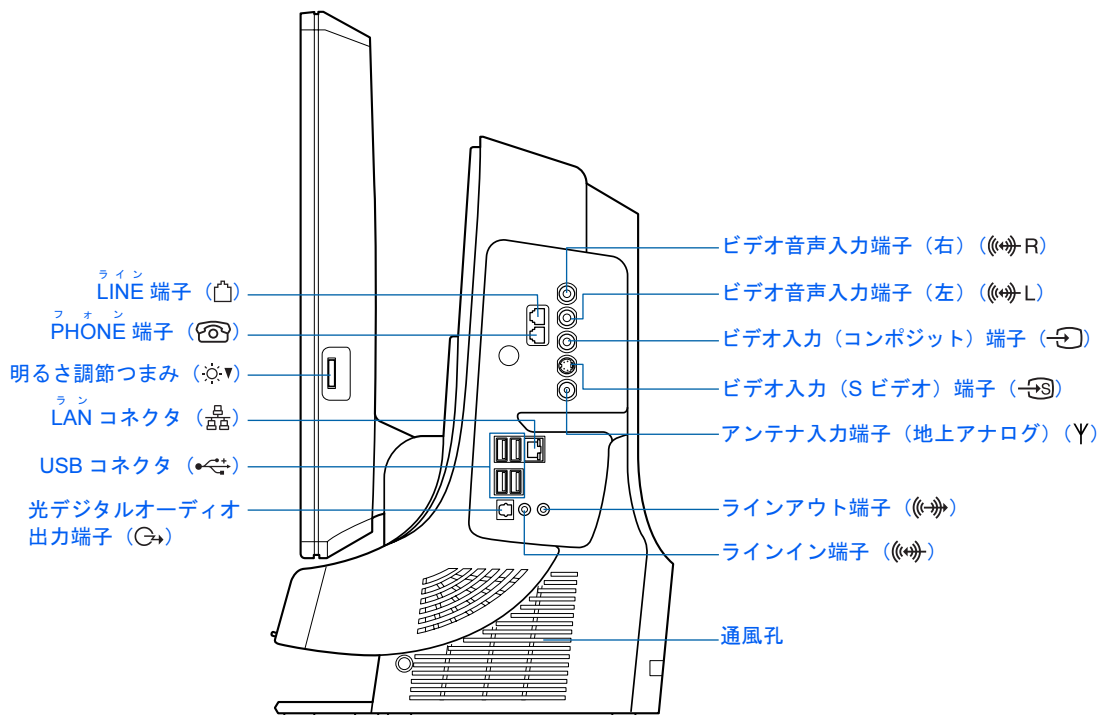
重要

メモリーカードを取り出すときの注意

- ・ダイレクトメモリースロット (SD カード、メモリースティック、xD- ピクチャーカード) からメモリーカードを取り出す場合は、メモリーカードを強く押さないでください。指を離したときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。また、メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- ・メモリーカードを取り出すときは、ダイレクトメモリースロット (SD カード、メモリースティック、xD- ピクチャーカード) を人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出すとき、思わぬけがをするおそれがあります。

詳しくは、☎(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(▶▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

■ LX65 シリーズの場合

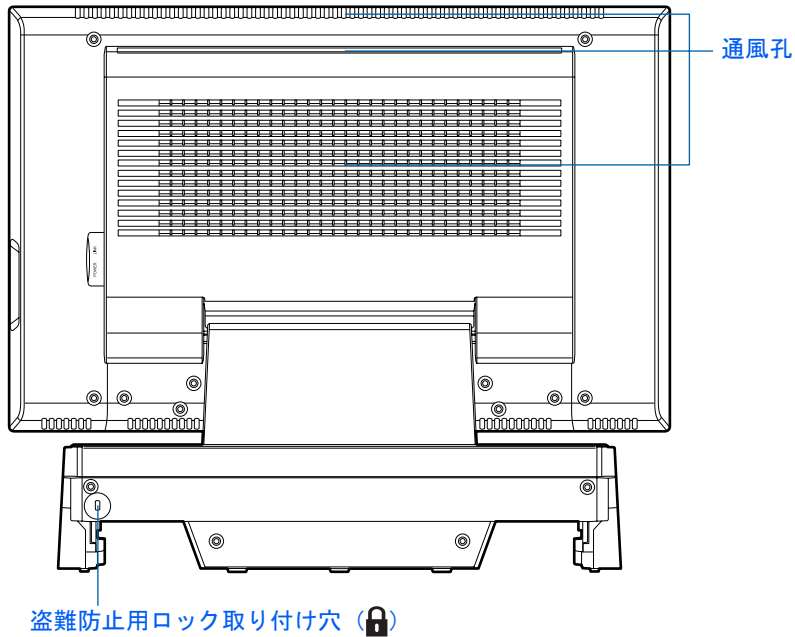


詳しくは、🔧(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(▶▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

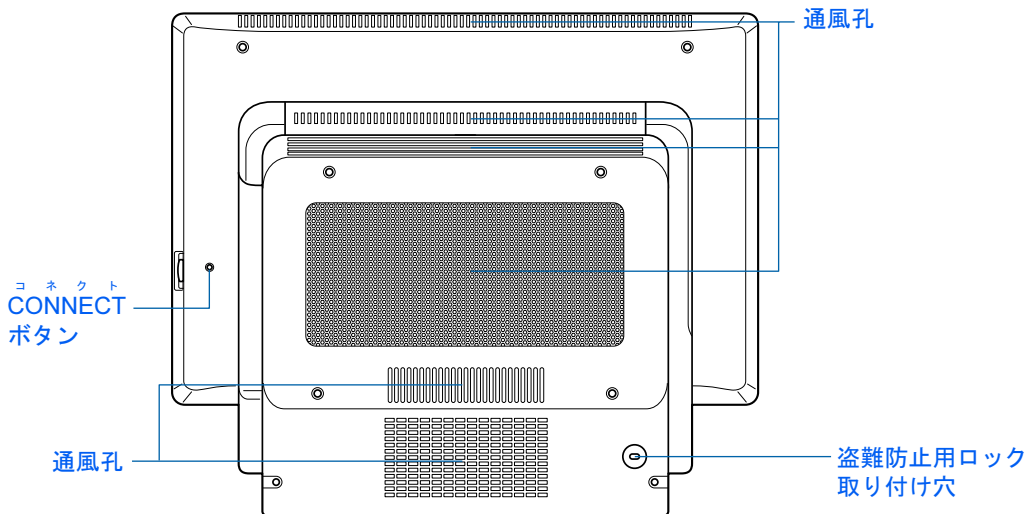
3 パソコン本体背面

機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(●▶P.34)をご覧ください。

■LX90/70/55/50 シリーズの場合



■LX65 シリーズの場合

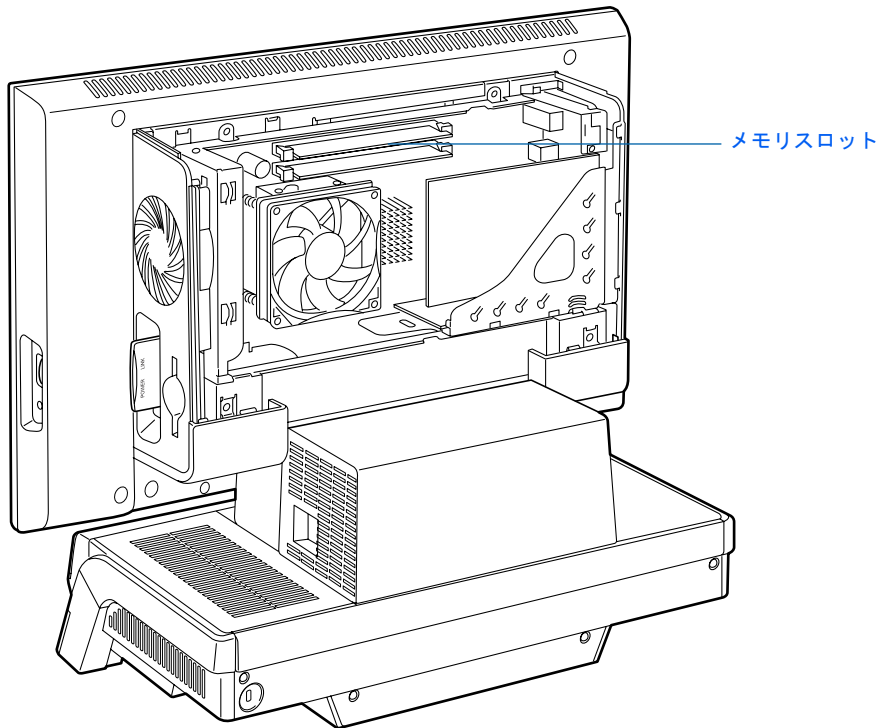



詳しくは、🔧(サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

4 パソコン本体内部

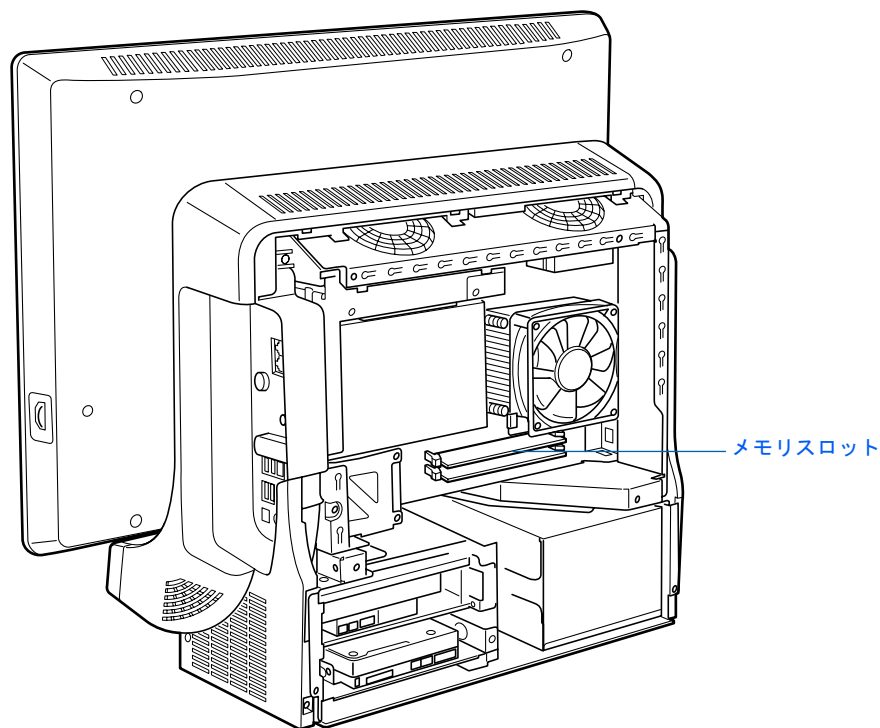
機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」(●▶P.34)をご覧ください。


■LX90/70/55/50 シリーズの場合



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体内部」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

■ LX65 シリーズの場合



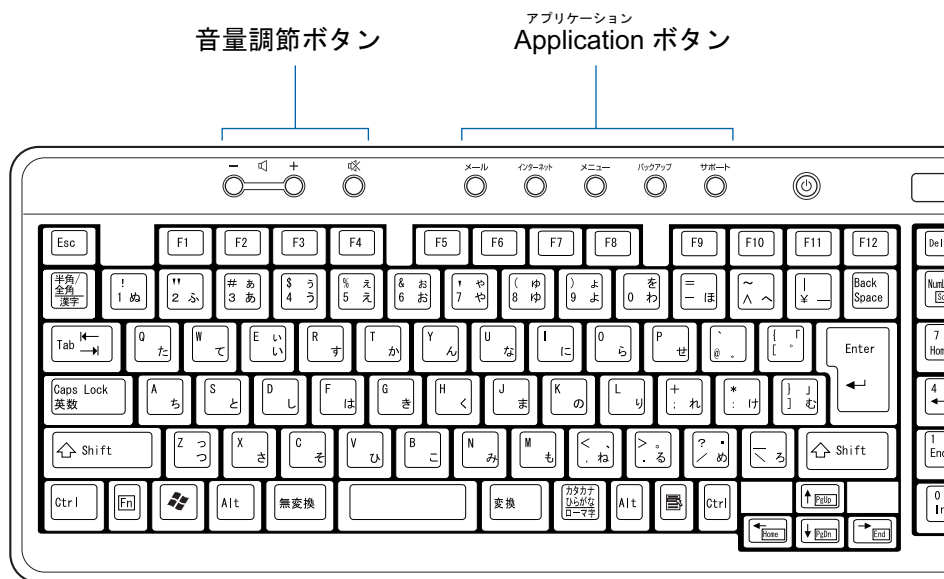
詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：パソコン本体内部」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

5 ワンタッチボタン

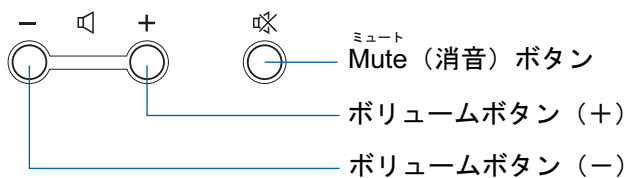
キーボードには、ワンタッチボタンがあります。LX65 シリーズはキーボードの右側に、それ以外の機種は上部にあります。

ワンタッチボタンは、Windows が起動しているときにお使いになれます。

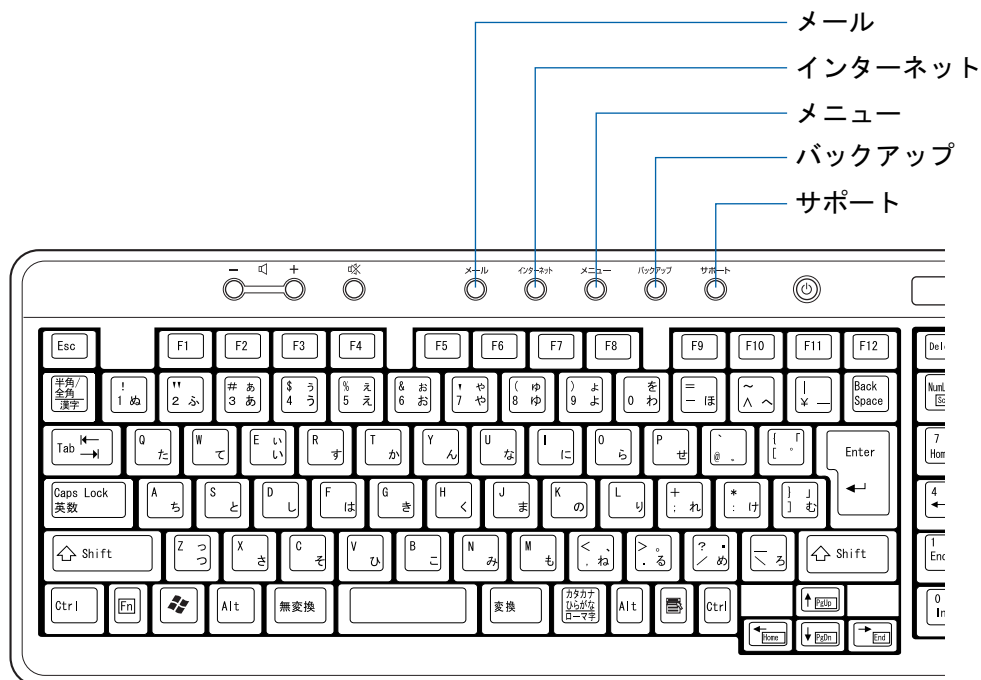
LX90/70/55/50 シリーズの場合





■ 音量調節ボタン



アプリケーション
■ Application ボタン

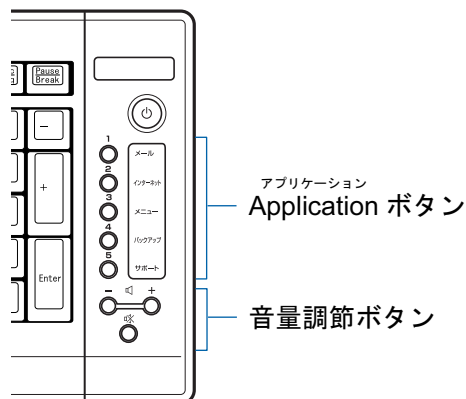


詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：ワンタッチボタン」をご覧ください。

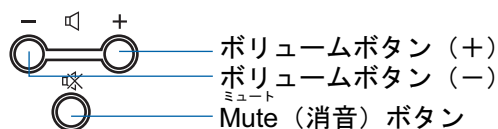
キーボードについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：キーボード」をご覧ください。

なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

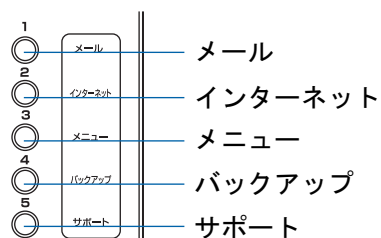
LX65 シリーズの場合





■ 音量調節ボタン



■ Application ボタン



詳しくは、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：ワンタッチボタン」をご覧ください。

キーボードについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「各部の名称と働き」→「各部の名称と働き：キーボード」をご覧ください。

なお、サービスアシスタントは、「準備が完了したら」(●▶P.129) までの作業が終わってからご利用ください。

2

第 2 章

使い始める前に

最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

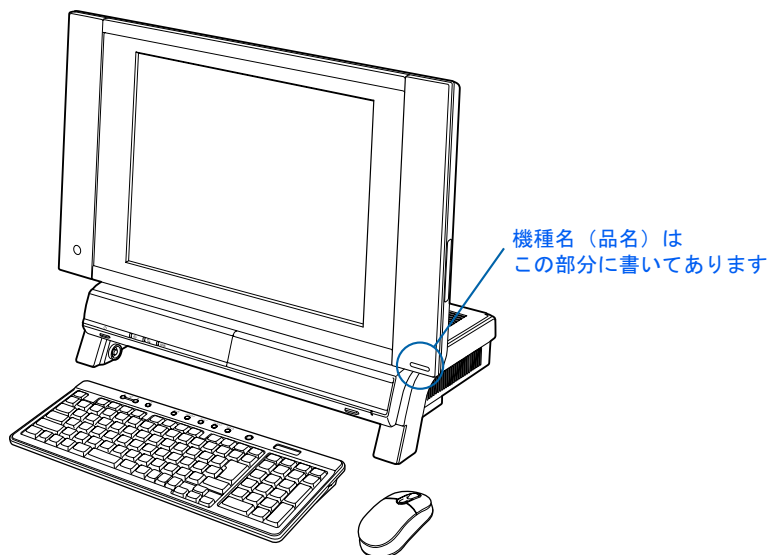
1 確認してください	34
2 使用上のお願い	36
3 必要なものを揃える	47

1 確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

このパソコンに添付されているマニュアルは、お使いの機種によって説明している内容が異なる箇所があります。はじめにお使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。



次の表を参考にして、お使いの機種の説明をお読みください。

機種名（品名）	シリーズ名
LX90S/D,LX90SN	LX90 シリーズ
LX70S/D,LX70SN	LX70 シリーズ
LX65S,LX65SN	LX65 シリーズ
LX55S/D,LX55SN	LX55 シリーズ
LX50S/DS,LX50S/D,LX50S,LX50SN	LX50 シリーズ

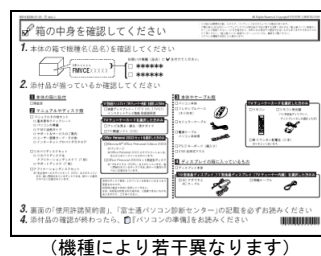
いくつかの機種をまとめて示す場合、次のように表記することがあります。

(例) LX90/70/55/50 シリーズ

添付品がすべて揃っているか確認してください

「箱の中身を確認してください」をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。

ご購入後 1ヶ月以内のハードウェアトラブルや添付品の不足に関するお問い合わせは、「富士通パソコン診断センター」にご連絡ください。1ヶ月を過ぎると、有料となる場合やご提供できないものもありますのであらかじめご了承ください。富士通パソコン診断センターについては、「箱の中身を確認してください」裏面をご覧ください。



2

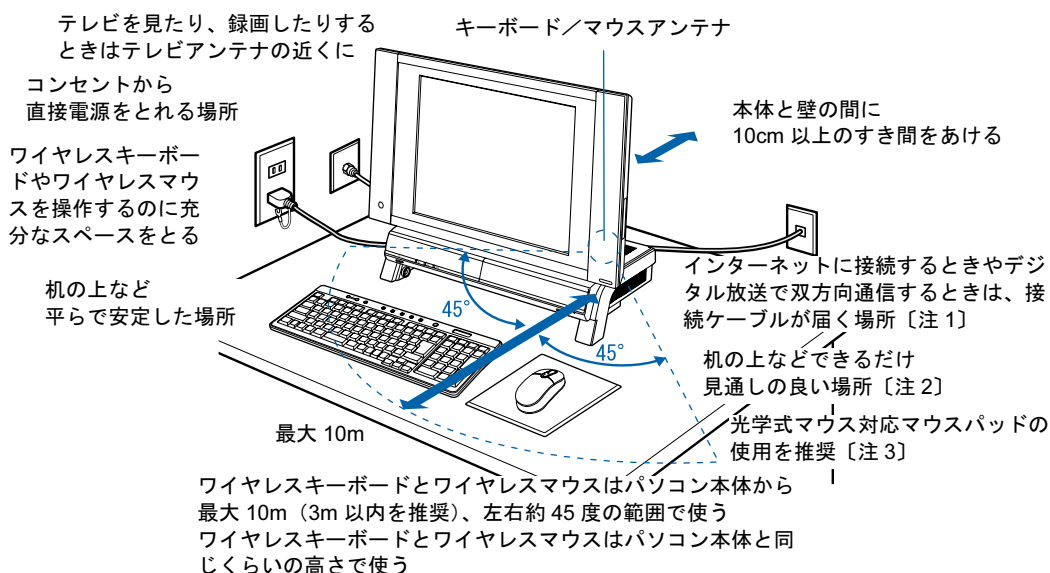
2 使用上のお願い

設置するのに適した場所や適さない場所、パソコン本体の取り扱い上の注意について説明します。

使用および設置に適した場所

パソコンは、次のような場所でお使いください。

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード/マウスアンテナはパソコン本体に内蔵されています。



注1：デジタル放送の双方向通信は、ハイビジョン・テレビチューナーを搭載している機種のみ対応しています。

注2：ワイヤレス LAN カード内蔵の機種の場合のみ

注3：光学式マウスに関しては「光学式マウスをお使いになる上での注意事項」(●▶P.80) もご覧ください。

通風孔にほこりがたまると、故障の原因となります。「パソコン本体のお手入れ」(●▶P.42) をご覧になり、定期的に清掃してください。

⚠ 注意



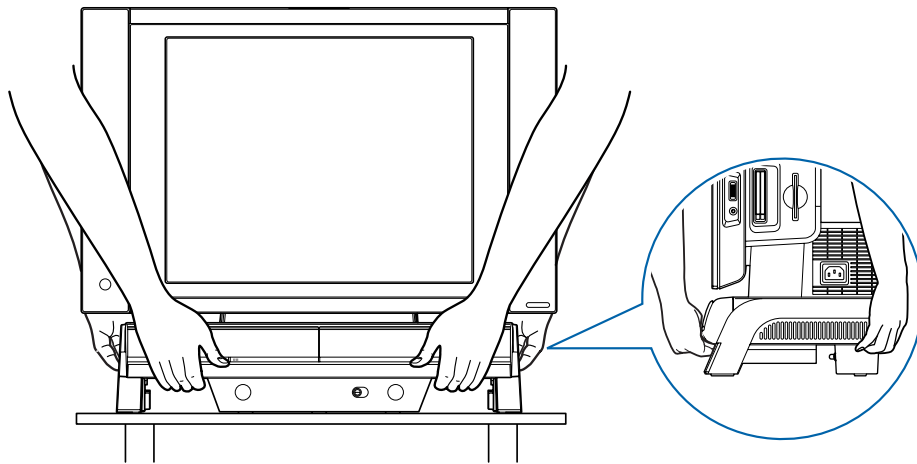
・本製品を移動するときは、必ず2人以上で行ってください。
けがの原因となることがあります。



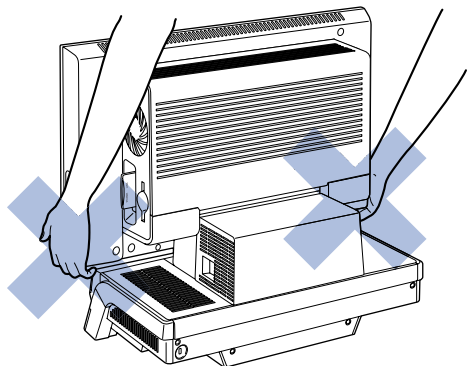
・パソコンを移動したり、液晶ディスプレイの角度を傾けたりするときなどに、液晶ディスプレイとパソコン本体の間に指などを挟まないようご注意ください。
けがの原因となることがあります。

重要**本製品を移動したり、液晶ディスプレイの角度を傾けたりするときの注意**

- ・ LX90/70/55/50 シリーズの場合は、次の点に注意してください。
 - ・ 本製品は重量があります。本製品を移動するときは、必ず2人以上で行ってください。
 - ・ パソコン本体前面下部と背面下部に手をかけて、左右両側から両手で持つようにしてください。キーボードをパソコン本体下部に収納している場合は、キーボードを取り出してください。キーボードを収納したまま持つと、キーボードがキーボード収納レールから外れて落下する可能性があります。



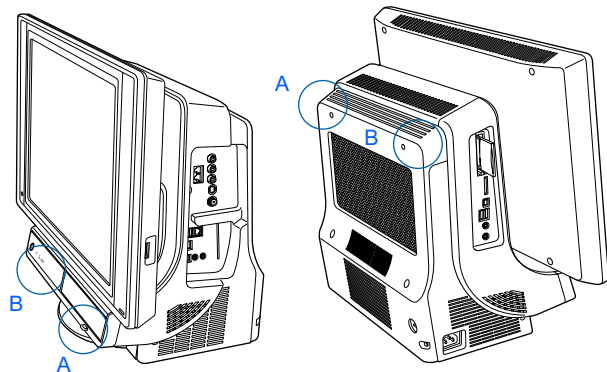
- ・ 液晶ディスプレイ部分、PC カードスロットにセットされているワイヤレス LAN カード、および本体下部の金属部分は、絶対に持たないでください。



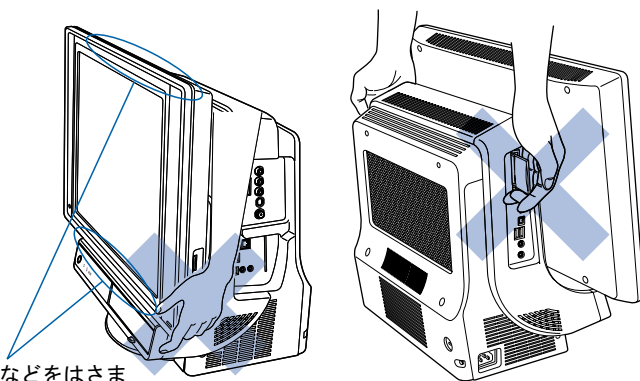
- ・ 液晶ディスプレイとパソコン本体の間に指などははさまないようにご注意ください。

重要

- ・ LX65 シリーズの場合は、次の点に注意してください。
- ・ 本製品は重量があります。本製品を移動するときは、必ず 2 人以上で行ってください。
- ・ パソコン本体の前面右下部分と背面左上部分の 2ヶ所（下図の A の部分）、パソコン本体の前面左上部分と背面右上部分の 2ヶ所（下図の B の部分）を、両側から両手でつかんで持ち上げてください。



- ・ 液晶ディスプレイ部分、PC カードスロットにセットされているワイヤレス LAN カード、および本体下部の金属部分は、絶対に持たないでください。



この部分に指などはさまないようご注意ください

- ・ 液晶ディスプレイとパソコン本体の間に指などはさまないようご注意ください。

使用および設置に適さない場所

誤動作、故障、劣化、受信障害の原因となるため、次のような場所ではお使いにならないでください。

極端に高温または低温になる場所
結露する場所



POINT

- ・ 本製品の使用環境は温度 10 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）です。
- ・ 結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。
温度の低い場所（クーラーの効いた場所、寒い屋外など）から、温度の高い場所（暖かい室内、炎天下の屋外など）へ移動したときに起こります。
結露が発生すると故障の原因となりますので、ご注意ください。
- ・ 本製品を腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所で使用すると、本製品が腐食する可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本製品に、水などの液体や金属片、虫などの異物が混入すると故障の原因になる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本製品のそばで喫煙をすると、タバコのヤニや煙がパソコン内部に入り、CPU ファンなどの機能を低下させる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・ 本製品の通風孔がほこりなどにより目詰まりすると、空気の流れが悪くなり、CPU ファンの冷却効果を低下させる可能性がありますので、掃除機などで定期的に通風孔のほこりを取ってください。

電波の影響を受ける環境でお使いになる場合

次のような環境でお使いになると、周囲からの電波の影響を受けて、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。

- ・ パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に乗せている
- ・ パソコン本体と、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの間に電気・電子機器や金属製のものを置いている
- ・ 周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している
- ・ 周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある（このパソコンを複数台でお使いの場合、無線局の近隣でお使いの場合、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合など）
- ・ パソコン本体を電子レンジの近くに置いている

このような場合には、パソコン本体の向きや位置を変えたり、パソコン本体の液晶ディスプレイの傾きを調整したり、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの ID を設定し直したりすることによって、動作する場合があります。詳しくは、「ID 設定をする」(●▶P.151) をご覧ください。

電波の影響を受ける環境でお使いになる場合 (ワイヤレス LAN カード内蔵の機種の場合のみ)

次のような場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、無線 LAN 接続が正常に行えないことがあります。

- ・ Bluetooth[®] 対応機器の 10m 以内
- ・ 電子レンジの近く
- ・ アマチュア無線機の近く
- ・ 足元など見通しの悪い場所

パソコン本体取り扱い上の注意

- ・ 衝撃を与えたり強い力で押ししたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ・ 画面をひっかいたり、先のとがったもので押さないでください。画面に傷がつく原因になります。
- ・ スピーカー前面を強い力で押ししたりしないでください。スピーカーが破損する原因となることがあります。
- ・ 画面やカバーにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。
- ・ 本製品の近くで携帯電話や PHS などを使用すると、画面が乱れたり、異音が発生したりする場合がありますので、遠ざけてお使いください。
- ・ 本製品に接続したケーブル類を引っ張った状態で使用しないでください。故障や誤動作の原因となることがあります。
- ・ パソコン本体内部から聞こえる音や、パソコン本体が発する熱について
本製品をご使用中には、パソコン本体内部の熱を外に逃がすためのファンの音や、ハードディスクドライブがデータを書き込む音、CD/DVD が回転する音などが聞こえます。また、本製品の使用中に、パソコン本体が熱を持つために熱く感じられることがあります。これらは故障ではありません。
- ・ 周辺機器は、弊社純正品をお使いください。
- ・ 本製品は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

雷についての注意

雷が鳴り出した時は、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

落雷の可能性がある場合は、パソコンの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。

また、安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類ありますが、パソコンの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。パソコンの場合、電源ケーブル、テレビのアンテナ線、外部機器との接続ケーブル、電話線（モジュラーケーブル）、LANケーブルなどからの誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

直撃雷は避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できますが、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いても本製品を保護できないことがありますので、ご了承ください。

場合によっては、パソコン本体だけでなく、周辺機器などが故障することもあります。落雷によるパソコン本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

液晶ディスプレイのお手入れ

- ・液晶ディスプレイの汚れは、ガーゼなどの柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- ・化学ぞうきんや市販クリーナーは以下の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、ご使用を避けてください。
 - アルカリ性成分を含んだもの
 - 界面活性剤を含んだもの
 - アルコール成分を含んだもの
 - シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
 - 研磨剤を含むもの

パソコン本体のお手入れ

パソコン本体の通風孔や内部にほこりがたまると、故障の原因となります。定期的に清掃してください。

必要なものを用意する

- ・ 掃除機

清掃方法

警告



- ・ パソコン本体の通風孔や内部を清掃するときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

重要

十分に換気してください

清掃時には、ほこりなどを口や鼻から吸い込まないように、窓を開けたり、換気扇を回したりするなどして、十分に換気してください。

パソコン本体内部の部品には触れないでください

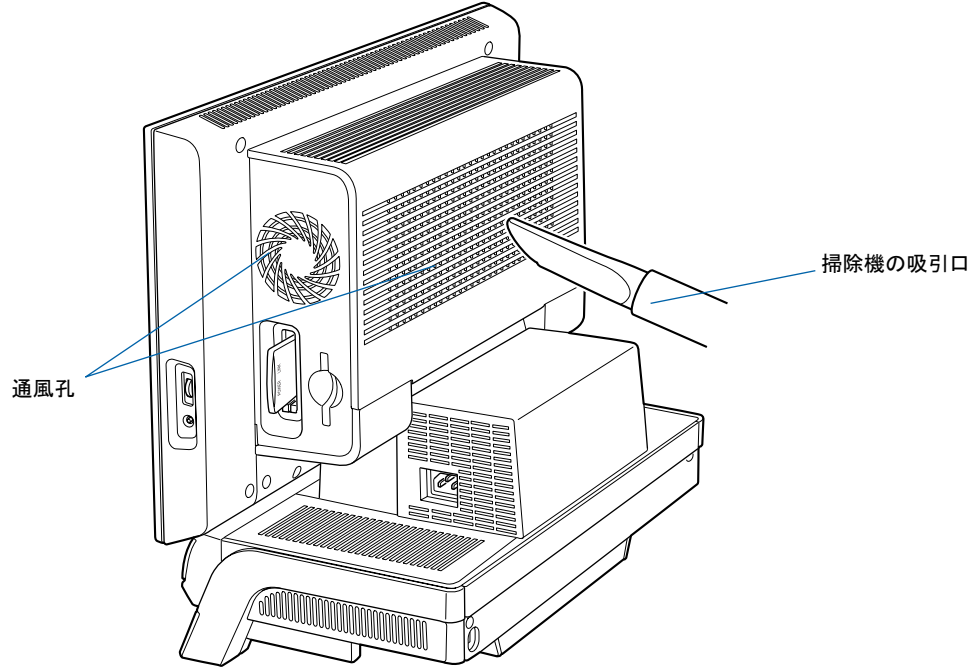
故障の原因となりますので、CPU ファンの羽根およびその他のパソコン本体内部の部品には極力手を触れないでください。

また、掃除機の吸引口をパソコン本体内部の部品に当てないでください。

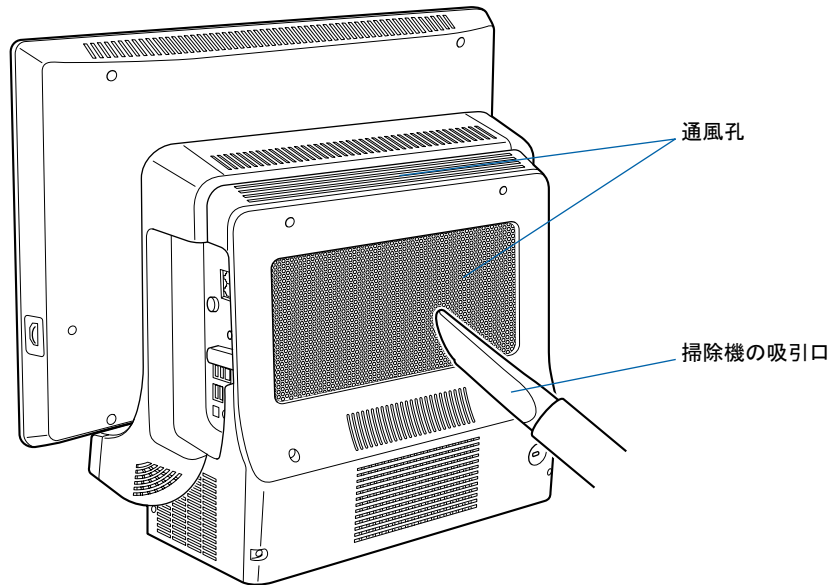
■ 通風孔の清掃方法

1 掃除機の吸引口にノズル等を取り付け、通風孔のほこりを直接吸い取ります。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合



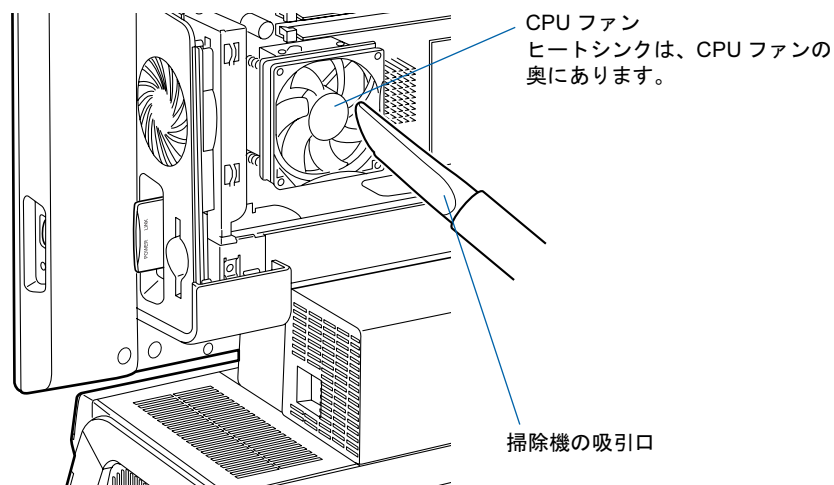
■ LX65 シリーズの場合



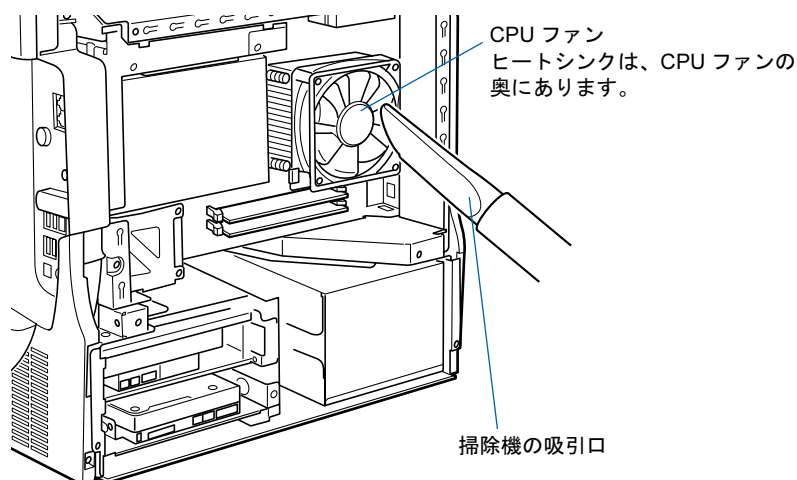
■ パソコン本体内部の清掃方法

- 1 「メモリを増やす」(→P.141) をご覧になり、本体カバーを取り外します。
- 2 掃除機の吸引口にノズル等を取り付け、CPU ファンやその奥にあるヒートシンクのほこりを直接吸い取ります。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合



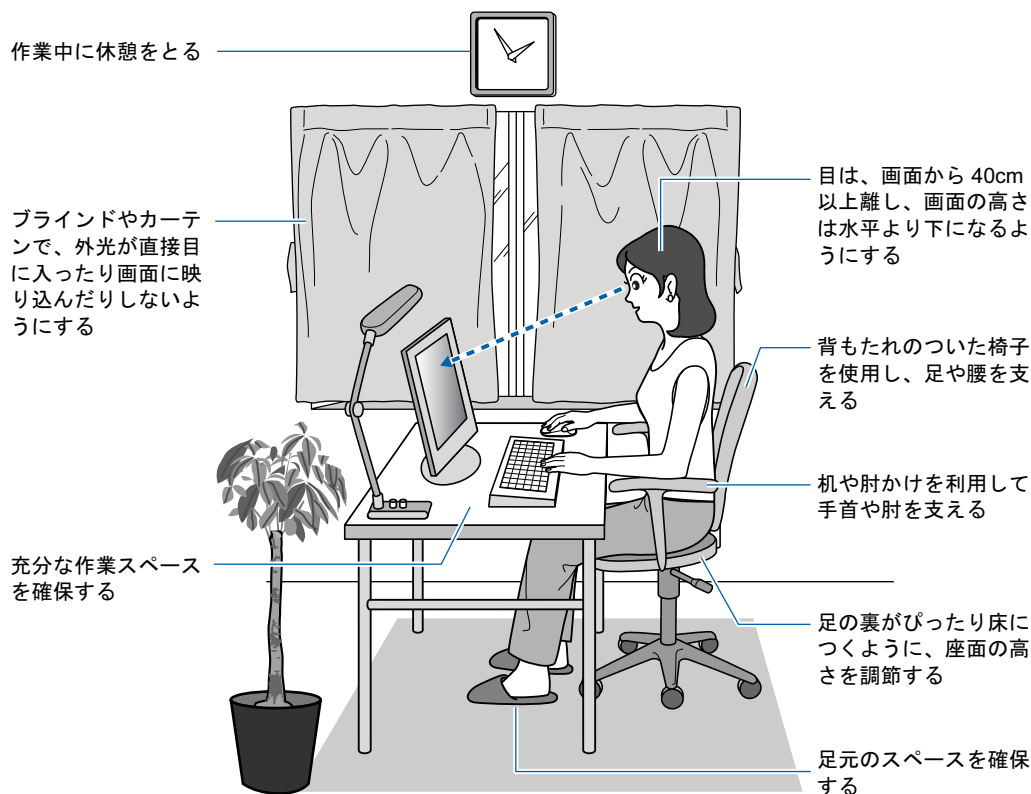
■ LX65 シリーズの場合



- 3 CPU ファンの清掃後、CPU ファン周辺のほこりも、掃除機で同様に清掃してください。
- 4 「メモリを増やす」(→P.141) をご覧になり、本体カバーを取り付けます。

疲れにくい使い方

パソコンを長い時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩が痛くなり、腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。パソコンをお使いの際は姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。



POINT

富士通では、独立行政法人産業医学総合研究所の研究に協力し、その成果が「パソコン利用のアクション・チェックポイント」としてまとめられています。詳しくは、富士通ホームページ（<http://design.fujitsu.com/jp/universal/ergo/vdt/>）の解説をご覧ください。

ディスプレイ

- ・ 外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないように、窓にブラインドやカーテンを取り付けたり、画面の向きや角度を調整しましょう。
- ・ 画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調整しましょう。
- ・ ディスプレイの上端が目と同じかやや低くなるように設定しましょう。
- ・ ディスプレイの画面は、顔の正面にくるように調整しましょう。
- ・ 目と画面の距離は、40cm以上離すようにしましょう。

使用時間

- ・ 1時間以上続けて作業しないようにしましょう。続けて作業をする場合には、1時間に10～15分程度の休憩時間をとりましょう。また、休憩時間までの間に1～2分程度の小休止を1～2回取り入れましょう。

入力機器

- ・ キーボードやマウスは、肘の角度が90度以上になるようにして使い、手首や肘は机、椅子の肘かけなどで支えるようにしましょう。

机と椅子

- ・ 高さが調節できる机や椅子を使いましょう。調節できない場合は、次のように工夫しましょう。
 - 机が高すぎる場合は、椅子を高く調節しましょう。
 - 椅子が高すぎる場合は、足置き台を使用し、低すぎる場合は、座面にクッションを敷きましょう。
- ・ 椅子は、背もたれ、肘かけ付きを使用しましょう。

作業スペース

- ・ 机上のパソコンの配置スペースと作業領域は、充分確保しましょう。
- ・ スペースが狭く、腕の置き場がない場合は、椅子の肘かけなどを利用して腕を支えましょう。

3 必要なものを揃える

必要なものをあらかじめ揃えてから、第3章へ進みましょう。

重要

ケーブル類をお使いになる時の注意

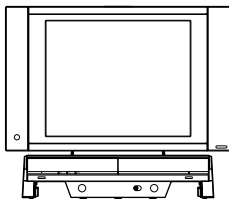
電源ケーブル等を束ねているバンド（針金）は、必ず取り外してからお使いください。

パソコン本体の箱に入っています

機種名の調べ方は、「機種名を確認してください」（▶▶P.34）をご覧ください。

注：イラストは実際と若干異なる場合があります。

■ パソコン本体



（イラストは機種や状況により異なります）

■ ワイヤレスキーボード

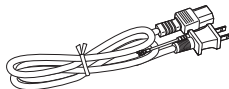


（イラストは機種や状況により異なります）

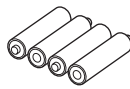
■ ワイヤレスマウス（光学式）



■ 電源ケーブル



■ 単3 アルカリ乾電池×4 ■ 保証書



ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス用です。



梱包箱に貼り付けられています。

■ リモコン

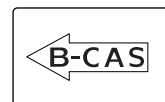


（イラストは機種や状況により異なります）

■ 単3 マンガン乾電池×2 ■ B-CAS カード



リモコン用です。



LX90S/D, LX70S/D, LX55S/D, LX50S/DS, LX50S/D の場合、および LX90SN, LX70SN, LX55SN, LX50SN でハイビジョン・テレビチューナーを選択した場合のみ添付されています。

テレビを見る場合に必要です

アンテナケーブル、同軸ケーブル、変換コネクタ、V/U 混合器などは添付されていません。お客様で用意してください。

必要なものは、アンテナ線の形状などによって異なります。詳しくは、「アンテナケーブルを接続する」(●▶P.52)をご覧ください。アンテナ設置については、最寄りの電気店にお問い合わせください。

続いて、パソコンの接続をしましょう (●▶P.49)。

3

第 3 章 接続する

パソコンの接続について説明しています。

1 キーボード／マウスを準備する	50
2 アンテナケーブルを接続する	52
3 リモコンを準備する	65
4 電源ケーブルを接続する	66

警告



- ・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

注意



- ・使用中のパソコン本体や AC アダプタを布などでおおったり、包んだりしないでください。設置の際はパソコン本体と壁の間に 10cm 以上のすき間をあげ、通気孔などの開口部をふさがないでください。また、通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にほこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

1 キーボード／マウスを準備する

ここでは、キーボード／マウスを使用するための準備について説明しています。ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに添付のアルカリ乾電池を入れます。

⚠ 警告



- ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

👉 重要

必ずアルカリ乾電池を使用してください

アルカリ乾電池をお使いにならないと、電池寿命が極端に短くなります。添付のアルカリ乾電池には「アルカリ」などと書いてありますので、間違えないようにしてください。

ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。詳しくは、「乾電池について」(▶▶P.150)をご覧ください。

ワイヤレスマウスに乾電池を入れても光学センサーが光らない場合は

何度か乾電池を入れ直してください。

ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がしますが、故障ではありません

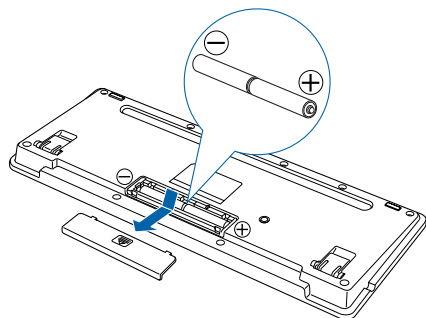
詳しくは「使用に適した配置」の「重要」(▶▶P.149)をご覧ください。

1 ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス（光学式）の電池ボックスのふたを開け、添付のアルカリ乾電池（4本セット）を2本ずつ入れます。

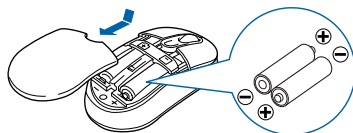
ワイヤレスキーボードは、裏返して電池ボックスのふたを開けます。

乾電池を入れるときには、キーボードのキーやマウスのボタンを押さないように注意してください。正常に動作しなくなる場合があります。

■ ワイヤレスキーボード

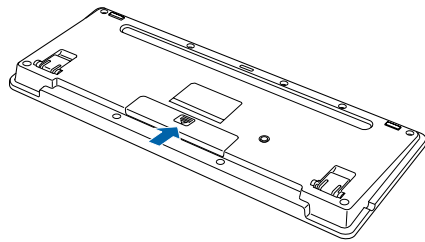


■ ワイヤレスマウス（光学式）



2 電池ボックスのふたを閉めます。

■ ワイヤレスキーボード



■ ワイヤレスマウス（光学式）



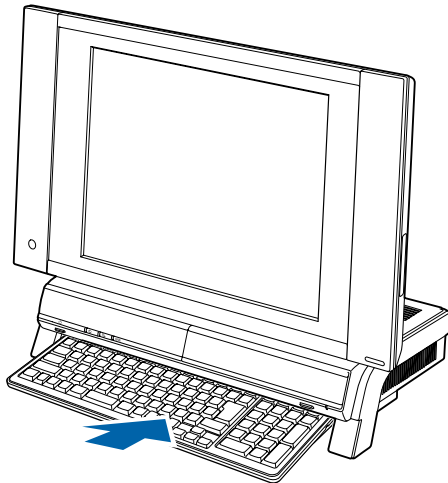
POINT

ワイヤレスキーボードを収納することができます

・ LX90/70/55/50 シリーズの場合

ワイヤレスキーボードをパソコン本体の下に収納することができます。

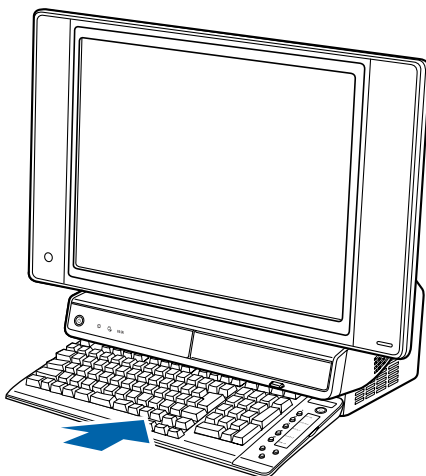
収納する場合は、キーボード底面にあるチルトフットを倒してから、キーボード収納レールに合わせてください。



・ LX65 シリーズの場合

ワイヤレスキーボードをパソコン本体の下に半分収納することができます。

収納する場合は、キーボード底面にあるチルトフットを倒してください。



続いて、アンテナケーブルを接続しましょう（☞P.52）。

2 アンテナケーブルを接続する

ここでは、アンテナケーブルを接続する方法について説明します。
アンテナケーブルは後からでも接続できます。アンテナケーブルを用意していない場合やこのパソコンですぐにテレビを見ない場合は、アンテナケーブルを接続する必要はありません。「リモコンを準備する」(▶▶P.65)へ進んでください。

⚠ 警告

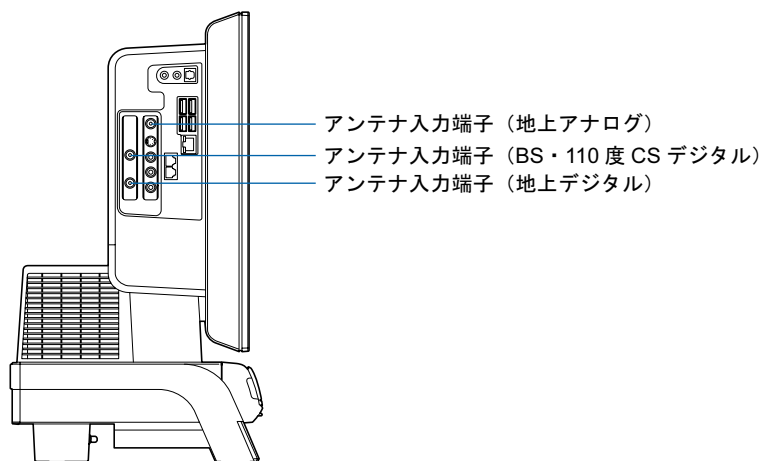


- ・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性のある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。

このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について

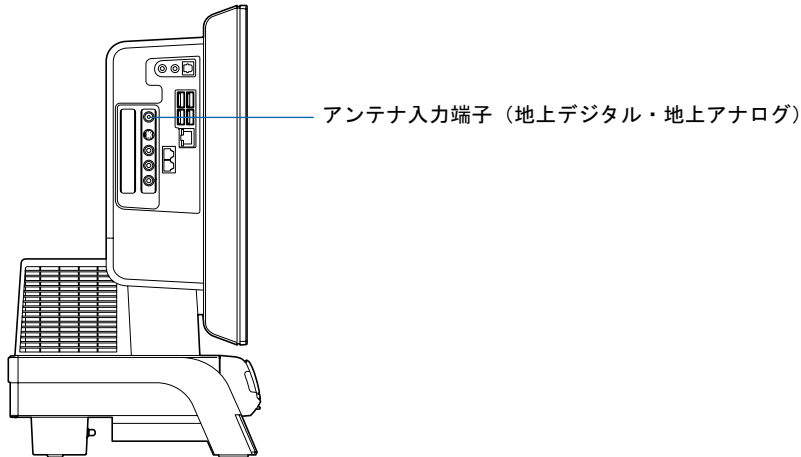
ここでは、このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について説明します。
視聴できる放送は、アンテナケーブルを接続する端子によって異なります。お使いのパソコンに内蔵されている端子については、次の図をご覧ください。

- **LX90S/D** の場合、
LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）
を選択した場合

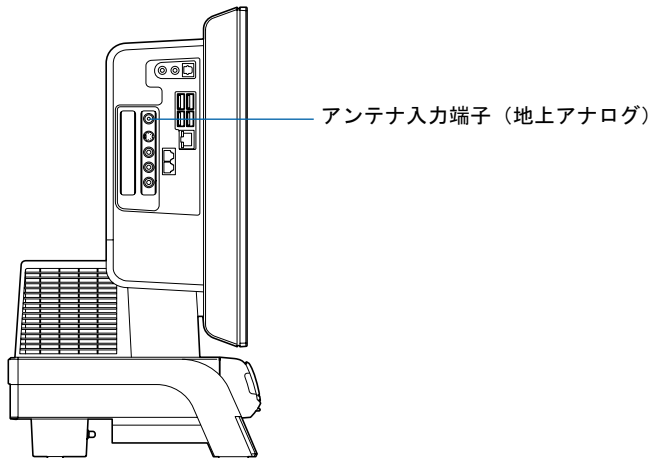


■ **LX70S/D,LX70SN,LX55S/D,LX50S/DS,LX50S/D** の場合、
LX90SN,LX55SN,LX50SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）を選択した場合

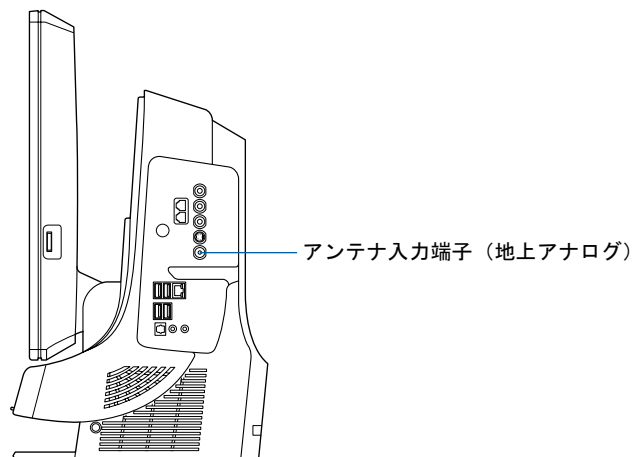
このパソコンのアンテナ入力端子は、通常のアナログ放送と、地上デジタル放送が共用になっています。



■ **LX50S** の場合、
LX55SN,LX50SN で高画質テレビチューナー（アナログ放送用）を選択した場合



■ LX65S,LX65SN の場合



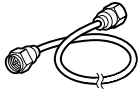
アンテナケーブルを接続した端子と視聴できる放送との関係は、次のとおりです。

- ・ アンテナ入力端子 (地上アナログ)
地上アナログ放送 (VHF と UHF 放送) を視聴できます。
- ・ アンテナ入力端子 (BS・110度CSデジタル)
BS・110度CSデジタル放送を視聴できます。
受信契約をすることで、スカイパーフェク！TV110 や WOWOW デジタル放送を視聴できますが、スカイパーフェク！TV や BS アナログ放送は視聴できません。
- ・ アンテナ入力端子 (地上デジタル)
地上デジタル放送 (UHF 放送) を視聴できます。
地上デジタル放送を視聴する前に、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内かどうかを、社団法人 地上デジタル放送推進協会のホームページ (<http://www.d-pa.org/>) (2006年2月現在) で確認してください。
なお、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられたり、電波が弱かったりする場合は、視聴できないことがあります。
- ・ アンテナ入力端子 (地上デジタル・地上アナログ)
地上アナログ放送 (VHF と UHF 放送) と地上デジタル放送 (UHF 放送) を視聴できます。BS・110度CSデジタル放送は視聴できません。
地上デジタル放送を視聴する前に、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内かどうかを、社団法人 地上デジタル放送推進協会のホームページ (<http://www.d-pa.org/>) (2006年2月現在) で確認してください。
なお、お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられたり、電波が弱かったりする場合は、視聴できないことがあります。

必要なものを用意する

必ず用意してください

- ・ アンテナケーブル

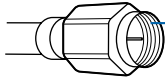


F型コネクタプラグ付きアンテナケーブルをご購入ください。

BS・110度CS デジタル放送を視聴する場合は、BS・110度CS デジタル放送対応の製品をご購入ください。

アンテナケーブルとパソコンの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式のF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルのご使用をお勧めします。

なお、ケーブルは適切な長さのものを用意してください。



プラグの内側がネジ状になっている

ネジ式F型コネクタ

重要

ネジ式でないF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルをお使いになる場合は、次の点にご注意ください

- ・ コネクタの形状（大きさ）によっては、パソコン本体に干渉して接続できない場合があります。また、Sビデオケーブルなどの他のケーブルを同時に接続できない場合があります。
- ・ ネジ式でないF型コネクタプラグ付きアンテナケーブルは、ネジ式に比べノイズの影響を受けやすいため、映像が乱れることがあります。

必要に応じて用意してください

アンテナ線の形状などによって、必要なものが異なります。ここでは、代表的なものを説明します。「接続例」(●▶P.56)を参考に、必要なものをご購入ください。

- ・ 分波器
1本の線に混合されている電波を分ける機器です。
BS・110度CS デジタル放送を視聴する場合は、「BS・CS 出力側通電型」の製品をご購入ください。
- ・ 分配器
1本のアンテナ線を、複数の端子で使うために分配する機器です。
BS・110度CS デジタル放送を視聴する場合は、BS・110度CS デジタル放送対応の製品をご購入ください。
- ・ 混合器
別々の電波を、1本の線に混合するための機器です。
また、VHF/UHFのアンテナ線とBS・CSのアンテナ線を混合できるものや、分波器として使えるものがあります。
用途に合った製品をご購入ください。
- ・ ブースター
受信電波が弱い場合に電波を増幅させるための機器です。
用途に合った製品をご購入ください。

接続例

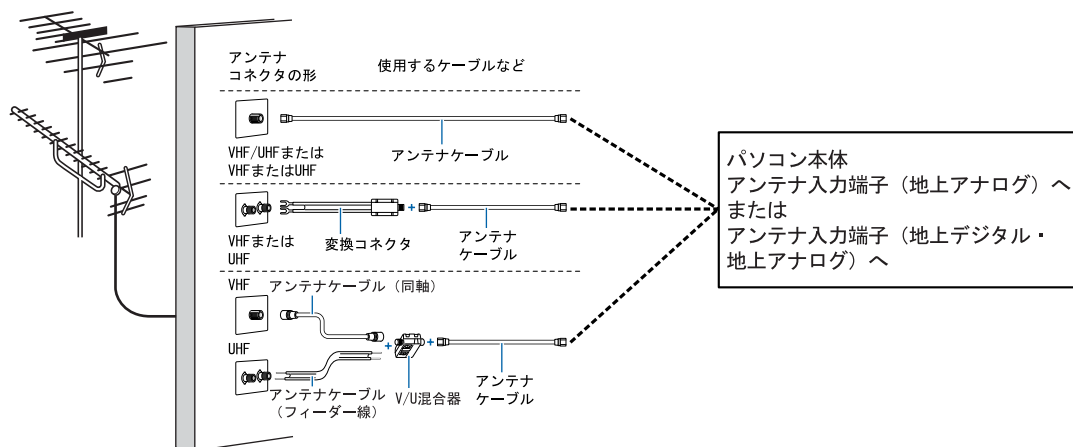
アンテナケーブルの接続方法は、アンテナの設置形態、壁のアンテナコネクタの形、お使いになるケーブルによって異なります。

地上アナログ放送のみを視聴する場合

地上アナログ放送を視聴する場合は、VHF/UHF アンテナが必要です。

パソコン本体側のアンテナケーブルを接続する端子の名称は、お使いの機種によって異なります。「このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について」(●▶P.52) をご覧になり、端子の名称を確認してください。

VHF/UHFアンテナ



地上アナログ放送と地上デジタル放送を視聴する場合

LX70S/D, LX70SN, LX55S/D, LX50S/DS, LX50S/D の場合、

LX90SN, LX55SN, LX50SN でハイビジョン・テレビチューナー (地上デジタル放送用) を選択した場合

VHF/UHF アンテナが必要です。UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない場合は、さらに地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。

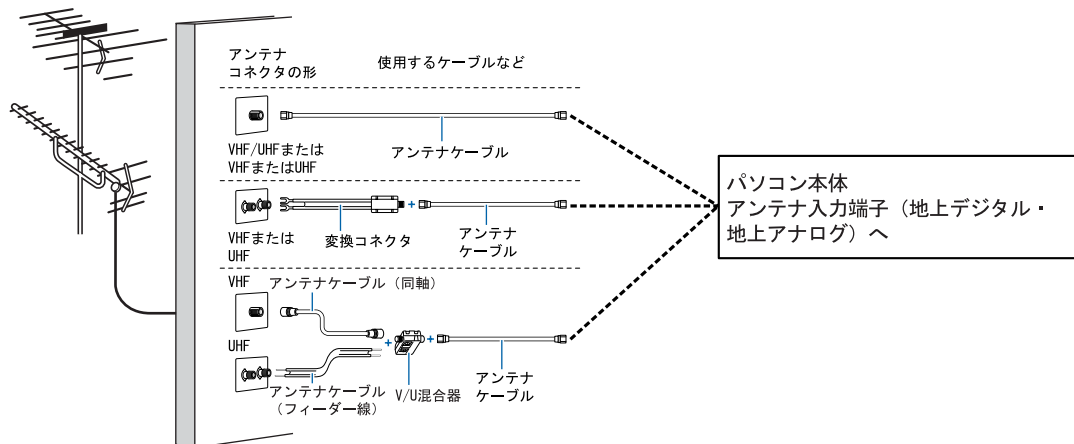
アンテナについて詳しくは、「デジタル放送用のアンテナについて」(●▶P.58) をご覧ください。

また、マンションなどで地上アナログ放送と各種デジタル放送用アンテナが混合の場合の接続例は、「マンションなどの共同受信の場合」(●▶P.58) をご覧ください。

■ UHF アンテナが地上デジタル放送に対応している場合

パソコン本体側のアンテナケーブルを接続する端子の名称は、お使いの機種によって異なります。「このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について」(▶P.52) をご覧になり、端子の名称を確認してください。

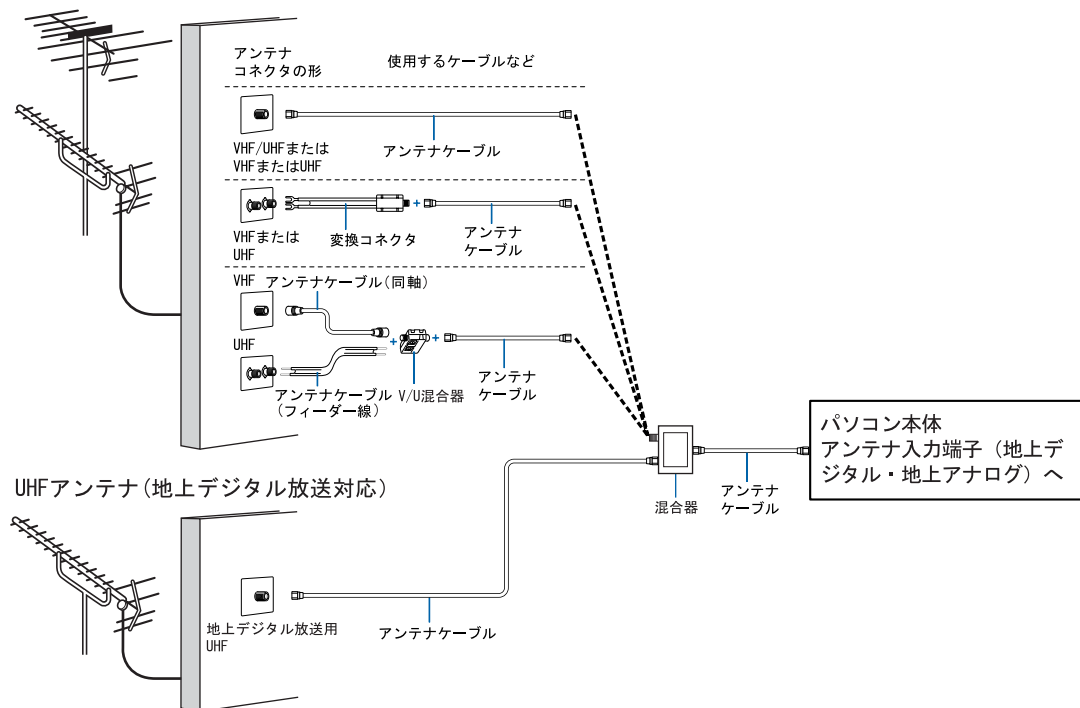
VHF/UHFアンテナ (地上デジタル放送対応)



■ UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない場合

パソコン本体側のアンテナケーブルを接続する端子の名称は、お使いの機種によって異なります。「このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について」(▶P.52) をご覧になり、端子の名称を確認してください。

VHF/UHFアンテナ (地上デジタル放送非対応)



■ マンションなどの共同受信の場合

パソコン本体側のアンテナケーブルを接続する端子の名称は、お使いの機種によって異なります。「このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について」(●▶P.52) をご覧になり、端子の名称を確認してください。



地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・110度CS放送を視聴する場合

LX90S/D の場合、

LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー(地上・BS・CS デジタル放送用)を選択した場合 VHF/UHF アンテナと BS・110度CS デジタル放送用アンテナが必要です。UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない場合は、さらに地上デジタル放送に対応した UHF アンテナが必要です。

アンテナについて詳しくは、「デジタル放送用のアンテナについて」(●▶P.58) をご覧ください。

また、マンションなどで地上アナログ放送と各種デジタル放送用アンテナが混合の場合の接続例は、「マンションなどの共同受信の場合」(●▶P.60) をご覧ください。

■ デジタル放送用のアンテナについて

ここでは、地上デジタル放送や BS・110度CS デジタル放送を視聴するためのアンテナについて、説明します。

・ 地上デジタル放送用のアンテナについて

地上デジタル放送を視聴するには、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナを、地上デジタル放送の電波送信塔に向けて設置する必要があります。

地上デジタル放送に対応していない UHF アンテナをお使いの場合は、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナを設置してください。また、地上デジタル放送に対応した UHF アンテナをお使いの場合でも、アンテナの向きを変更したり、ブースターが必要になったりする場合があります。アンテナの向きを変えると、今まで視聴していた地上アナログ放送が映らなくなることがありますので、そのようなときは、地上デジタル放送用と地上アナログ放送用のアンテナを、別に設置することをお勧めします。

また、お住まいの地域によって、周波数が異なります。詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

POINT

ケーブルテレビをご利用になっている場合

ケーブルテレビをご利用になっている場合は、受信契約をしているケーブルテレビ放送会社によって接続方法が異なります。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

このパソコンでは、同一周波数パススルー方式に対応しています。

・ BS・110度CSデジタル放送用のアンテナについて

BS・110度CSデジタル放送を視聴するには、BS・110度CSデジタルアンテナを設置する必要があります。アンテナの向き合わせ方については、アンテナのマニュアルをご覧ください。また、ケーブル、ブースター、分配器などをお使いになる場合は、周波数帯域に対応したもの（BS・110度CSデジタル放送に対応した製品）をお使いください。

BS・110度CSデジタル放送は、従来のBSアンテナでも視聴できる場合がありますが、お使用の環境によって不安定になることがあります。そのような場合は、BS・110度CSデジタルアンテナをお使いください。また、BSデジタル放送のみ視聴する場合は、BSデジタル放送用アンテナもお使いいただけます。

なお、スカパーフェクTV！用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を視聴することはできません。

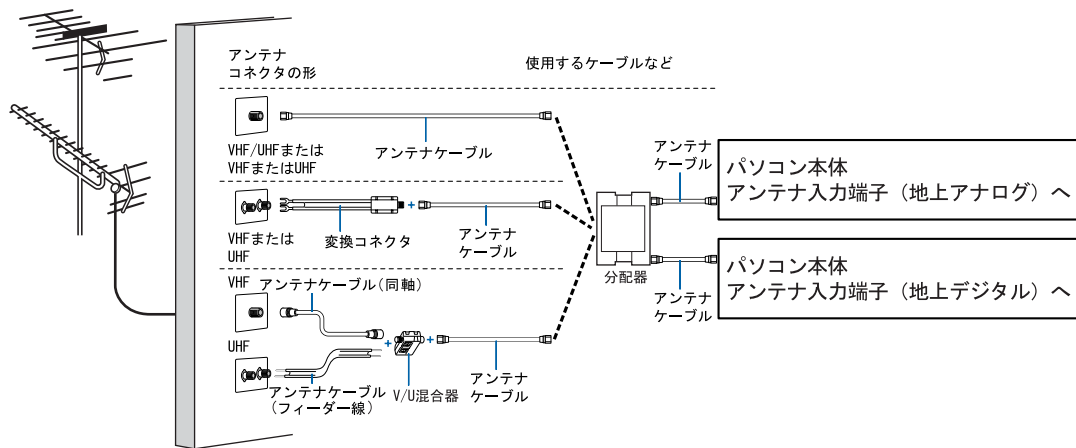
BS・110度CSデジタル放送用のアンテナは、アンテナ信号だけでなく、アンテナ電源もアンテナケーブル芯線を経由します。アース線とショートした状態にならないようにしてください。

・ BS・110度CSデジタル放送用アンテナの電源について

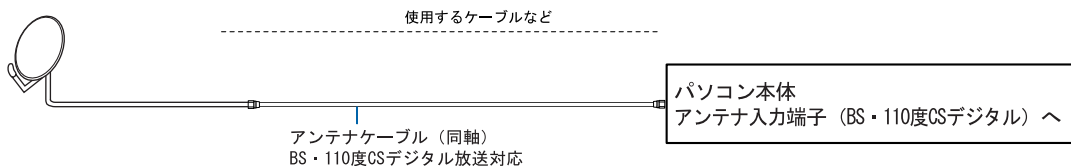
BS・110度CSデジタル放送用アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。ご購入時は「共同」（アンテナ電源オフ）に設定されています。BS・110度CSデジタル放送用アンテナをこのパソコン専用を用意している場合のみ、アンテナ電源を「個別」（アンテナ電源オン）に設定してください。同じアンテナに接続されている他のデジタル機器からアンテナ電源を供給している場合は、パソコン側は「共同」のまま（ご購入時の状態）にしてください。設定方法については、「準備が完了したら」（▶▶P.129）までの作業が終わってから、『FMVで見る・録る・残すガイド』→「デジタル放送を楽しむ」→「DigitalTVbox」を準備する→「チャンネルを設定する」をご覧ください。

■ UHFアンテナが地上デジタル放送に対応している場合

VHF/UHFアンテナ（地上デジタル放送対応）

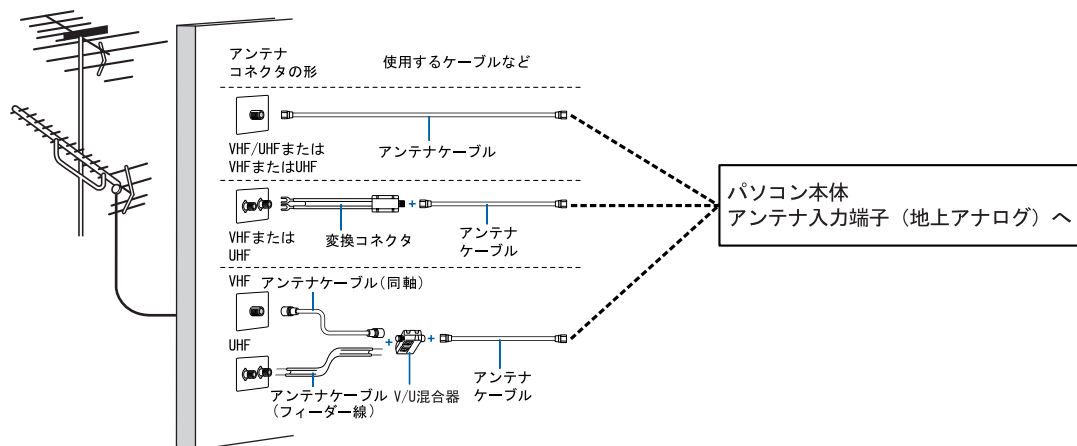


BS・110度CSアンテナ

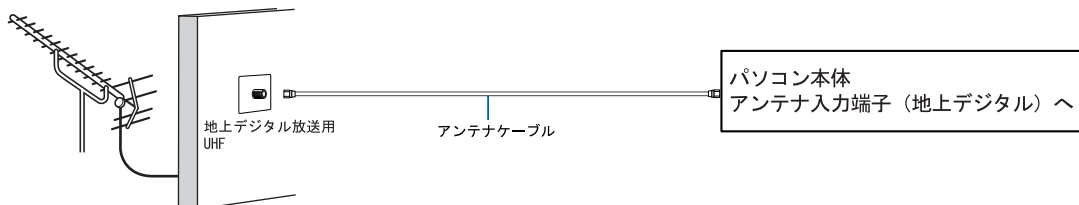


■ UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない場合

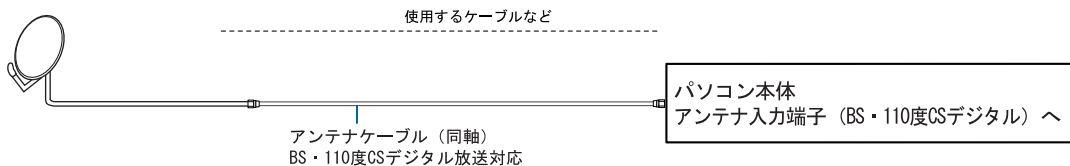
VHF/UHFアンテナ (地上デジタル放送非対応)



UHFアンテナ (地上デジタル放送対応)

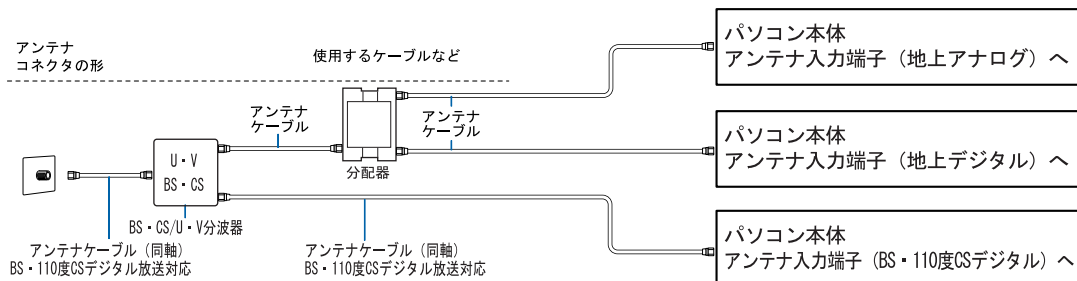


BS・110度CSアンテナ



■ マンションなどの共同受信の場合

マンションなどで共同受信の場合は、地上アナログ放送と各種デジタル放送用アンテナが混合になっている場合があります。



アンテナの確認・準備が完了したら、アンテナケーブルをパソコン本体に接続しましょう (▶P.61)。

アンテナケーブルをパソコン本体に接続する

視聴するテレビ放送のアンテナケーブルを接続してください。ケーブル類などを用意していない場合や、視聴しないテレビ放送のアンテナケーブルは接続する必要はありません。また、アンテナケーブルは、後から接続することもできます。

重要

アンテナケーブルを接続するときの注意

アンテナケーブルを接続するときは、次のことに注意してください。

- ・アンテナケーブルを接続するときは、パソコン電源を切ってください。
- ・アンテナケーブルを接続するときは、コネクタの中心にある金属芯を折らないでください。

お使いの機種によって内蔵されている端子が異なります

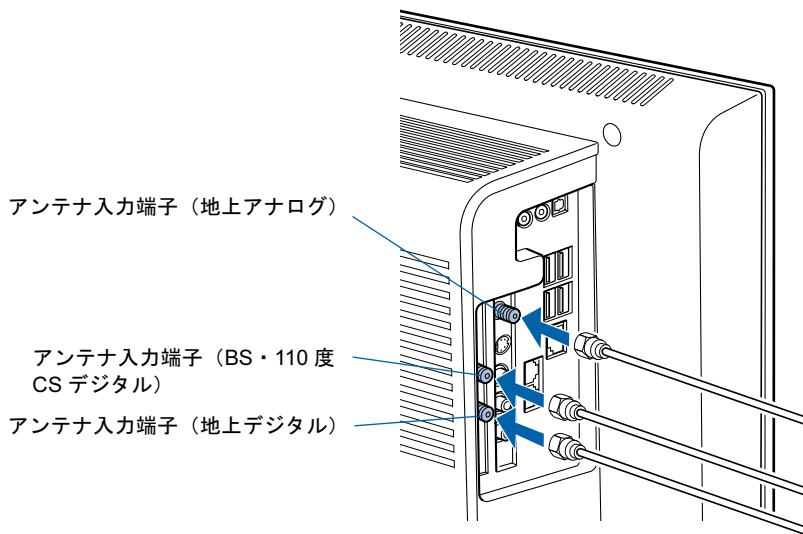
お使いの機種によって、パソコン本体に内蔵されている端子が異なります。お使いの機種に内蔵されている端子については、「このパソコンのテレビチューナーで視聴できる放送について」(▶▶P.52)をご覧ください。

1 パソコンや接続されている機器の電源が入っている場合は、すべての電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。

電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。

2 アンテナケーブルをパソコン本体に接続します。

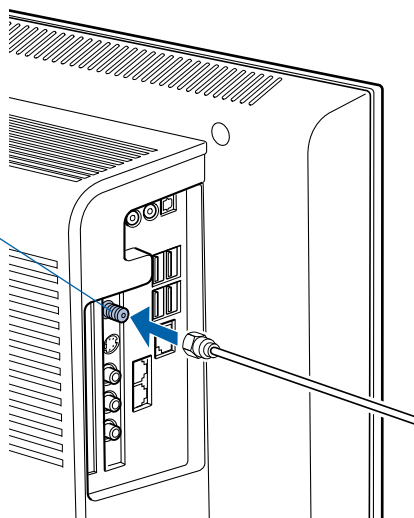
- ・地上アナログ放送用のアンテナケーブルは、アンテナ入力端子（地上アナログ）、またはアンテナ入力端子（地上デジタル・地上アナログ）に接続します。
 - ・地上デジタル放送用のアンテナケーブルは、アンテナ入力端子（地上デジタル）、またはアンテナ入力端子（地上デジタル・地上アナログ）に接続します。
 - ・BS・110度CSデジタル放送用のアンテナケーブルは、アンテナ入力端子（BS・110度CSデジタル）に接続します。
- パソコン本体左側面（LX90S/Dの場合、LX90SNでハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CSデジタル放送用）を選択の場合）



次のページへ

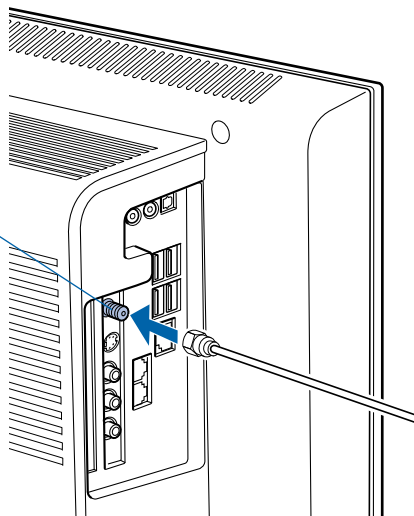
- パソコン本体左側面（LX70S/D,LX70SN,LX55S/D,LX50S/DS,LX50S/D の場合、LX90SN,LX55SN,LX50SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）を選択した場合）

アンテナ入力端子（地上デジタル・地上アナログ）



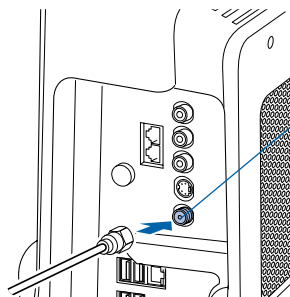
- パソコン本体左側面（LX50S の場合、LX55SN,LX50SN で高画質テレビチューナー（アナログ放送用）を選択した場合）

アンテナ入力端子（地上アナログ）




- パソコン本体右側面（LX65 シリーズ）

アンテナ入力端子（地上アナログ）



 **POINT****デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は**

デジタル放送のデータ放送で双方向通信をする場合は、インターネットや電話回線に接続する必要があります。その場合は、Windows のセットアップが終わってから、接続してください。

インターネットに接続する場合は、「インターネットを始めるための準備をする」(▶P.99)をご覧ください。
電話回線に接続する場合は、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「内蔵モデム (モジュラーコネクタ)」→「内蔵モデムについて」をご覧ください。

B-CAS カードをセットする

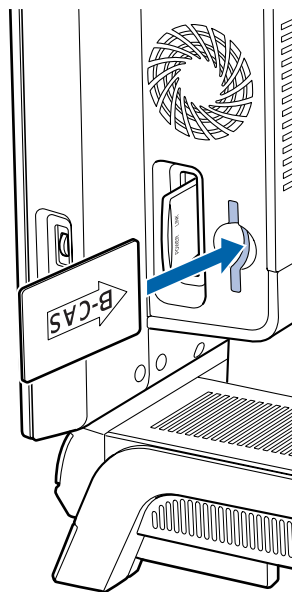
**LX90S/D,LX90SN,LX70S/D,LX70SN,LX55S/D,LX50S/DS,LX50S/D の場合、
LX55SN,LX50SN でハイビジョン・テレビチューナーを選択した場合のみ**

地上デジタル放送や BS・110 度 CS デジタル放送を視聴する場合は、B-CAS カードを挿入してください。

1 B-CAS カードを B-CAS カードスロットに挿入します。

「B-CAS」と記載されている面をパソコン本体の背面側にして、矢印の向きを B-CAS カードスロット側に向け、奥までしっかりと差し込みます。

■パソコン本体右側面



「B-CAS」と記載されている面をパソコン本体の背面側にして、まっすぐにセットします。

(イラストは機種や状況により異なります)

POINT

B-CAS カードについて

- ・ B-CAS カードの説明書に記載されている内容をよくお読みください。
- ・ B-CAS カードは必ずパソコン本体に挿入してください。B-CAS カードを挿入していないと、デジタル放送を視聴することができません。B-CAS カードについては、『FMV で見ると・録る・残すガイド』→「デジタル放送を楽しむ」→「デジタル放送について」→「デジタル放送を受信するには」をご覧ください。

B-CAS カードの取り外し方

B-CAS カードは通常パソコン本体にセットしたままにしておきますが、取り外す場合は次の手順に従って操作してください。

1. 本製品のすべての電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜きます。
電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
2. 手で B-CAS カードを引き抜きます。

続いて、リモコンを準備しましょう (●▶P.65)。

3 リモコンを準備する

ここでは、リモコンを使用するための準備について説明します。

リモコンに乾電池を入れる

警告



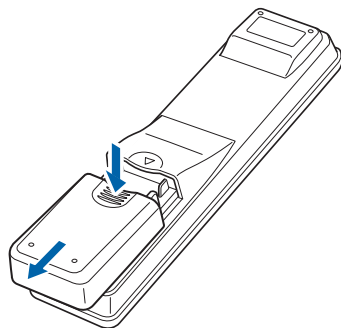
- ・乾電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂・液漏れ・発火の原因となります。

重要

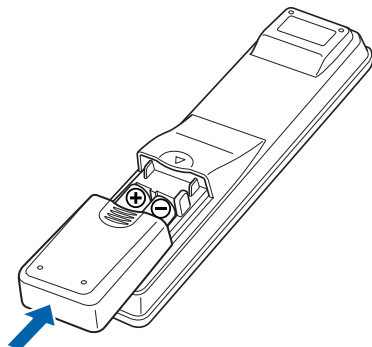
ご購入時に添付されている乾電池はお早めに交換してください

ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。

1 リモコンを裏返して電池ボックスのふたを開けます。



2 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを確かめてから添付のマンガン乾電池（2本セット）を入れて、電池ボックスのふたを閉めます。



続いて、電源ケーブルを接続しましょう（●▶P.66）。

4 電源ケーブルを接続する

ここでは、パソコン本体の電源ケーブルを接続する方法について説明します。

⚠ 警告



- ・雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでパソコン本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。落雷の可能性がある場合は、あらかじめパソコン本体の電源を切り、その後電源コードをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。



- ・電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。安全のため、電源プラグにはアース線がついています。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格を持つ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

👉 重要

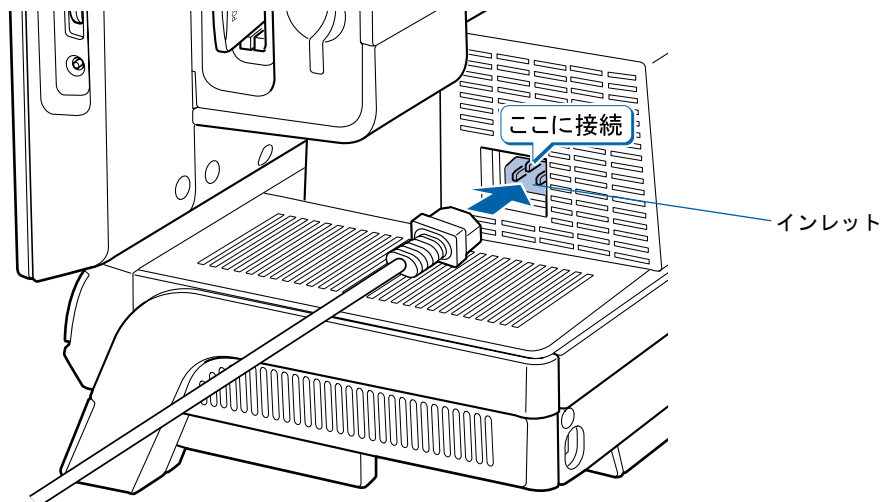
確認してください

ここまでに接続したすべてのケーブルが、正しく接続されているか確認してください。

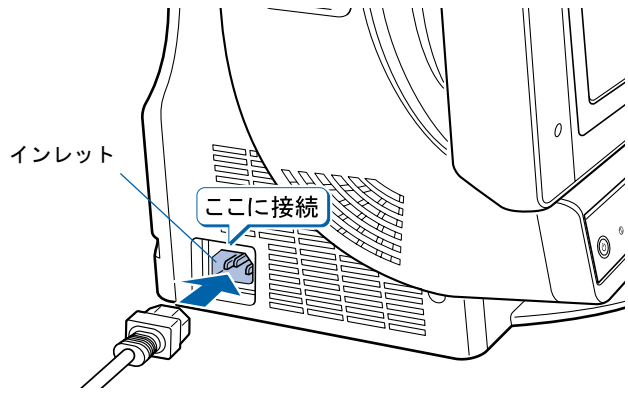
1 電源ケーブルを、パソコン本体のインレットに接続します。

コネクタの向きに注意して差し込んでください。

- パソコン本体右側面（LX90/70/55/50 シリーズ）

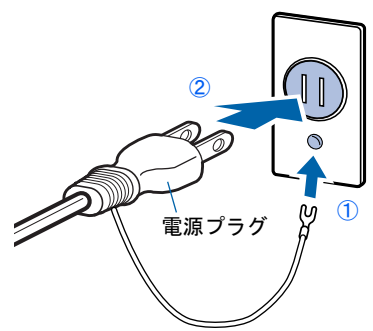


■ パソコン本体左側面 (LX65 シリーズ)



2 電源ケーブルを、コンセントに差し込みます。

①アース線をコンセントのアースネジに差し込んで、②電源プラグをコンセントに差し込んでください。



重要

コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

続いて、電源を入れましょう (→P.72)。

Memo

4

第 4 章

パソコンを準備する

初めてパソコンの電源を入れるときに行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

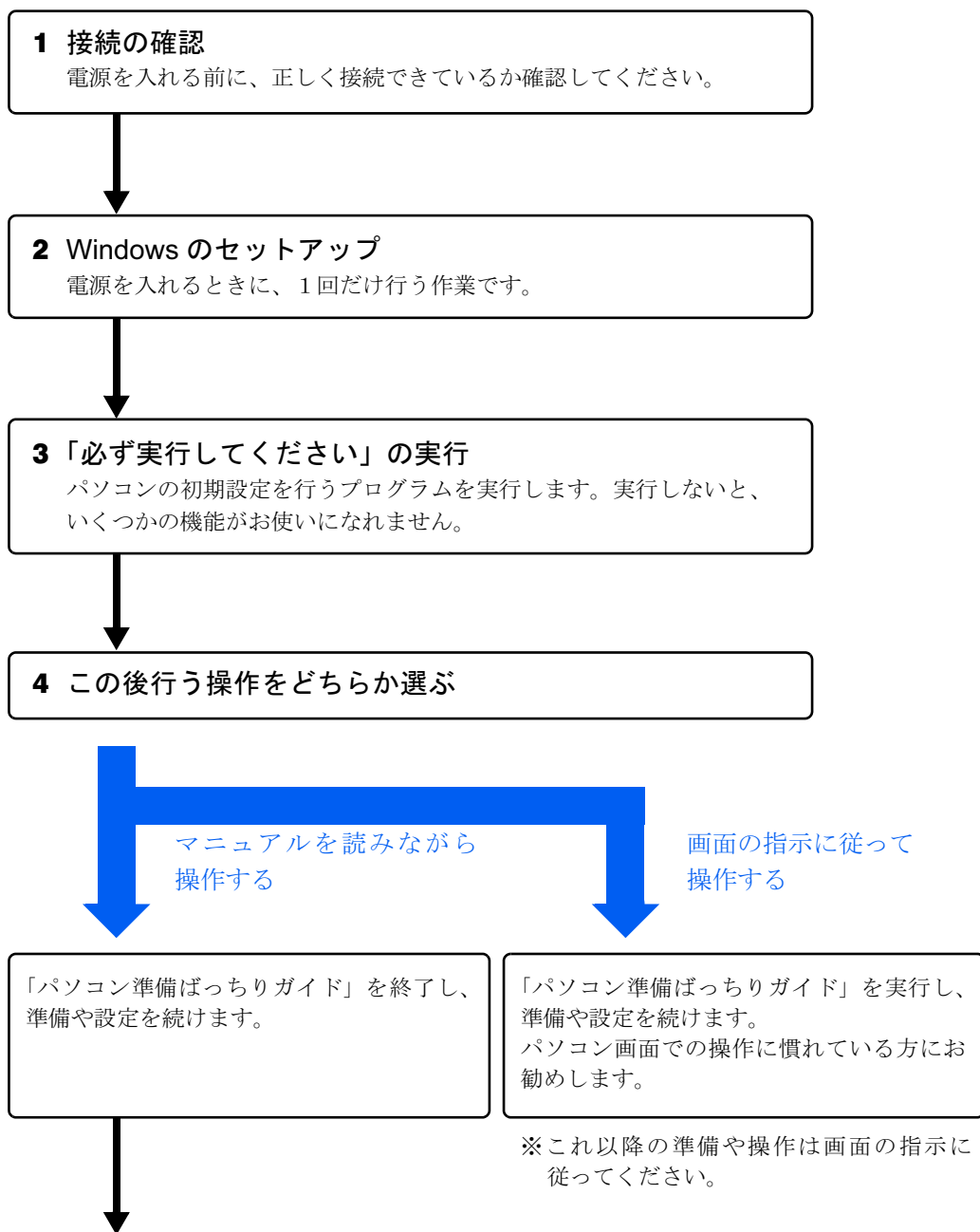
1	この章でやること	70
2	初めて電源を入れる	72
3	サービスアシスタント（画面で見るマニュアル）の準備をする	90
4	電源の切り方と入れ方	92
5	インターネットを始めるための準備をする	99
6	Windows を最新の状態にする	101
7	セキュリティ対策ソフトの初期設定をする	109
8	FMV を最新の状態にする	121
9	パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）	124
10	ユーザー登録をする	125
11	使いたい機能の準備をする	127
12	準備が完了したら	129

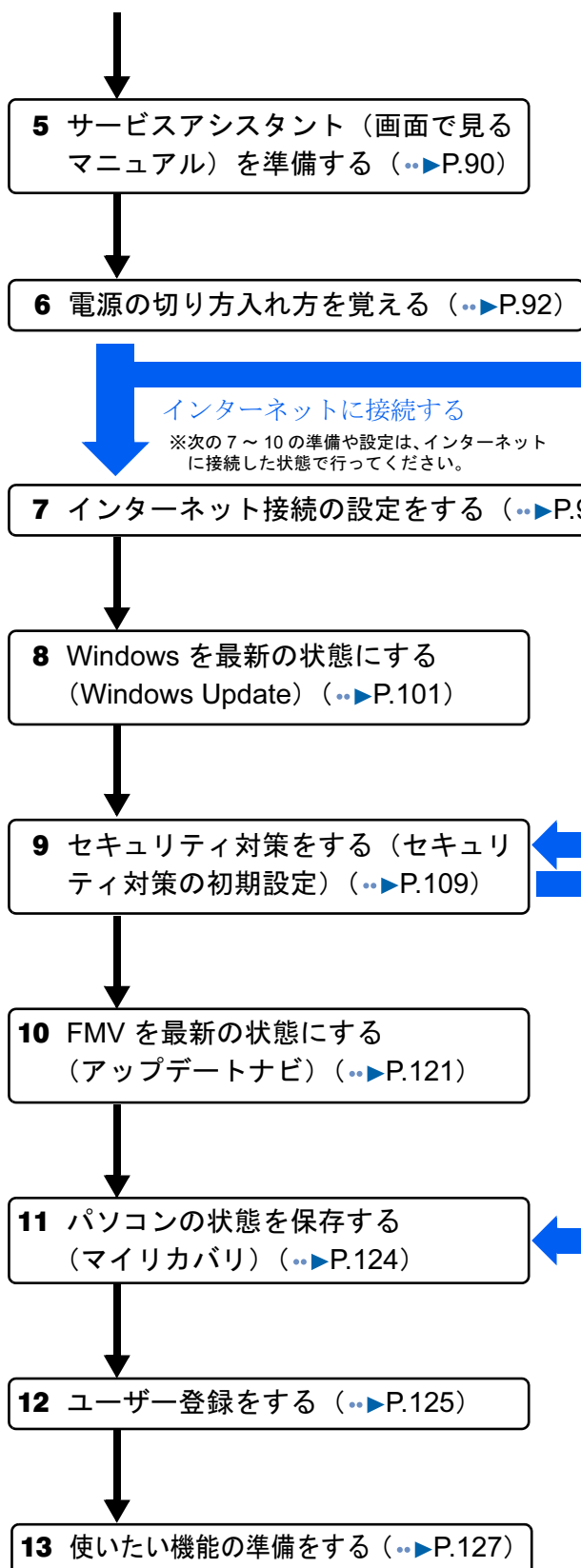
1 この章でやること

パソコンに初めて電源を入れるときは、パソコンを使えるようにするための準備が必要です。

パソコンの準備は時間に余裕をもって作業してください。パソコンの準備は半日以上上の時間をとり、じっくりと作業することをお勧めいたします。

今後、快適にパソコンを使うためには、次の流れに従って、準備を完了しましょう。





インターネットに接続する

※次の7～10の準備や設定は、インターネットに接続した状態で行ってください。

インターネットに接続しない

※9.「セキュリティ対策をする (セキュリティ対策の初期設定)」に進み、11.「パソコンの状態を保存する (マイリカバリ)」に進みます。

2 初めて電源を入れる

接続を確認する

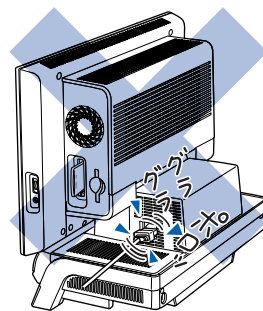
重要

ケーブルはグラグラしていませんか？

奥までしっかりと差し込まれているか、もう一度お確かめください。

セットアップ前には、LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) を接続しないでください

LAN ケーブル、モジュラーケーブル、ターミナルアダプタ (TA) などが接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、接続してください。

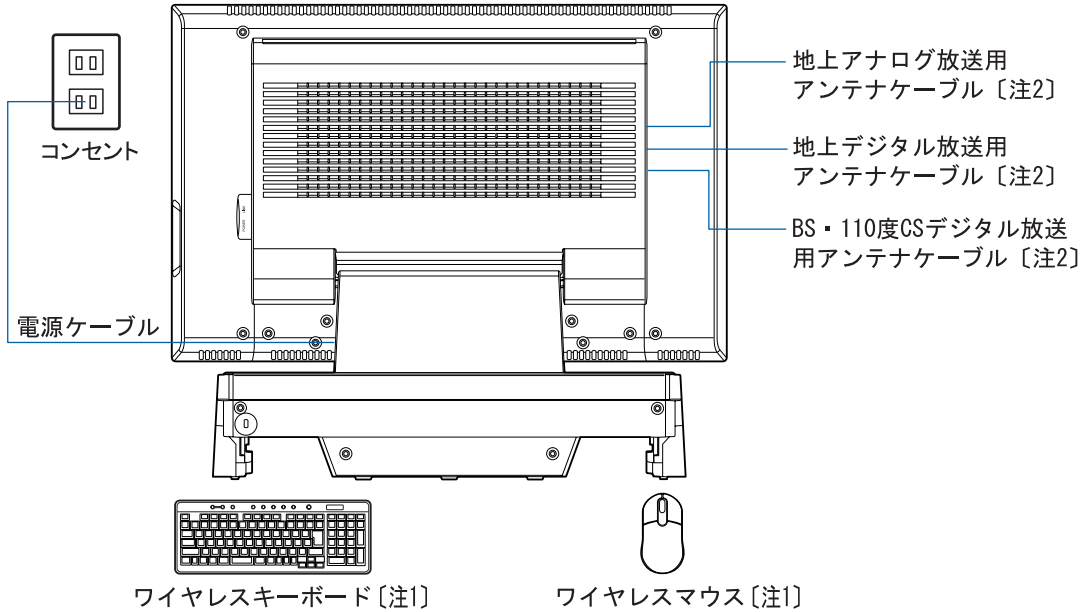


セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタやメモリなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作 (Windows のセットアップ) の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続してください。

電源を入れる前に、次のイラストをご覧になり、正しく接続できているか確認してください。接続方法は機種によって異なります。

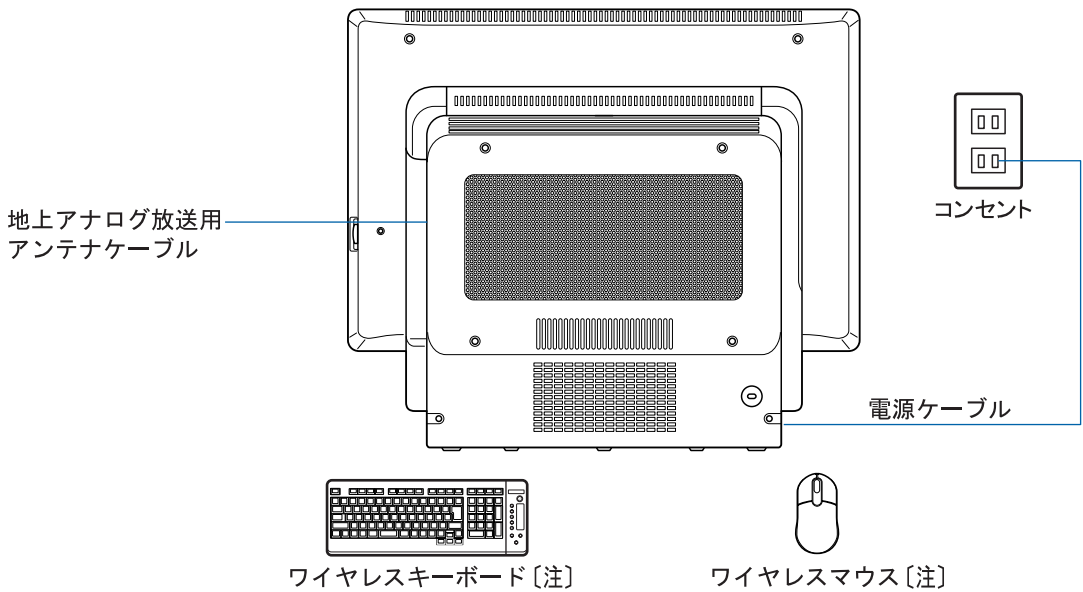
LX90/70/55/50 シリーズの場合



注1：添付の乾電池が正しく入っているか確認してください。

注2：視聴するテレビ放送のアンテナケーブルが接続されているか確認してください。

LX65 シリーズの場合



注：添付の乾電池が正しく入っているか確認してください。

初めて電源を入れる～Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、**Windows のセットアップ**という作業が必要です。Windows のセットアップは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1 回だけ行う操作です。**このマニュアルの手順どおりに進めてください**。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

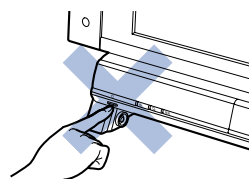
セットアップ時の注意事項

ワイヤレス LAN カードの注意事項（ワイヤレス LAN カード内蔵の機種のみ）

このパソコンのご購入時にセットされているワイヤレス LAN カードは、取り外さないでください。ワイヤレス LAN カードをセットしないまま Windows のセットアップを行うと、無線 LAN の設定が正しくできません。

セットアップが終わるまでパソコン電源を切らないでください

Windows のセットアップを途中で止めると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、パソコン電源を切らないでください。もしパソコン電源を切って Windows が使えなくなった場合、**『FMV 活用ガイド』**→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。



セットアップが終わるまでリモコンは使用しないでください

Windows のセットアップの途中でリモコンを操作すると、Windows のセットアップが途中で終了してしまうことがあります。セットアップが終わるまで、リモコンは使用しないでください。リモコンを使用し、パソコン電源が切れて Windows が使えなくなった場合には、**『FMV 活用ガイド』**→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。

セットアップ中の画面表示について

セットアップ中は、画面の両端が黒く表示されますが、故障ではありません。セットアップ終了後は全画面表示になります。

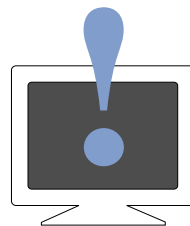
画面が乱れることがあります

パソコン電源を入れてから「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまでの間、一瞬画面が乱れることがあります。故障ではありませんのでそのままお使いください。

しばらく操作しないと

パソコン電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、パソコン電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

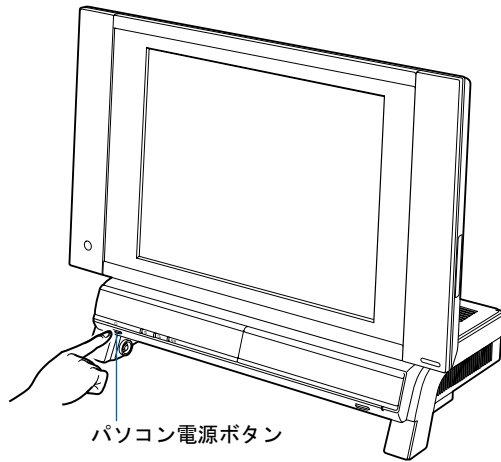
マウスを動かしたり、キーボードの **↑** **↓** **←** **→** や **(Shift)** のどれかを押し続けると、元の画面に戻ります。スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。



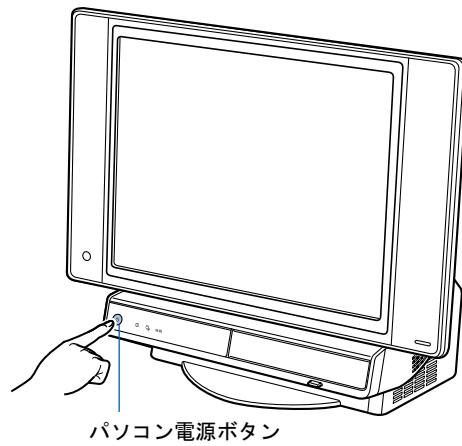
Windows の設定

1 パソコン電源ボタンを押します。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合



■ LX65 シリーズの場合

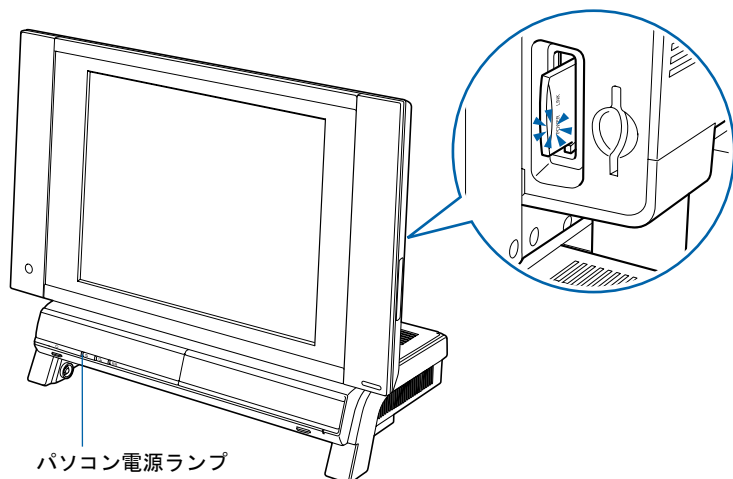


電源を切らずに次のページへ

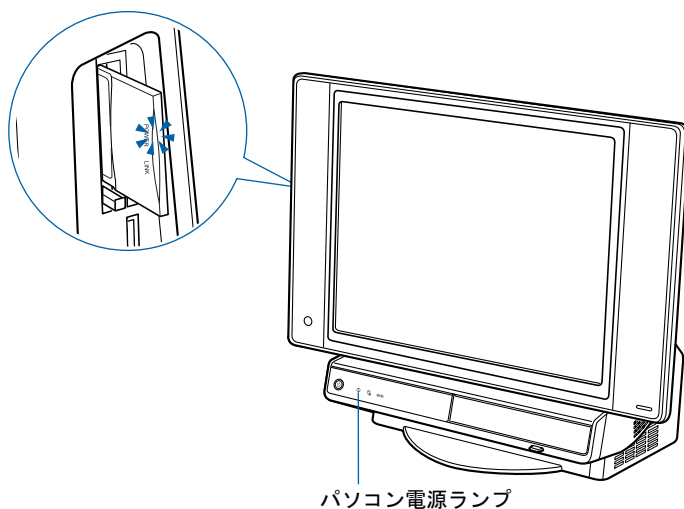
2 パソコン電源ランプが緑色に点灯することを確認します。

電源が入ると、画面にさまざまな文字などが表示されます。

■LX90/70/55/50 シリーズの場合



■LX65 シリーズの場合



POINT

画面に何も表示されない場合は

もう一度パソコン電源ボタンを押してみてください。

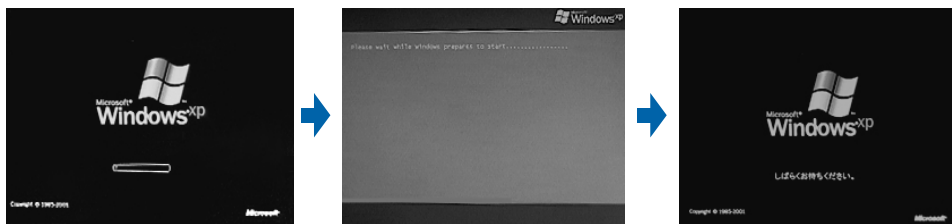
ワイヤレス LAN カードのランプが点滅していることを確認してください (ワイヤレス LAN カード内蔵の機種のみ)

PC カードスロットのワイヤレス LAN カードの POWER ランプが点滅していることを確認してください。

POWER ランプが点滅していない場合は、ワイヤレス LAN カードが正しくセットされていない場合があります。その場合は、ワイヤレス LAN カードを押し込んでください。

3 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。



パソコンが再起動します。この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

「Microsoft Windows へようこそ」という画面が表示されるまで、パソコン電源を切らずにそのままお待ちください。

途中でパソコン電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

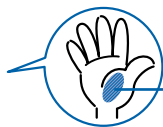


もしパソコン電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」または「Q パソコンの電源を入れても、Windows が起動しない (メッセージが表示される・音が鳴る他)」をご覧ください。

4 マウスを用意します。

マウスを机の上などの平らな場所に置き、左右のボタンに指がかかるように手を軽く乗せます。

手のひらの下の部分が、軽く机に触れるようにしてください。

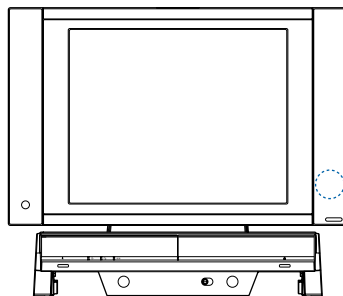


ここが机に触れるようにします

POINT

マウスの向きに注意！

ワイヤレスマウスはボタンがあるほうをパソコン本体に向けて使います。



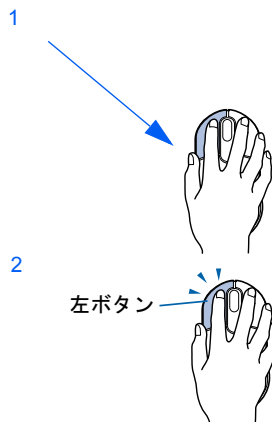
キーボード／マウスアンテナ



5 1 画面上の \leftarrow を「次へ」の右の \rightarrow に合わせ、2 マウスの左ボタンを軽くカチッと1回押して、すぐ離します。

マウスを平らな場所に置いたまま、すべらせると、マウスの動きに合わせて、 \leftarrow (マウスポインタ) が画面の上を動きます。

2の操作のことを、「クリック」といいます。



マウスポインタを合わせると薄い緑色に変わります。

POINT**キーボードやマウスで操作できない場合**

キーボードやマウスが操作できなくなった場合は、「使用上のお願い」(●▶P.36)をご覧ください。パソコンを設置している環境を確認してください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコン電源を入れ直してください。

1. パソコン電源ボタン(●▶P.20)を4秒以上押し続けたままにして、強制的に電源を切ります。
2. ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスに乾電池が正しく入っているか確認します(●▶P.50)。
3. もう一度パソコン電源ボタンを押します(4秒以上押さないでください)。

電源を入れ直しても操作できない場合は、正しくID設定されていない可能性があります。「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」(●▶P.149)をご覧ください。IDを設定し直してください。

周囲や近隣でパソコンを使っている場合

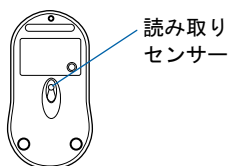
このパソコンを使っている周囲や近隣で複数台のパソコンが使われている場合、同じIDが設定されているキーボードやマウスがあると、次のような意図しない動作をすることがあります。

- ・ 混信するなどして正しく動作しない
- ・ キーが勝手に入力される
- ・ マウスポインタが勝手に動く

そのような場合は、このパソコンのキーボードやマウスのIDを設定し直してください。設定方法については、「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」(●▶P.149)をご覧ください。

マウスのしくみ

光学式マウスには、裏面に光学式読み取りセンサーが付いています。マウスを机の上などですべらせると、マウス裏面から出された赤い光の陰影を光学式センサーで検知し、画面上のマウスポインタが動くようになっています。



光学式マウスをお使いになる上での注意事項

光学式マウスは、机の上だけでなく、紙の上などでもお使いになることができますが、次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。

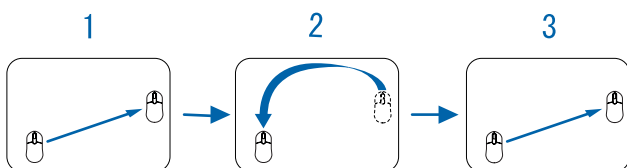
- ・ 鏡やガラスなど、反射しやすいもの
- ・ 光沢があるもの
- ・ 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの（木目調など）
- ・ 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

光学式センサーは机などと接触せずにマウスの動きを検知しているため、特にマウスパッドなどの必要はありませんが、マウス本体は机などと接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、マウスパッドなどをお使いになることをお勧めします。

マウスパッドをお使いになる場合は、明るい色の無地のマウスパッドをお使いになることをお勧めします。光学式マウス対応のマウスパッドも市販されています。

マウスが机の端まできたら



1 マウスが机の端まできたら、2 いったんマウスを持ち上げて、もう一度別の位置から動かしてください。マウスを持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。

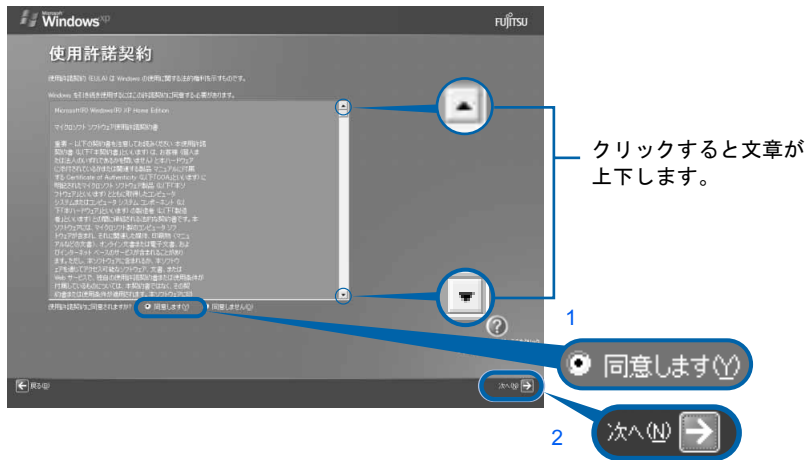


マウスを持ち上げている間はマウスポインタは動きません。

ボタンは軽く押すだけで OK!

力を入れて押す必要はありません。マウスのボタンはカチッと1回押したら、すぐ指を離すようにします。

- 6** **1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックして**  **にし、** **2 「次へ」の右の**  **をクリックします。**




次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

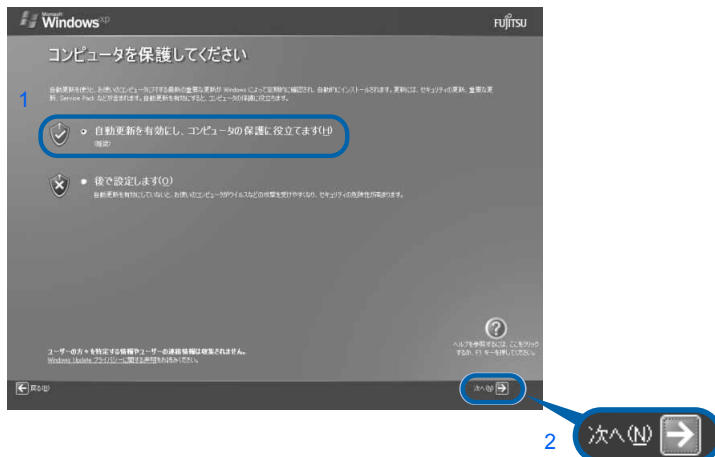
重要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に...」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。

手順6の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左の  をクリックしてください。

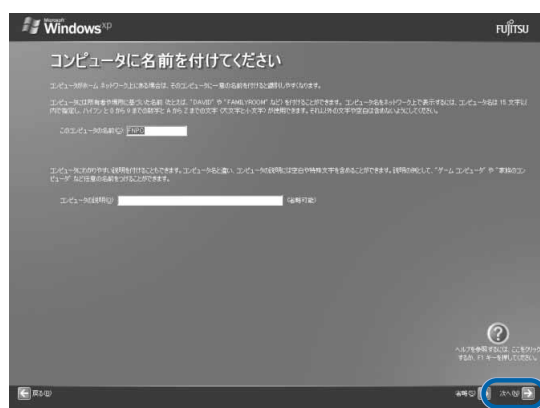
- 7** **1 「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立ってます」をクリックして**  **にし、** **2 「次へ」の右の**  **をクリックします。**



電源を切らずに次のページへ

8 「次へ」の右の➡をクリックします。

表示されているコンピュータの名前は、ここでは変更しません。コンピュータの名前は後から変更できます。詳しくは、Windows のセットアップがすべて完了した後、Windows のヘルプを表示して「コンピュータ名」で検索し、「コンピュータ名を変更する」をご覧ください。

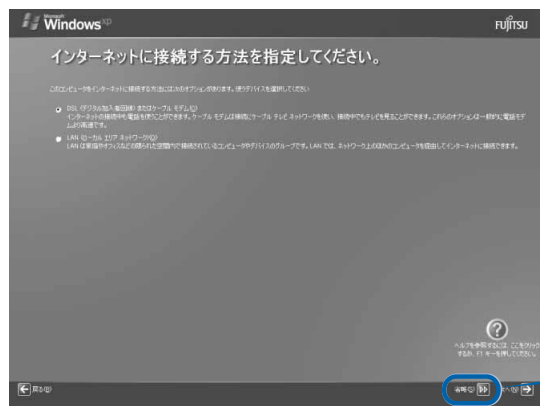


次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした」という画面が表示されます。

インターネット接続の設定は、Windows のセットアップが終わってから行ってください。

9 「省略」の右の▶▶をクリックします。



または



10 1 「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして⊙にし、2 「次へ」の右の➡をクリックします。



POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「省略」の左の▶▶をクリックすると、手順 11 に進みます。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか?」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして⊙にし、「次へ」の右の➡をクリックします。

11 画面に表示されているメッセージを確認してから、「完了」の右の➡をクリックします。



パソコンが再起動します。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありませんのでそのままお待ちください。

12 そのまましばらくお待ちください。

パソコンが再起動すると、次のような画面が表示されます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

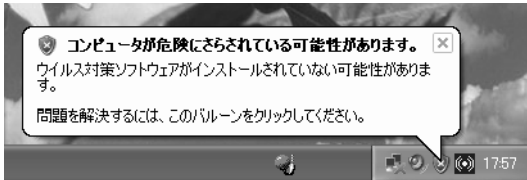
続いて、「必ず実行してください」を実行します (●▶P.85)。

POINT

画面の通知領域に「コンピュータが危険にさらされている可能性があります」と表示されたら

セキュリティ対策ソフトの設定が終わっていないため、表示される場合があります。

この後、手順どおりに進み、「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」(●▶P.109)でセキュリティ対策ソフトの初期設定をすると、表示されなくなります。



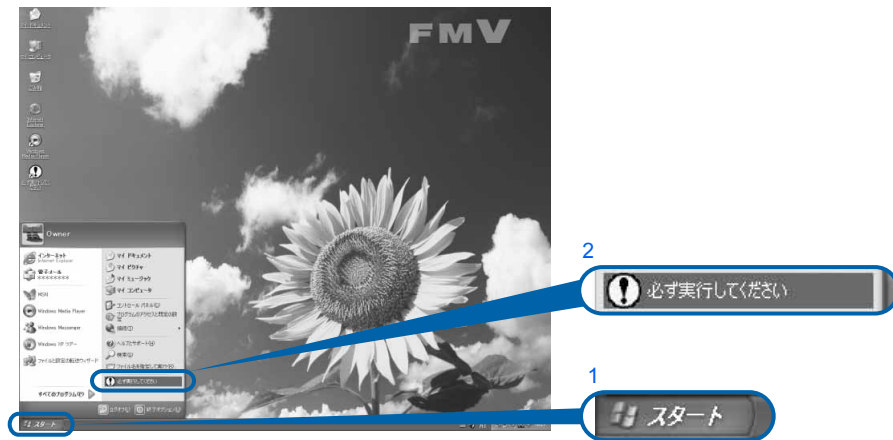
Windows 起動時、または終了時の画面について

Windows 起動時、または終了時に、画面左上が白くぼやけて見えることがあります。これは画面のデザインであり故障ではありません。

「必ず実行してください」の実行

13 1 「スタート」ボタン→2 ①必ず実行してください の順にクリックします。

①必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

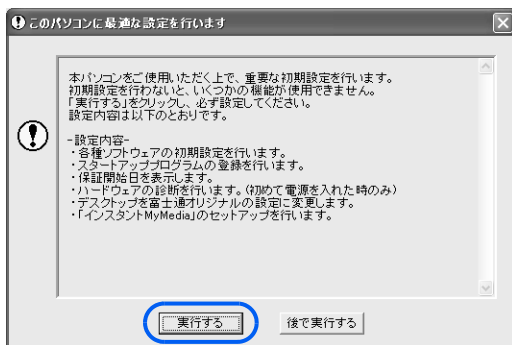


POINT

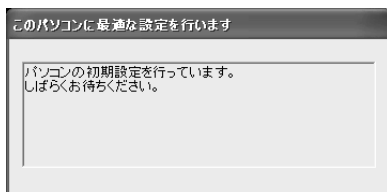
画面にある①(必ず実行してください)をクリックしても実行できます

1. 画面の①をクリックします。
この後は、手順 14 (●▶P.85) に進んでください。

14 「実行する」をクリックします。



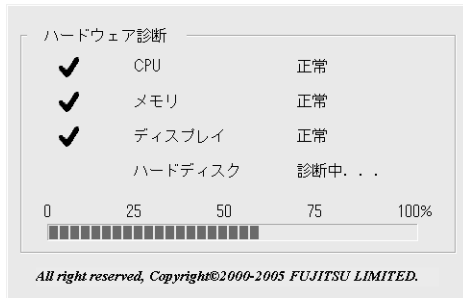
パソコンの初期設定が始まり、次の画面が表示されます。



そのまましばらくお待ちください。手順 15 の画面が表示されます。

15 ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 16 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

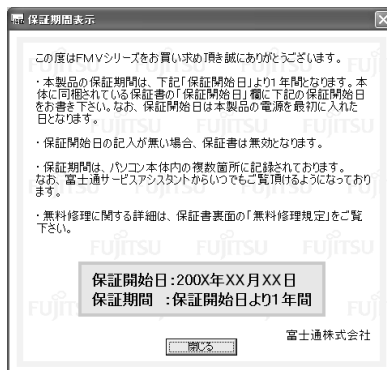


重要

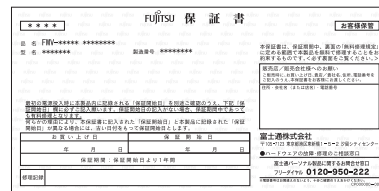
ハードウェア不良の画面が表示された場合

画面の指示に従ってください。

16 この画面が表示されたら、保証書を用意します。



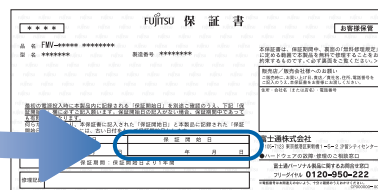
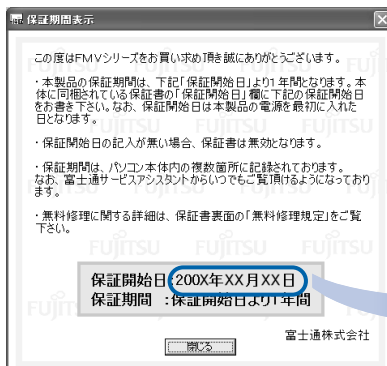
保証書は梱包箱に貼り付けられています。



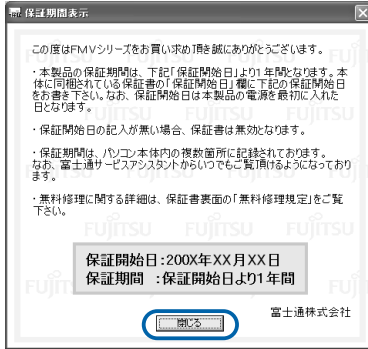
17 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

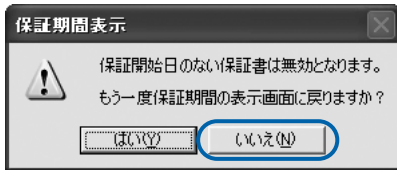


18 「閉じる」をクリックします。

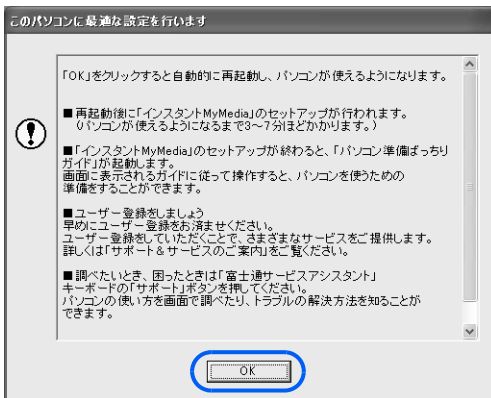


19 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。



20 「OK」をクリックします。



画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。次の画面が表示されるまで少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

21 「インスタント MyMedia」のセットアップが始まります。 手順 22 の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。



(③の画面が表示されている間に①の画面が表示される場合があります)

セットアップ中はパソコンが再起動して画面が真っ暗になったり、「インスタント MyMedia」の画面が表示されたりします。セットアップが終了するまでには3～7分ほどかかります。

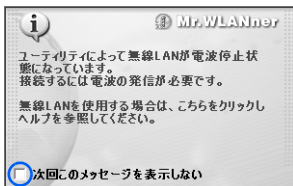
22 画面が表示されたことを確認します。



POINT

次の画面が表示されます (ワイヤレス LAN カード内蔵の機種のみ)

Windows のセットアップが終了すると、パソコンの電源を入れるたびに次の画面が表示されます。



「次回このメッセージを表示しない」の をクリックして にすると、この画面は表示されなくなります。

続いて、「この後行う操作をどちらか選ぶ」へ進みましょう (●▶P.89)。

この後行う操作をどちらか選ぶ

■「パソコン準備ばっちりガイド」について

「パソコン準備ばっちりガイド」を使うと、パソコンを使うための準備として必要な設定やセキュリティ対策の説明を、画面上で確認できます。このマニュアルを読まずに、画面上の説明を見ながら操作を進めたい場合は、「パソコン準備ばっちりガイド」をご利用ください。画面上の説明に従って操作すると、必要な準備が完了し、パソコンを使い始められる状態になります。

なお、「パソコン準備ばっちりガイド」は、画面での操作に慣れていない方にお勧めします。


23 「パソコン準備ばっちりガイド」を実行するか、実行しないか決めます。

■「パソコン準備ばっちりガイド」を見ながら準備を進める場合

「パソコン準備ばっちりガイド」を見ながら操作を進める場合は、画面上の説明をよく読んでから、「今すぐ実行」をクリックします。



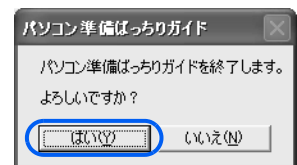
画面に表示された説明に従って、操作を進めてください。

途中で中断することもできます。中断する場合は、説明画面にある「中断」をクリックしてください。また、再開する場合は、画面上の (パソコン準備ばっちりガイド) をクリックしてください。

これ以降、「このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合」(▶▶P.132) までの準備の操作は画面の指示に従ってください。

■このマニュアルを見ながら準備を進める場合

引き続きこのマニュアルを見ながら操作を進める場合は、「あとで実行」をクリックし、次の画面で「はい」をクリックします。「パソコン準備ばっちりガイド」を終了します。



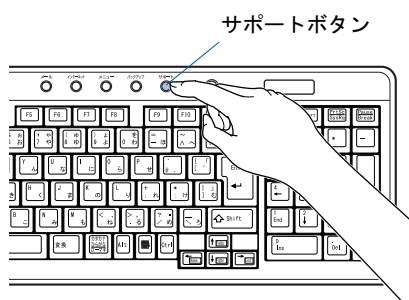
続いて、サービスアシスタント (画面で見るマニュアル) の準備をしましょう (▶▶P.90)。

3 サービスアシスタント（画面で見るマニュアル）の準備をする

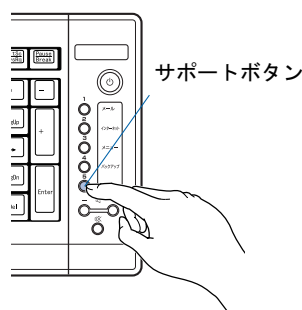
パソコンの操作でわからないことがあるときやパソコンの調子が悪いときには「サービスアシスタント」をご覧ください。「サービスアシスタント」では、画面で見るマニュアルや、サポートに関する情報などをご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを起動することで初期設定を行い、使えるように準備します。

1 キーボードのサポートボタンを押します。

■LX90/70/55/50 シリーズの場合



■LX65 シリーズの場合



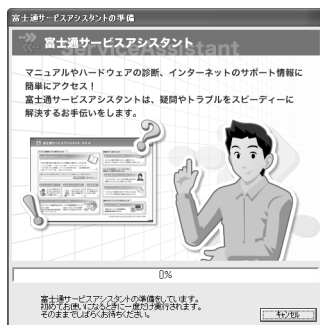
POINT

機種を選択する画面が表示されたときは

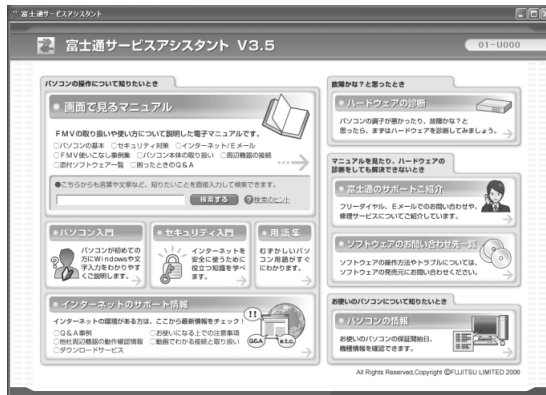
別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（▶▶P.34）をご覧ください。

2 そのまましばらくお待ちください。

サービスアシスタントは初めて起動したときに自動で準備を行うため、起動するまでにしばらく（約5分間）時間がかかります。



3 準備が完了すると、サービスアシスタントが起動します。



これがサービスアシスタントのトップ画面です。

4 これでサービスアシスタントの初期設定は終了です。✕をクリックし、「サービスアシスタント」を終了します。

今後はいつでも、同じ方法ですぐに起動できます。



サービスアシスタントの使い方については、『FMV 活用ガイド』→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」→「サービスアシスタント」で調べる」をご覧ください。

続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう (●▶P.92)。

4 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

⚠ 注意



・ CD や DVD をセットするとき、および取り出すときには、CD/DVD ドライブのトレイに指などを入れないでください。

けがの原因となることがあります。



・ 電源を入れた状態で持ち運んだり、衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

電源を切る

ここでは電源の切り方のうち Windows を終了する方法を説明しています。

1 それまで行っていた作業を終了します。

ソフトウェアを起動している場合は、作業中のデータを保存し、ソフトウェアを終了します。

例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

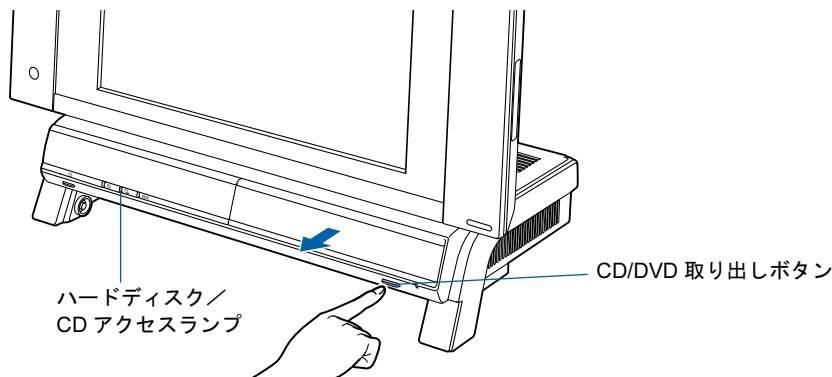
ソフトウェアを終了しなかった場合

ソフトウェアを起動したままでもこれ以降の操作を進められますが、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤動作の原因となるので、あらかじめデータを保存した後、ソフトウェアを終了してください。

2 CD や DVD などがセットされていたら、パソコン本体前面の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押して取り出します。

CD や DVD などを取り出したら、パソコン本体前面の CD/DVD 取り出しボタンの中央を押して、トレイを戻します。

■ パソコン本体前面

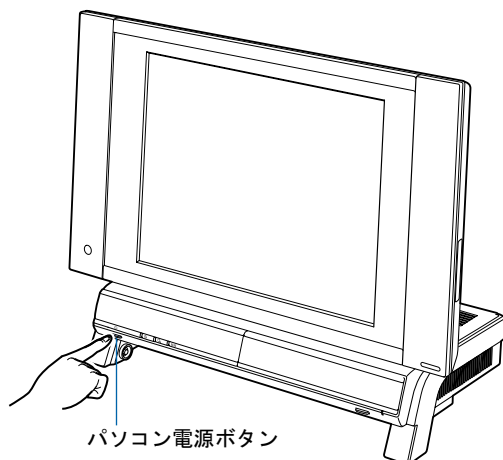
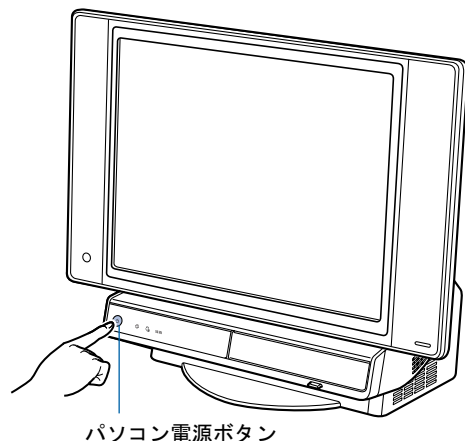


POINT**CD や DVD などを入れたままだと**

パソコン電源を切ってしまうと、CD や DVD などは取り出せません。

3 パソコン電源ボタンを押します。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合**■ LX65 シリーズの場合****重要****パソコン電源ボタンは押し続けしないでください**

パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、Windows などの正常な終了処理ができないまま、強制的にパソコン電源が切れてしまいます。

POINT

パソコン電源を切る方法はいろいろあります

- ・「スタート」ボタンからパソコン電源を切る
 1. 「スタート」ボタン→「終了オプション」の順にクリックします。
 2. 「電源を切る」をクリックします。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- ・ワイヤレスキーボードでパソコン電源を切る
 1. ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンを押します。

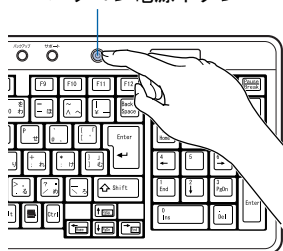
しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- ・リモコンでパソコン電源を切る
 1. リモコンのパソコン電源ボタンを押します。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。
 2. リモコンの◀（左カーソル）ボタンまたは▶（右カーソル）ボタンを押して「電源を切る」を選択し、決定ボタンを押します。

しばらくすると Windows が終了し、パソコン電源が自動的に切れます（画面が暗くなり、パソコン電源ランプが消えます）。Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかりますが、そのままお待ちください。

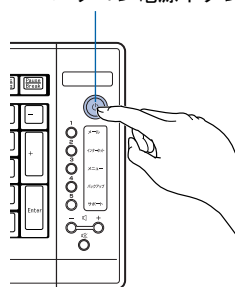
■ワイヤレスキーボードの場合 (LX90/70/55/50 シリーズ)

パソコン電源ボタン



■ワイヤレスキーボードの場合 (LX65 シリーズ)

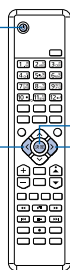
パソコン電源ボタン



■リモコンの場合

パソコン
電源ボタン


左カーソル
ボタン



決定ボタン
右カーソル
ボタン

（イラストは機種や状況により異なります）


 **POINT****パソコン電源が切れない場合**

パソコンが動かなくなり（マウスやキーボードが操作できないなど）、パソコン電源が切れないときは、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら（Q&A）」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。それでも電源が切れないときは、パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けて強制的にパソコン電源を切ってください。

パソコン電源を切った後、パソコン電源ランプが消えている（パソコン電源が切れている）ことを確認してください。パソコン電源ランプがオレンジ色に点灯しているときは、スタンバイ状態になっているためパソコン電源が切れていません。もう一度パソコン電源ボタンを 4 秒以上押し続けてパソコン電源を切ってください。

Windows の終了時間を短くするには

Windows を終了する際に「インスタント MyMedia」の設定を行っているため、Windows が終了するまでにしばらく（約 20 秒）時間がかかります。Windows の終了時間を短くしたい場合は、BIOS の「詳細」メニューの「インスタント MyMedia」を「使用しない」に設定してください。

BIOS の操作方法については、（サービスアシスタント）のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「BIOS の設定」→「BIOS セットアップの操作のしかた」をご覧ください。

4 パソコンに接続されている機器の電源を切ります。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう（▶P.96）。

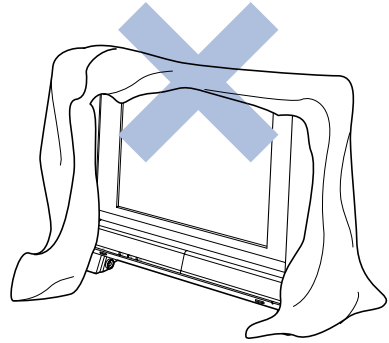
電源を入れる

ここでは電源の入れ方のうち Windows を起動する方法を説明しています。

重要





パソコン電源を入れるときの注意

- ・ パソコン電源を切った後は、次にパソコン電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
- ・ パソコンに布などのカバーをかけている場合は、必ずそれらを完全に取り外してからパソコン電源を入れてください。パソコンの通風孔などが布などでふさがれたまま使用すると、パソコン内部に熱がこもり、動作不良や本体カバーの変形が起きることがあります。
- ・ 電源を入れた後は、手順 4 の画面が表示されるまでは電源を切らないでください。手順 4 の画面が表示される前に電源を切ると、パソコンの動作が不安定になります。



しばらく操作しないと

パソコン電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、パソコン電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの     や **[Shift]** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

- 1 パソコンに接続されている機器の電源を入れます。
- 2 電源ケーブルがコンセントに接続されていない場合は、電源プラグをコンセントに差し込みます。

重要

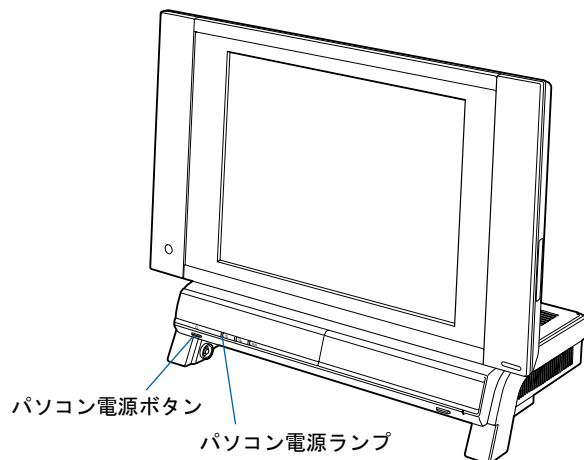
コンセントに接続すると

電源ケーブルをコンセントに接続すると、数秒間電源ランプが点灯して電源が入ったような状態になりますが、故障ではありません。

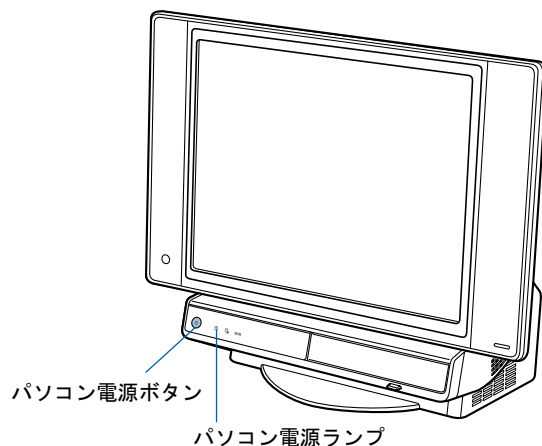
3 パソコン電源ボタンを押します。

パソコン電源ランプが点灯し、画面にさまざまな文字などが表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合



■ LX65 シリーズの場合



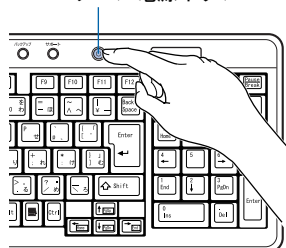
POINT

パソコン電源を入れる方法はいろいろあります

- ・ワイヤレスキーボードのパソコン電源ボタンでもパソコン電源を入れることができます。
- ・リモコンのパソコン電源ボタンでもパソコン電源を入れることができます。

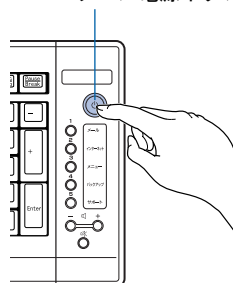
■ ワイヤレスキーボードの場合 (LX90/70/55/50 シリーズ)

パソコン電源ボタン



■ ワイヤレスキーボードの場合 (LX65 シリーズ)

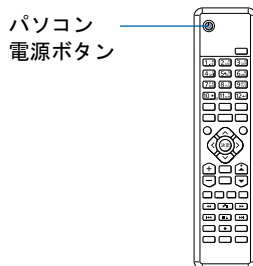
パソコン電源ボタン



次のページへ

POINT

■リモコンの場合



(イラストは機種や状況により異なります)


4 このような画面が表示されたことを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

POINT

Windows が起動しない場合

パソコン電源を入れても Windows が起動しないときは、『FMV 活用ガイド』→「トラブルかなと思ったら (Q&A)」→「パソコンがおかしいときの Q&A 集」→「Q パソコンの電源が入らない、画面に何も映らない [DESKPOWER]」をご覧ください。

インターネットに接続する方は、続いて、インターネットを始めるための準備をしましょう (●▶P.99)。

インターネットに接続しない方は、続いて、セキュリティ対策ソフトの設定をしましょう (●▶P.109)。

5 インターネットを始めるための準備をする

このパソコンでインターネットやオンラインユーザー登録を利用するためには、インターネットに接続するための準備が必要です。

なお、初めてインターネットに接続するときには、ウイルスや不正アクセスからパソコンを守るためのセキュリティ対策を必ず行ってください。

POINT

今までお使いになっていたパソコンの設定を移行する場合は

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、今までお使いになっていたパソコンのインターネットやEメールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。

「PC 乗り換えガイド」を実行すると、お使いになっていたパソコンの情報が上書きされますので、このパソコンに設定などを行う前に実行してください。


「インターネットを始めるための準備をする」の前に「PC 乗り換えガイド」を実行することをお勧めします。

詳しくは、「このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合」(▶▶ P.132)をご覧ください。

4

インターネットに接続する流れ

次のような流れで、インターネットに接続する準備をします。


 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見えるマニュアル」 → 「3. インターネット / Eメール」 → 「インターネットに接続するための設定」 → 「インターネットに接続するまでの流れ」もあわせてご覧ください。

インターネットに接続する回線を選びプロバイダと契約する

インターネットの接続方法には、一般的に次の回線があります。

- ・ 一般の電話回線 (アナログ)
- ・ ISDN 回線
- ・ ADSL
- ・ 光ファイバー (FTTH)
- ・ ケーブルテレビ (CATV)

インターネットに接続するには、インターネット接続業者であるプロバイダと契約する必要があります。使いたい回線が決まったら、プロバイダのサービス内容がその回線に対応しているか確認し、申し込みましょう。

回線の特徴については、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見えるマニュアル」 → 「3. インターネット / Eメール」 → 「インターネット入門」 → 「インターネットの基礎知識」をご覧ください。

次のページへ


インターネットに接続する設定をする

インターネットに接続する回線や、使用する機器に合わせて設定します。

インターネットに接続したり、メールをやり取りしたりするには、ID やパスワードが必要になります。また、各プロバイダや回線事業者に合わせて設定が必要となります。設定については、各プロバイダや回線事業者から提供される書類や、各機器のマニュアルを必ずご覧ください。

■無線 LAN でインターネットに接続する場合は（ワイヤレス LAN カード内蔵の機種のみ）

無線 LAN を使ってインターネットに接続する場合は、インターネットの設定の前に、無線 LAN の設定が必要になります。

このパソコンでは、「Mr.WLANner」という専用のユーティリティを使用して設定を行います。設定方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「LAN」→「無線 LAN を使う」をご覧ください。また、無線 LAN の概要については、「無線 LAN をお使いになる場合」(●▶P.127) をご覧ください。

初めてインターネットに接続するときのセキュリティ対策をする

このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、セキュリティの脆弱性（ぜいじゃくせい：一般的に、コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ上の弱点のこと）が新たに見つかったり、悪質なウイルスが出現したりしている可能性があります。初めてインターネットに接続するときには、インターネットの接続設定が終わった後、必ず Windows を最新の状態 (●▶P.101) にし、セキュリティ対策ソフトの初期設定 (●▶P.109) を行ってください。

重要

内蔵モデムで長時間インターネットに接続する場合

ソフトウェアを起動したままインターネットに長時間接続していると、パソコンの CPU に高い負荷がかかり、内蔵モデムでの通信が切断される場合があります。このような場合は、ブラウザやメールソフト以外のソフトウェアを終了してからもう一度インターネットに接続してください。

続いて、「Windows Update」を実行して Windows を最新の状態にしましょう (●▶P.101)。

6 Windows を最新の状態にする

インターネットに接続できるようになったら、インターネットに接続した状態で「Windows Update」を実行してください。

「Windows Update」は、Windows を常に最新の状態に整えるマイクロソフト社が提供するサポート機能です。「Windows Update」を実行すると、Windows やソフトウェアなどを最新の状態に更新・修正できます。最新の状態にすることにより、ウイルスが侵入したり、不正アクセスされたりするセキュリティホールをなくすための対策（パッチをあてると言います）もされます。

「Windows Update」を実行する

ここでは、「Windows Update」の中の重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムを手動でインストールする方法について説明します。
初めてインターネットに接続する場合は、必ず行ってください。

重要

「Windows Update」について

「Windows Update」でマイクロソフト社から提供されるプログラムについては、弊社がその内容や動作、および実施後のパソコンの動作を保証するものではありませんのでご了承ください。

POINT

「情報バー」という画面が表示されたら

「OK」をクリックします。

「セキュリティ警告」という画面が表示されたら

「はい」をクリックします。

1 インターネットに接続されているか確認してください。

ここでインターネットに接続しない方は、「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」(▶▶P.109)へ進んでください。その場合、このページ以降、「Windows を最新の状態にする」の操作は必要ありませんが、今後インターネットに接続する場合は、必ず「Windows Update」を行ってください。

2 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックします。

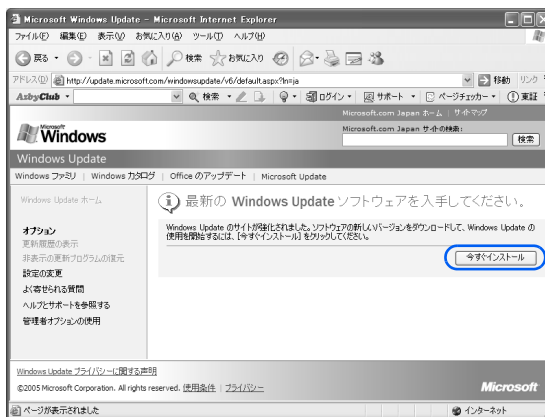
3 「セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合は、発行元が「Microsoft」になっていることを確認し、「インストールする」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順5に進んでください。



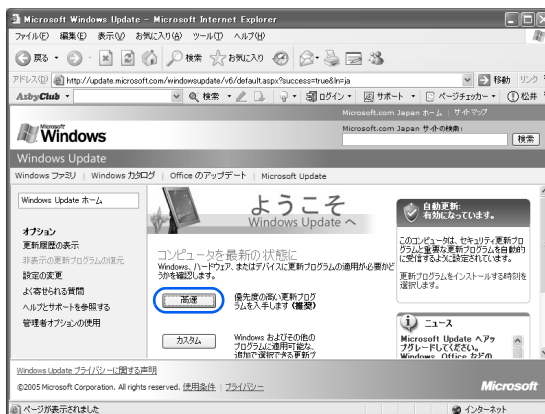
4 「今すぐインストール」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順5に進んでください。



5 「高速」をクリックします。

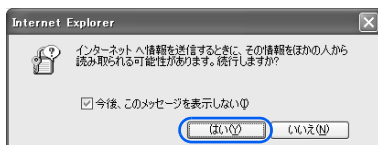
パソコンの状態をチェックし、更新プログラムの一覧を表示します。



POINT

「Microsoft Update」について

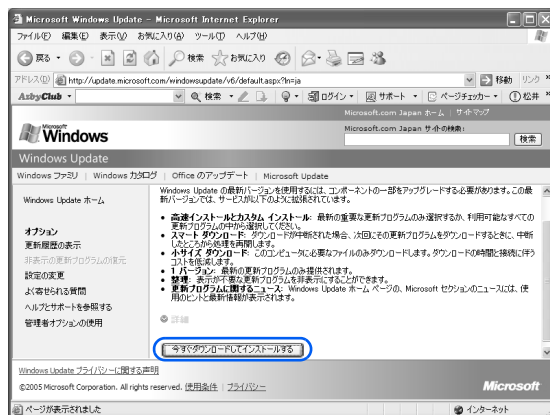
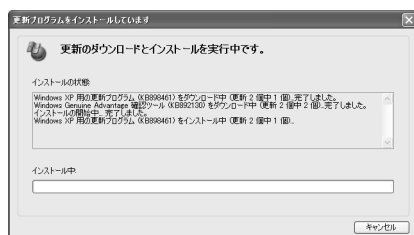
「Microsoft Update」は、Windows や「Word 2003」、「Excel 2003」などのマイクロソフト社が提供するソフトウェアの更新プログラムを一度に入手できるサポート機能です。「Microsoft Update」を利用するには、マイクロソフト社のホームページから専用のソフトウェアをインストールする必要があります。なお、専用のソフトウェアをインストールした後は、マイクロソフト社の更新サービスが「Microsoft Update」に統合されるため、このマニュアルで説明している「Windows Update」および「Office のアップデート」はご利用いただけなくなります。Windows や「Word 2003」、「Excel 2003」などの更新には、「Microsoft Update」をご利用ください。詳しくは、「Windows Update」のホームページにあるリンクをクリックし、「Microsoft Update」のホームページをご覧ください。

6 「はい」をクリックします。

「今後、このメッセージを表示しない」がになっていると、次に「Windows Update」を実行するときには表示されなくなります。

7 「今すぐダウンロードしてインストールする」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 8 に進んでください。

**8 更新プログラムのインストールが始まります。この後は、表示される画面に従って操作してください。**

POINT

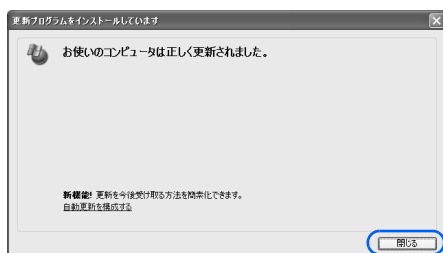
しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの **(↑)** **(↓)** **(←)** **(→)** や **(Shift)** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。

9 「お使いのコンピュータは正しく更新されました。」と表示されたら、「閉じる」をクリックします。



POINT

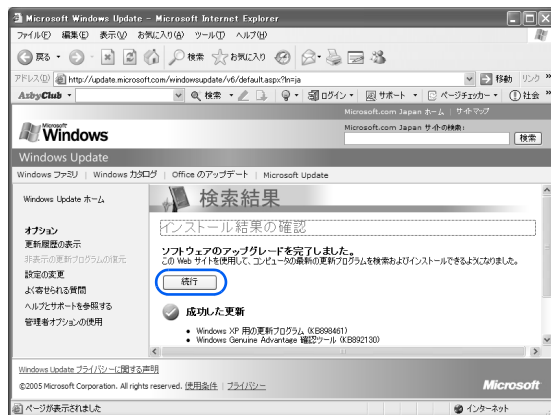
「・・・更新を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示された場合

「・・・更新を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示された場合は、「今すぐ再起動」をクリックしてパソコンを再起動します。再起動したら、もう一度手順 1～5 を実行してください。

その後、手順 11 へ進んでください。

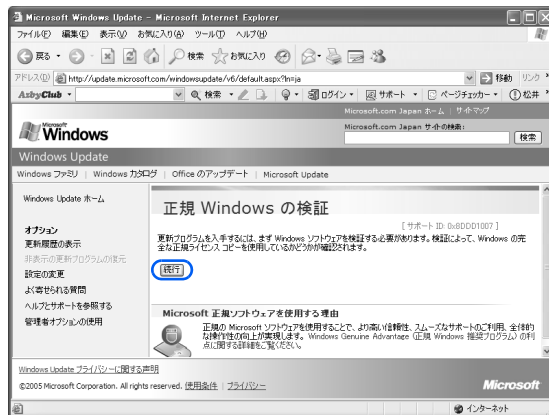
10 「続行」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 11 に進んでください。



11 「続行」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 12 に進んでください。



12 「セキュリティの警告」ウィンドウが表示された場合は、発行元が「Microsoft」になっていることを確認し、「インストールする」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 13 に進んでください。

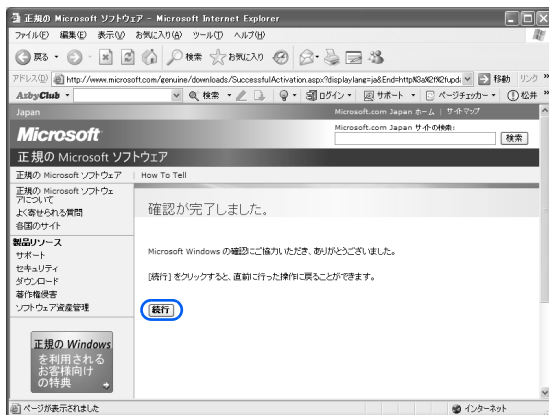


13 「お使いのコンピュータの確認」の画面で「続行」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 14 に進んでください。

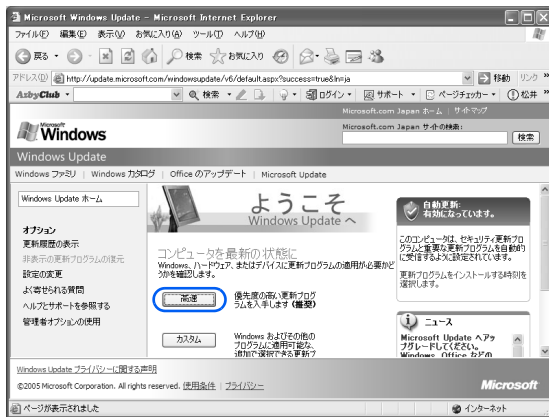
14 「続行」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 15 に進んでください。



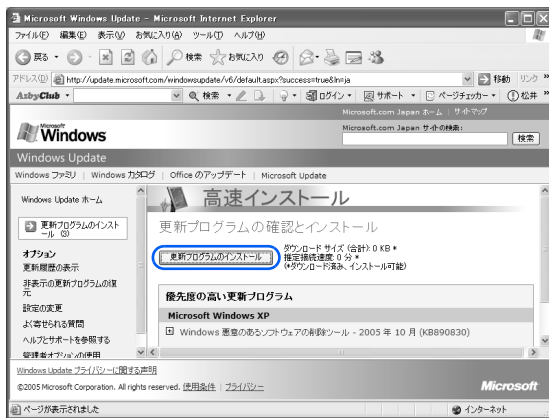
15 「高速」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 16 に進んでください。



16 優先度の高い更新プログラムの一覧が表示されたら、「更新プログラムのインストール」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 17 に進んでください。



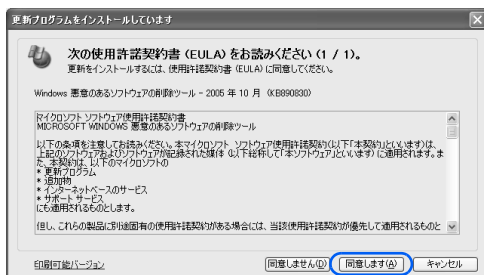
POINT

「お使いのコンピュータに該当する優先度の高い更新プログラムは存在しません」と表示されたら

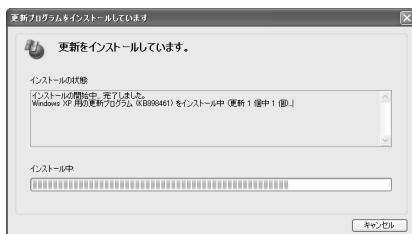
現在公開されている優先度の高い更新プログラムはすべて適用されていますので、この後の手順は必要ありません。「Internet Explorer」の **X** をクリックして終了します。

17 使用許諾契約書の画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「同意します」をクリックします。

この画面が表示されなかった場合は、手順 18 に進みます。



18 更新プログラムのインストールが始まります。この後は、表示される画面に従って操作してください。



POINT

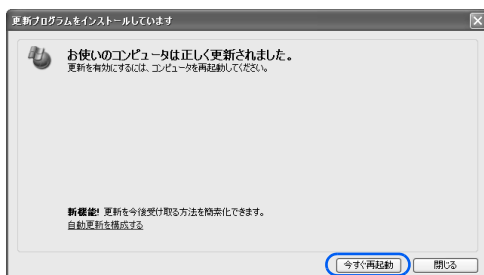
しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの **(↑)** **(↓)** **(←)** **(→)** や **(Shift)** のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。

19 「更新を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されたら、「今すぐ再起動」をクリックします。




Windows が再起動します。


POINT



「今すぐ再起動」のボタンがない場合

再起動の必要はありません。

「閉じる」をクリックし、「Internet Explorer」のをクリックします。


ダイヤルアップ接続の方は、「Internet Explorer」を閉じた後、「自動切断」ウィンドウで「今すぐ切断する」をクリックします。

回線が切断され、画面右下の通知領域からが消えます。

画面右下の通知領域のが消えないときは、を右クリックして、「切断」をクリックします。

Windows が再起動したら「Windows Update」は終了です。

今後もいつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。「Windows Update」などのセキュリティ対策を心がけましょう。

なお、このパソコンは、ご購入時の設定では、インターネットに接続しているときに、重要な更新プログラムとセキュリティ更新プログラムが、自動更新するように設定されています。詳しくは『F MV 活用ガイド』→「セキュリティ対策をする」→「セキュリティ対策」をご覧ください。

続いて、セキュリティ対策ソフトの初期設定をしましょう（[▶P.109](#)）。

7 セキュリティ対策ソフトの初期設定をする

「Windows Update」を実行したら、インターネットに接続した状態でセキュリティ対策ソフトの初期設定を行ってください。また、インターネットに接続しない場合も、データによる感染を防ぐため、セキュリティ対策ソフトの初期設定をすることをお勧めします。

このパソコンには、「Norton Internet Security」というセキュリティ対策ソフトが用意されています。「Norton Internet Security」は、様々な機能を備えた総合的なセキュリティソフトです。インターネットに接続している場合、ウイルスを発見し駆除するウイルス定義ファイルは、常に最新のものに更新できるので、次々と現れる新種のウイルスにも威力を発揮します。

4

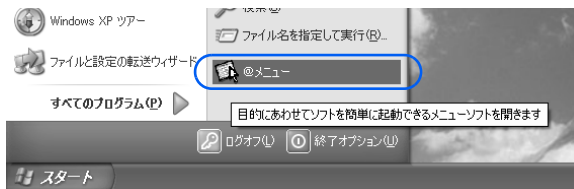
「Norton Internet Security」の初期設定

ここでは、「Norton Internet Security」の初期設定を行います。

「Norton Internet Security」の初期設定が終わらないと、ウイルスや不正アクセスからパソコンを保護することができません。必ずこのマニュアルの手順どおりに進めてください。

1 「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックし、「@メニュー」を起動します。

「@メニュー」が起動します。

[次のページへ](#)

- 2 「@メニュー」上部の「目的でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。



- 3 「インターネットのセキュリティ対策をする」→「このソフトを使う」をクリックします。

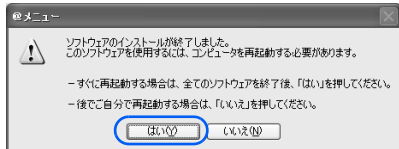


「Norton Internet Security」を起動する準備が始まります。



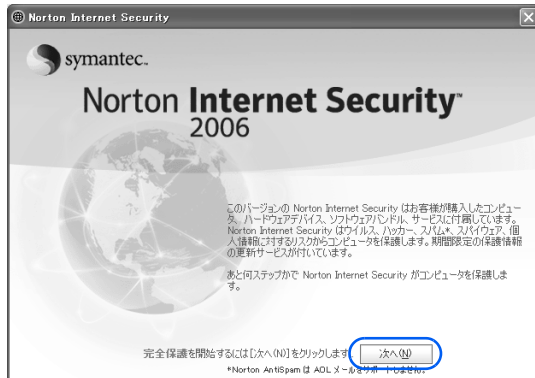
次の画面が表示されるまでに少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

4 「はい」をクリックします。



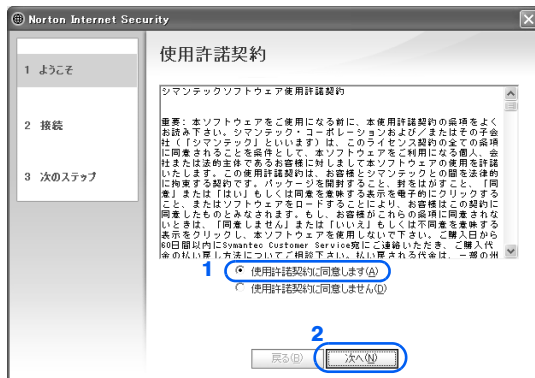
Windows が再起動すると、「Norton Internet Security」が起動します。しばらく時間がかかることがあります、そのままお待ちください。

5 「次へ」をクリックします。

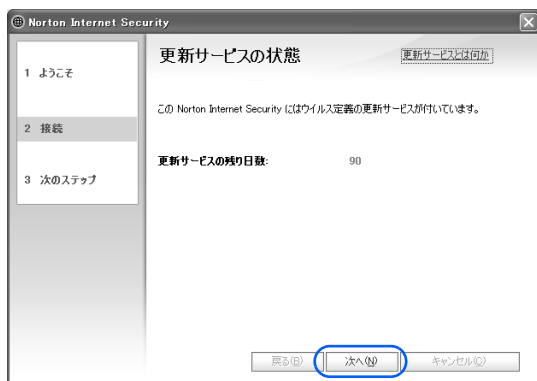


(これ以降の画面は状況により異なります)

6 1 使用許諾契約の内容をご覧になり、「使用許諾契約に同意します」をクリックして にし、2 「次へ」をクリックします。

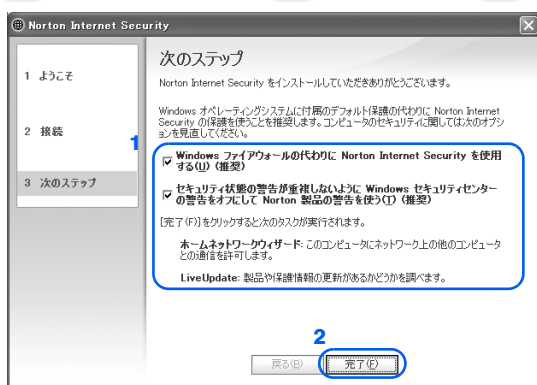


7 Norton Internet Security 更新サービスの有効期限を確認し、「次へ」をクリックします。



8 1 すべてのチェックボックスが になっていることを確認し、2 「完了」をクリックします。

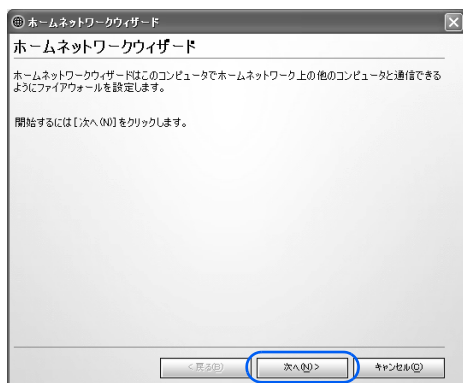
になっている場合は、 をクリックして にしてください。



(状況により画面が異なる場合があります)

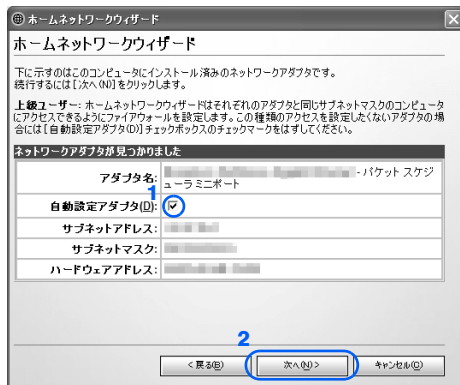
次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

9 「次へ」をクリックします。



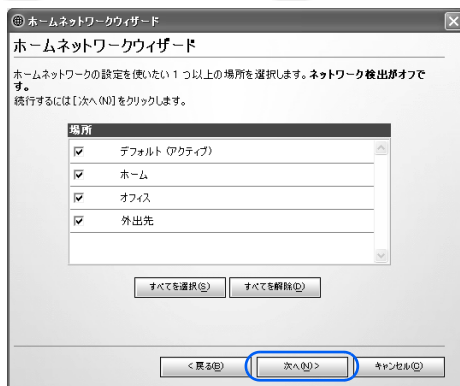
この画面が表示されない場合は、手順 13 に進んでください。

10 1 チェックボックスがになっていることを確認し、2 「次へ」をクリックします。

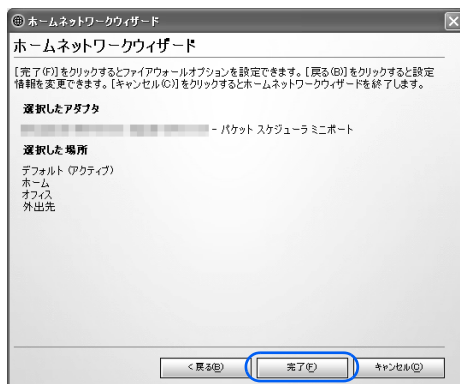


11 すべてのチェックボックスがになっていることを確認し、「次へ」をクリックします。

になっている場合は、をクリックしてにしてください。



12 「完了」をクリックします。



「LiveUpdate」画面が表示されます。

次の画面が表示されるまでに時間がかかることがあります、しばらくお待ちください。

13 「次へ」をクリックします。

■ インターネットに接続している場合



最新のウイルス定義ファイルを検索します。次の画面が表示されるまでに時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。

■ インターネットに接続していない場合

「キャンセル」をクリックし、手順 18 に進みます。

POINT

インターネットに接続していない場合

インターネットに接続していない場合、ウイルス定義を最新にできないため、「LiveUpdate が更新リストを取り込めませんでした」と表示されます。

このままでも今まで発見されたウイルスからパソコンを守ることができますが、今後もいつ新たなウイルスが出現するかわかりません。最新のウイルスからパソコンを守るためには、インターネットに接続してウイルス定義を最新にすることをお勧めします。

14 「次へ」をクリックします。



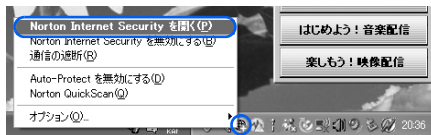
更新されたソフトウェアや最新のウイルス定義ファイルのインストールが始まります。次の画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。

15 「完了」をクリックします。

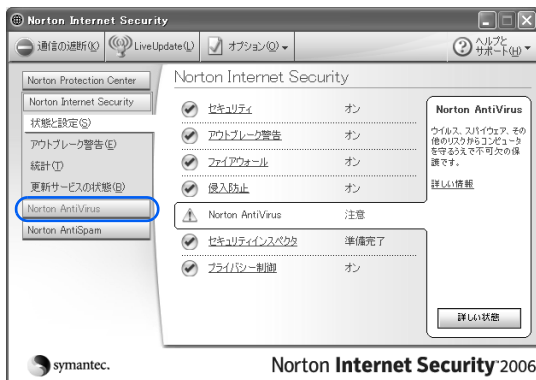


16 Windows の再起動を要求する画面が表示されたら、メッセージに従って、パソコンを再起動します。

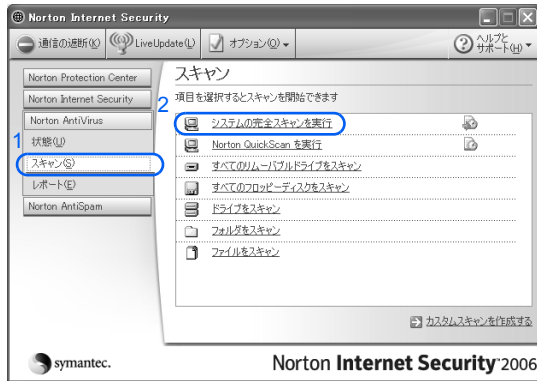
17 画面右下の通知領域にある (Norton Internet Security) をクリックし、「Norton Internet Security を開く」をクリックします。



18 「Norton AntiVirus」をクリックします。



19 1 「スキャン」をクリックして、2 「システムの完全スキャンを実行」をクリックします。



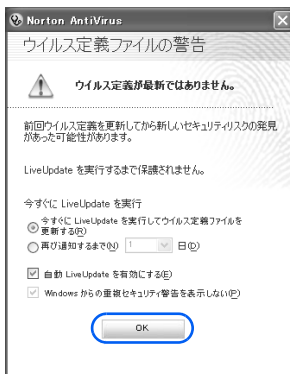
■ インターネットに接続している場合

パソコンがウイルスに感染していないかチェックするために「Norton AntiVirus」のウイルススキャンが始まります。



■ インターネットに接続していない場合

「OK」をクリックし、次の画面で「キャンセル」をクリックします。



パソコンがウイルスに感染していないかチェックするために「Norton AntiVirus」のウイルススキャンが始まります。



POINT

しばらく操作しないと

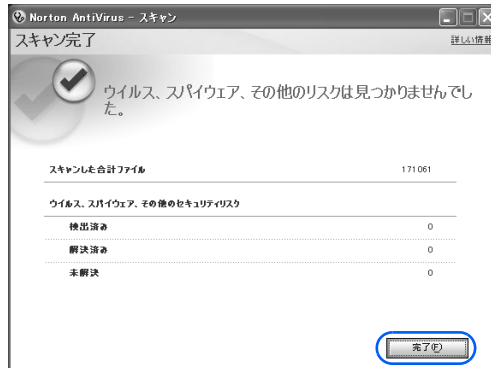
電源を入れた状態でしばらく（約 5 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。

マウスを動かしたり、キーボードの (↑) (↓) (←) (→) や (Shift) のどれかを押ししたりすると、元の画面に戻ります。

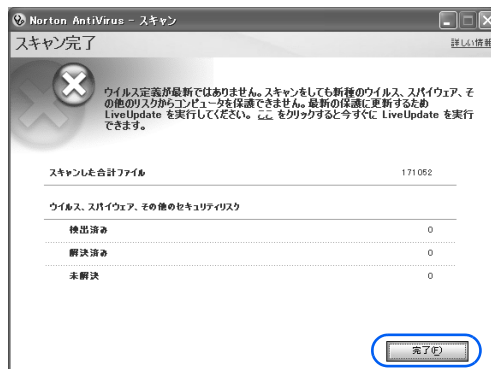
スクリーンセーバーから戻ったときは、そのとき表示されていた画面に背景（壁紙）が変わります。

20 「完了」をクリックします。

■ インターネットに接続している場合



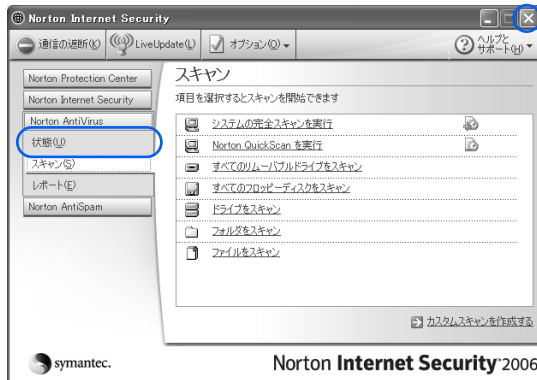
■ インターネットに接続していない場合



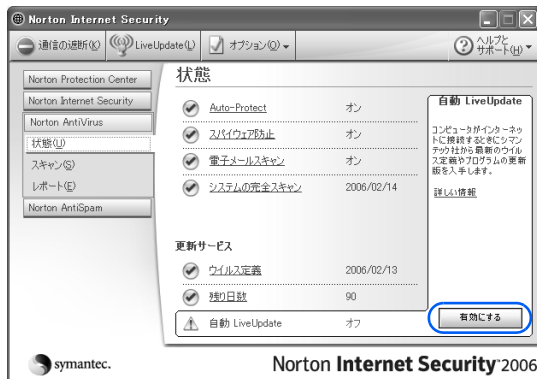
手順 23 に進んでください。

次のページへ

21 「状態」をクリックします。



22 「Norton Internet Security」画面右側の「有効にする」をクリックします。

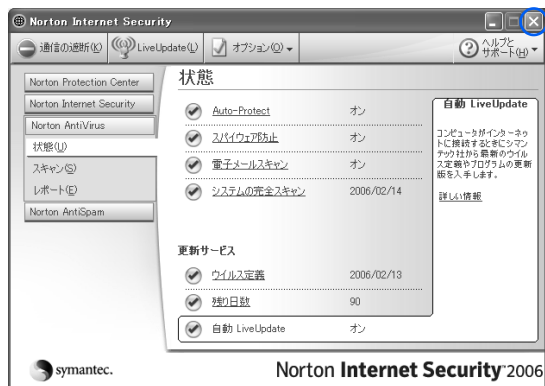


自動 LiveUpdate がオンになります。

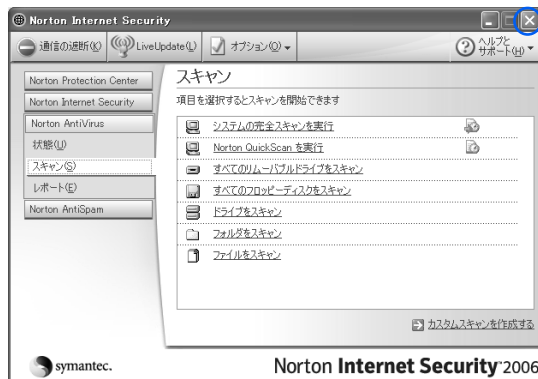
このほかにも、表示されている項目で「オフ」になっているものがある場合には、項目名をクリックして「有効にする」をクリックし、項目を「オン」にしてください。

23 「Norton Internet Security」画面の右上にある をクリックします。

■ インターネットに接続している場合



■ インターネットに接続していない場合









「Norton AntiVirus」画面が閉じます。

■ 今後インターネットに接続する場合

「ホームネットワーク」の設定や、「ウイルス定義ファイル」をインストールする必要があります。設定方法については、『FMV 活用ガイド』→「セキュリティ対策をする」→「セキュリティ対策」→「セキュリティ対策ソフト (Norton Internet Security)」をご覧ください。

これでセキュリティ対策ソフトの初期設定が完了しました。

初期設定が完了すると画面右下の通知領域にあるアイコンが次のようになります。

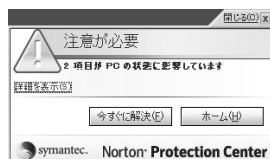
-  (Norton Internet Security) のアイコンが、 または  になります。
- ・ インターネットに接続している場合
 -  (Norton Protection Center) のアイコンが、表示されます。
- ・ インターネットに接続していない場合
 -  (Norton Protection Center) のアイコンは変わりません (LiveUpdate を行い、ウイルス定義を最新の状態にすれば  になります)。


続いて「お問い合わせ先」(●▶P.120) へ進んでください。

POINT

「注意が必要」が表示されたら

インターネットに接続し、ウイルス定義を最新の状態に更新する場合は、「今すぐに解決」をクリックします。更新しない場合は、「閉じる」をクリックします。



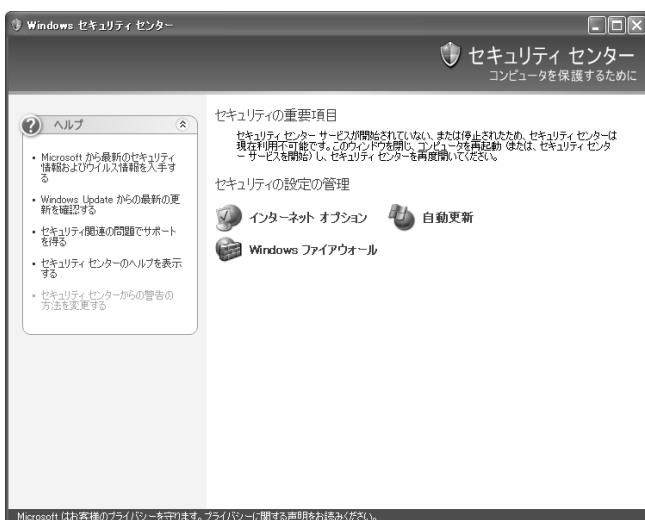
今後もいつ新たなウイルスなどが出現するかわかりません。セキュリティ対策ソフト「Norton Internet Security」の「ウイルス定義ファイルの更新」などのセキュリティ対策を心がけましょう。セキュリティ対策については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「2. セキュリティ対策」→「インターネット/ネットワークのセキュリティ対策」→「セキュリティ対策ソフトを使う (Norton Internet Security)」→「ウイルス定義ファイルをアップデートする (LiveUpdate)」をご覧ください。

お問い合わせ先

「Norton Internet Security」については、株式会社シマンテックにお問い合わせください。お問い合わせ窓口については、☞『サポート&サービスのご案内』→「製品に関するお問い合わせ・技術相談」→「ソフトウェアのお問い合わせ先」をご覧ください。

「Norton Protection Center」と「Windows セキュリティセンター」の関係について

「Norton Internet Security」の初期設定をすると、セキュリティの設定は、「Windows セキュリティセンター」に代わって、「Norton Protection Center」が監視します。そのため、「Windows セキュリティセンター」は、次のような画面が表示されます。



「Norton Protection Center」については、🛠️(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見えるマニュアル」→「2. セキュリティ対策」→「インターネット/ネットワークのセキュリティ対策」→「セキュリティ対策ソフトを使う (Norton Internet Security)」→「Norton Internet Security」の主な機能」をご覧ください。

インターネットに接続する方は続いて、パソコンを最新の状態にしましょう (●▶P.121)。
インターネットに接続しない方は、パソコンの状態を保存しましょう (●▶P.124)。

8 FMV を最新の状態にする

セキュリティ対策ソフトの初期設定が完了したら FMV を最新の状態にします。このパソコンの出荷後、お客様にご購入いただくまでの間にも、弊社では改善に努めています。

パソコンをよりお勧めの状態に整える「アップデートナビ」というサポート機能をご利用ください。

「アップデートナビ」では、インターネットを経由して、弊社が推奨する最新情報を確認し、お使いのパソコンを、より安定して動作するお勧めの状態にします。

POINT

ブロードバンド環境でのご利用を推奨します

インターネットを利用して更新情報を確認するので、ブロードバンドの環境でお使いになることを強く推奨します。


推奨環境以外でご利用になるとソフトウェアの規模によっては、最新の状態へ更新する作業に多くの時間を必要とする場合があります。

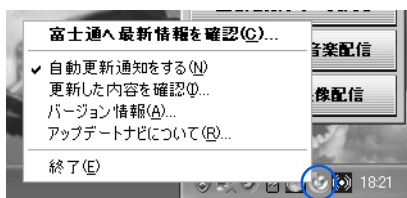
4

「アップデートナビ」を実行する

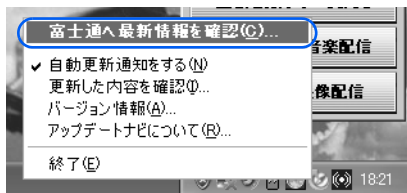
- 1 インターネットに接続されているか確認してください。ここでインターネットに接続しない方は、パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）（[P.124](#)）へ進んでください。

このページ以降、（[P.123](#)）までの操作は必要ありませんが、今後インターネットに接続する場合は、「アップデートナビ」を行ってください。

- 2 画面右下の通知領域にある （アップデートナビ）を右クリックします。



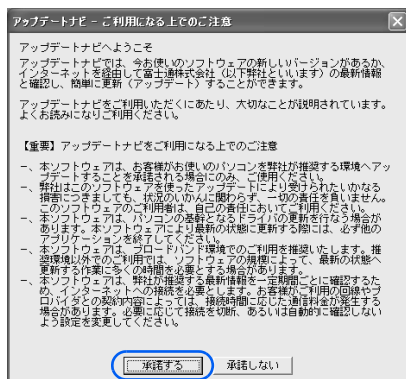
- 3 「富士通へ最新情報を確認」をクリックします。



次のページへ

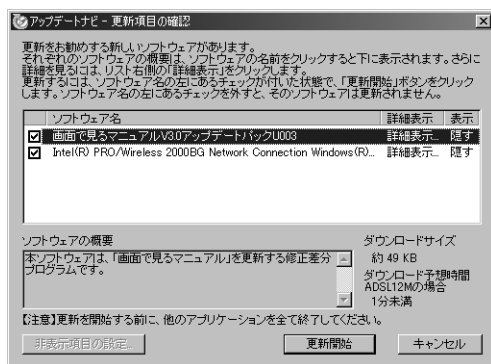
4 「ご利用になる上でのご注意」の画面が表示されたら、内容をよくお読みになり、「承諾する」をクリックします。

「承諾しない」をクリックした場合、「アップデートナビ」はご利用いただけません。



5 更新項目を確認します。必要に応じて、概要、詳細をご覧ください。

更新したくない項目がある場合は、その項目の左にある をクリックして、 にします。通常は、すべての項目を更新することをお勧めします。

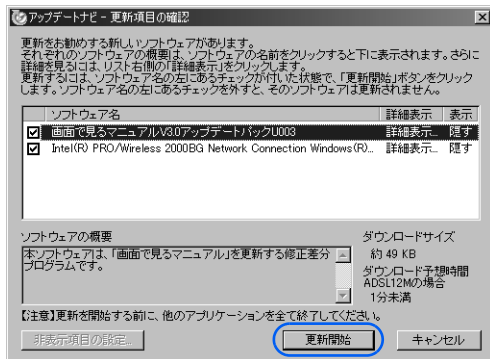


(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

POINT

「お使いの環境がお勧めの状態です」の画面が表示されたら「OK」をクリックし、「アップデートナビ」を終了します。

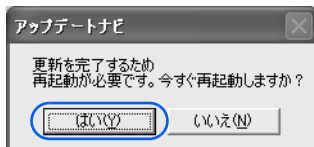
6 「更新開始」をクリックします。





更新情報が自動的にダウンロードされ、インストールされます。

7 パソコンの再起動を要求するメッセージが表示された場合は、「はい」をクリックします。

表示されない場合は、これで更新は完了です。



パソコンが再起動し、更新が完了します。

「アップデートナビ」は、通常では自動的にインターネット上の情報をチェックし、更新情報があると、メッセージを表示します。今後、画面右下の通知領域に「アップデートナビ」のメッセージが表示されたら、通知領域の  (アップデートナビ) をクリックし、画面の指示に従ってください。詳しくは、 『FMV 活用ガイド』→「基本的な使い方を覚えよう」→「FMV を最新の状態にする」→「アップデートナビ」をご覧ください。

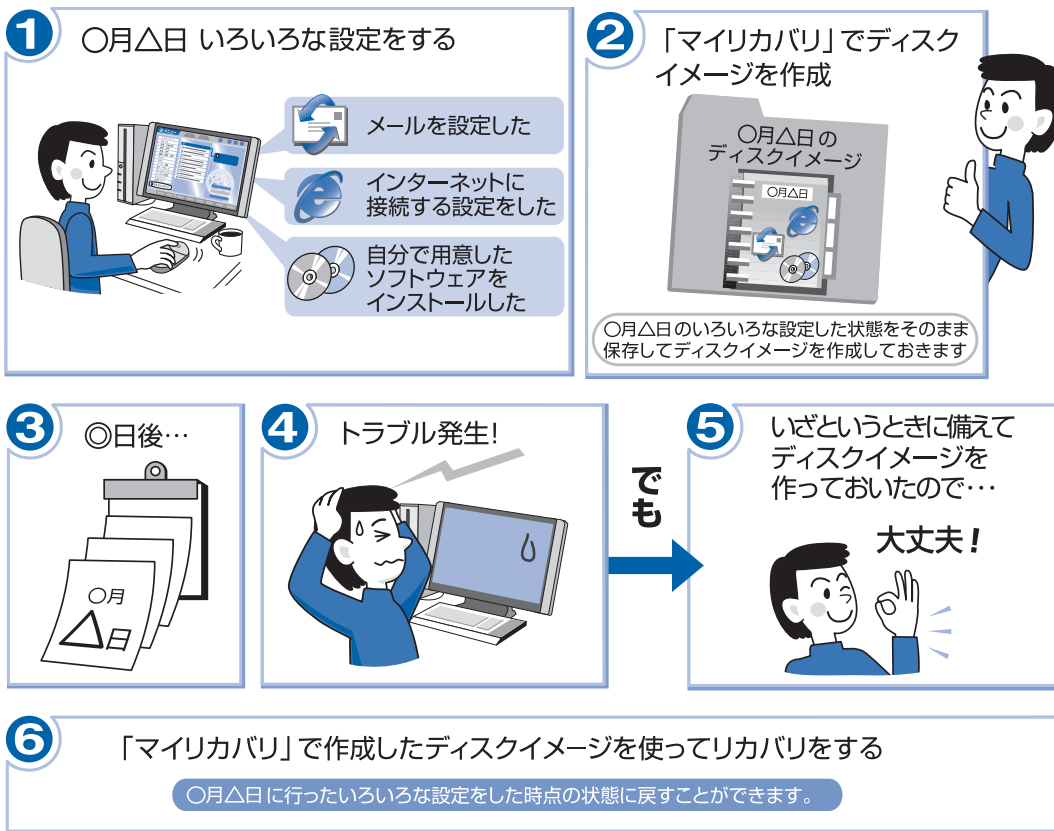
続いて、パソコンの状態を保存 (マイリカバリ) しましょう (●▶P.124)。

9 パソコンの状態を保存する（マイリカバリ）

FMV を最新の状態にしたらパソコンの状態を保存します。


今まで設定したパソコンの状態を「マイリカバリ」を使って保存しておく、いざというときに復元できるので安心です。

また、「マイリカバリ」は何度でも実行できます。例えば、メールの設定を変更したり、新しいソフトウェアを追加や設定した場合など、その時点の状態を保存しておくことをお勧めします。



「マイリカバリ」の使い方は、📖『FMV 活用ガイド』→「「マイリカバリ」を使おう」→「「マイリカバリ」を使う」をご覧ください。

10 ユーザー登録をする

お客様の情報、およびご購入いただいた FMV の機種情報を登録していただくことでお客様 1 人 1 人に、よりきめ細かなサポート・サービスをご提供いたします。できるだけ早く、ユーザー登録をすることをお勧めします。詳しくは、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

ユーザー登録をするとご利用になれるサービス

ユーザー登録をすると、お客様専用の「ユーザー登録番号」と「パスワード」が発行されます。また、自動的に「FMV ユーザーズクラブ AzbyClub (アズビィクラブ)」の会員としても登録され、次のようなサービスをご利用いただけます。

AzbyClub とは、お客様に FMV を快適にご利用いただくための会員組織です。入会金、年会費は無料です (2 年目以降も無料)。

■ マイページ (<http://azby.fmworld.net/>)

お客様がお使いのパソコンに関するサポート情報や使いこなし情報、会員向けの優待販売やキャンペーンなど、FMV をより便利に楽しくするための情報が満載です。また、お客様のスキルや好みに合わせてご利用いただけるさまざまなサービスもご用意しています。

■ 技術相談窓口 Azby テクニカルセンター

AzbyClub 会員専用の技術相談窓口です。電話や E メールによるサポートをご利用いただけます。サポートツール「サービスアシスタント」、紙のマニュアル、ホームページで確認しても、問題が解決できない場合、技術相談を受けられます。

■ AzbyClub メール配信サービス

お客様がお持ちのメールアドレスを AzbyClub に登録していただくと、お役立ち情報満載の「AzbyClub メール配信サービス」をご利用いただけます。


■ AzbyClub ポイントサービス

AzbyClub 会員専用のポイントサービスです。マイページ (<http://azby.fmworld.net/>) の「優待販売」や「富士通ショッピングサイト WEB MART」でご利用いただけます。

■ AzbyClub カード

ユーザー登録番号 (AzbyClub 会員番号) が刻印された、お得な特典いっぱいのカードです。入会費・年会費ともに無料です。

パソコンの画面上でユーザー登録する

パソコンの画面上でユーザー登録を行う方法には、次の2種類があります。
ユーザー登録をする方法については、『サポート&サービスのご案内』をご覧ください。

■ ホームページからのユーザー登録


インターネットのFMVユーザー登録専用のホームページからユーザー登録を行います。
インターネットに接続できる環境が必要です。

■ 専用プログラムによるユーザー登録

「FMVユーザー登録」というユーザー登録専用プログラムでユーザー登録を行います。
電話回線を使って通信します。

POINT

ユーザー登録番号やパスワードを忘れてしまったら

マイページでユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行ができます。
ユーザー登録番号の確認およびパスワードの再発行の方法については、『サポート&サービスのご案内』→
「ユーザー登録・特典」→「ユーザー登録番号やパスワードをお忘れになった場合」をご覧ください。

1 1 使いたい機能の準備をする

ここまでの準備が完了したら、目的に合わせて使いたい機能の準備をしてください。

無線 LAN をお使いになる場合

ワイヤレス LAN カード内蔵の機種のみ

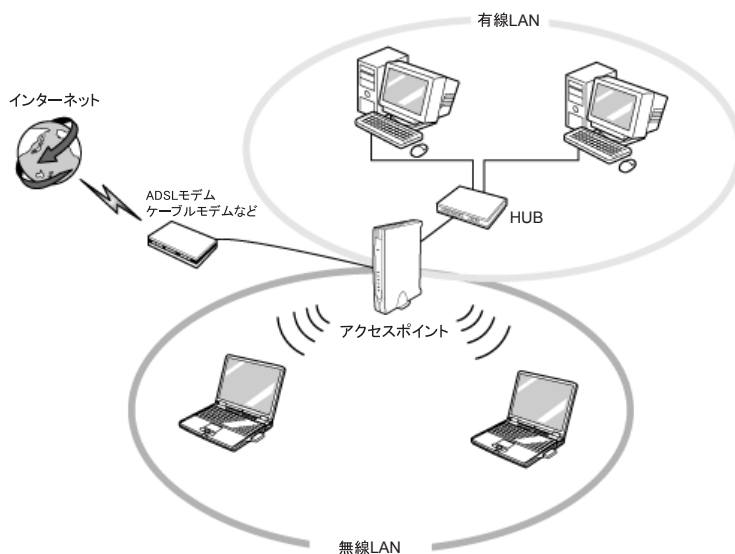
このパソコンには、無線 LAN 機能が準備されています。そのため、無線 LAN アダプタを別途購入する必要はありません。

無線 LAN を使うと、LAN ケーブルを使わずにネットワークに接続することができます。無線 LAN でインターネット接続するには、「インフラストラクチャ通信」という方式で通信します。

・インフラストラクチャ通信

無線 LAN のアクセスポイントを利用したネットワークを「インフラストラクチャ通信」といいます。この機能を使うと、アクセスポイント経由で有線 LAN のネットワークに接続したり、インターネットに接続したりできます。

次の図は、インフラストラクチャ通信の例です。



必要なものを用意する

無線 LAN を使うためには、このパソコンの他に次のものがが必要です。

・アクセスポイント


LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやり取りを行う無線 LAN では、「アクセスポイント」と呼ばれる機器が必要となります。アクセスポイントには主に次のものがあります。

- ワイヤレス LAN ステーション
- ワイヤレスブロードバンドルーター

無線 LAN を使うための設定

無線 LAN を使うには、アクセスポイントとパソコンの設定を行います。

初めて設定する場合は、使用するネットワークの情報やデータの暗号化などを、アクセスポイントとパソコンの両方に設定します。すでにネットワークで使われているアクセスポイントに接続する場合は、アクセスポイントにあわせた設定を、パソコンにのみ行います。

このパソコンでは、「Mr.WLANner」という専用のユーティリティを使用して設定を行います。Windows XP のプロパティでは設定できませんのでご注意ください。設定方法については、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「5. パソコン本体の取り扱い」 → 「LAN」 → 「無線 LAN を使う」をご覧ください。

- ・ 無線 LAN の電波を発信

無線 LAN の電波は、停止したり発信したりすることができます。無線 LAN を使うときには、電波が発信されている必要があります。このパソコンご購入時は、電波の発信が停止されています。

- ・ アクセスポイントの設定

ネットワーク設定やアクセスポイントのセットアップなどを行います。アクセスポイントに添付されているマニュアルを参照しながら設定します。


- ・ SSID (または ESSID) や暗号化の設定

無線 LAN で通信するアクセスポイントとパソコンでは、同じ SSID (または ESSID) を設定します。また、セキュリティのためにデータの暗号化を設定しますが、暗号レベルは同じにする必要があります。

設定には、アクセスポイントに添付されているマニュアルも参照します。

インターネットに接続するためには

無線 LAN の設定が終わったら、アクセスポイントとブロードバンドモデムを LAN ケーブルで接続し、インターネット接続を確認します。


 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「3. インターネット / E メール」 → 「インターネットに接続するための設定」 → 「インターネットに接続するまでの流れ」をご覧ください。プロバイダや回線事業者との契約から、インターネット接続の確認、セキュリティ対策などを行ってください。

作業手順や詳しい内容は、接続・設定する機器やプロバイダのマニュアルなどもあわせてご覧ください。

メディアタンクをお使いになる場合

LX50S/DS の場合のみ

メディアタンクをお使いになるには、メディアタンクに添付されているマニュアルをご覧ください。

ホームネットワークについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面 → 「画面で見るマニュアル」 → 「4.FMV 使いこなし事例集」 → 「LAN で始める快適ホームネットワーク生活」をご覧ください。

12 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

なお、インターネットに接続しない場合、7、8、10 は必要ありません。

- 1 「機種名を確認してください」 (●▶P.34)**
お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。
- 2 「使用上のお願い」 (●▶P.36)**
このパソコンの取り扱いにあたっての大切な注意事項です。確認してください。
- 3 「接続する」 (●▶P.49)**
必要な機器が取り付けられているか、確認してください。
- 4 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」 (●▶P.74)**
初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。
- 5 サービスアシスタント (画面で見るマニュアル) の初期設定をする (●▶P.90)**
画面で見るマニュアルや、サポートに関する情報をご覧いただくために、サービスアシスタントの初期設定をしてください。
- 6 「電源の切り方と入れ方」 (●▶P.92)**
必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。
- 7 「インターネットを始めるための準備をする」 (●▶P.99)**
お客様の環境にあった接続方法を選択して接続してください。
- 8 「Windows を最新の状態にする」 (●▶P.101)**
「Windows Update」を実行し、Windows を最新の状態にしてください。
- 9 「セキュリティ対策ソフトの初期設定をする」 (●▶P.109)**
セキュリティ対策ソフトの初期設定をして、セキュリティ対策を行ってください。
- 10 「FMV を最新の状態にする」 (●▶P.121)**
「アップデートナビ」を実行し、FMV を最新の状態にしてください。
- 11 「パソコンの状態を保存する (マイリカバリ)」 (●▶P.124)**
今まで設定したパソコンの状態を「マイリカバリ」を使って保存します。
- 12 「ユーザー登録をする」 (●▶P.125)**
パソコンの画面上でユーザー登録を行います。
- 13 「使いたい機能の準備をする」 (●▶P.127)**
目的に合わせて使いたい機能の準備をしてください。

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』へ

パソコンの準備が完了したら『FMV 活用ガイド』をお読みください。『FMV 活用ガイド』では、パソコンをお使いになる前に確認していただきたいこと、覚えておくと便利なこと、情報の探し方やトラブルの対処法など、FMV を活用するためのさまざまな情報を紹介しています。

『FMV 活用ガイド』の主な内容

第1章 準備が完了したことを確認しよう

パソコンの準備がすべて完了しているか、この章で再度確認します。

第2章 基本的な使い方を覚えよう

パソコンの基本操作、ホームページの見かたやEメールの基本操作がわかります。また、FMV を最新の状態にする方法も紹介しています。

第3章 セキュリティ対策をする

ウイルスなどからパソコンを守るセキュリティ対策について紹介しています。

第4章 「マイリカバリ」を使おう

Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す代わりに、あらかじめ自分で保存しておいた時点の状態に戻す方法を説明しています。

第5章 バックアップで大切なデータを守る

大切なデータの予備をとる（バックアップする）方法について説明しています。

第6章 FMV のおすすめ活用法

FMV に搭載されているソフトウェアを使ってできる、楽しい活用法を紹介しています。

第7章 パソコンの画面で見るマニュアルを活用する

パソコンを使いこなすための情報がある、「画面で見るマニュアル」の使い方や調べ方を紹介しています。

第8章 トラブルかなと思ったら（Q&A）

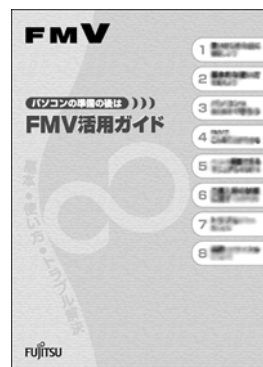
電源が入らないトラブル・画面が表示できないトラブルを中心に、パソコンを使っていて困ったときの対処法を説明しています。

第9章 パソコンをご購入時の状態に戻す（リカバリ）

ハードディスクを初期状態に戻し、Windows やソフトウェアをご購入時の状態に戻す方法を説明しています。

第10章 廃棄・リサイクルについて

このパソコンや使用済み乾電池・バッテリーを廃棄するときの注意事項などが書かれています。また、廃棄する前に、ハードディスクのデータを消去する方法も説明しています。



テレビや「インスタント MyMedia」について知りたいときは『FMVで見る・録る・残すガイド』へ

このパソコンでテレビやDVDを見たり、CDなどを聴いたりする方法については、『FMVで見る・録る・残すガイド』をご覧ください。このパソコンでテレビやDVDを見たり、CDなどを聴いたりする前に確認していただきたいことや具体的なテレビの利用方法、トラブル時の対処方法について紹介しています。

『FMVで見る・録る・残すガイド』の主な内容

- 第1章 このパソコンでできること
- 第2章 準備をする
- 第3章 すぐにテレビ/DVD/CDなどを楽しむ
- 第4章 Windowsを起動してテレビ/DVD/CDを楽しむ
- 第5章 デジタル放送を楽しむ
- 第6章 困ったときのQ&A



このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行する場合

このパソコンには、今までお使いになっていたパソコンの設定や必要なデータの移行をガイドする「PC 乗換ガイド」というソフトウェアが用意されています。このソフトウェアを使うと、インターネットや E メールの利用環境を、そのままこのパソコンで使うことができます。

このパソコンに、今までお使いになっていたパソコンの設定やデータを移行するときにお使いください。

使用上の注意

「PC 乗換ガイド」をお使いになる場合には、次の点にご注意ください。

- ・今までお使いになっていたパソコンが、次の OS の場合のみお使いいただけます。
 - Microsoft® Windows® XP Home Edition
 - Microsoft® Windows® XP Professional
 - Microsoft® Windows® 2000 Professional
 - Microsoft® Windows® Millennium Edition
 - Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION

- ・「PC 乗換ガイド」を実行すると、このパソコンに設定した情報やデータに、お使いになっていたパソコンの情報が上書きされます。

「PC 乗換ガイド」は、このパソコンに設定などを行う前に実行してください。

「インターネットを始めるための準備をする」(●▶P.99)の前に、「PC 乗換ガイド」を実行されることをお勧めします。

「PC 乗換ガイド」の起動

1 「@メニュー」を起動します。

次のいずれかの操作で起動できます。

- ・キーボードの「メニュー」ボタンを押す。
- ・「スタート」ボタン→「@メニュー」の順にクリックする。

2 「@メニュー」上部の「名前でさがす」をクリックし、左側にあるカテゴリの中から「安心・サポート」をクリックします。

3 「PC 乗換ガイド」をクリックします。

4 これ以降は、画面の指示に従って操作してください。

この後の章では、メモリの増やし方(●▶P.137)、仕様一覧(●▶P.159)などが記載されています。目的に合わせてお読みください。

5

第 5 章

周辺機器の設置／設定／増設

周辺機器の使用上の注意やメモリの増やし方などを説明しています。目的に合わせてお読みください。

1 周辺機器をお使いになる前に	134
2 メモリの増設／交換	137
3 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定	149
4 リモコンについて	156
5 添付コアの取り付けかた	158

1 周辺機器をお使いになる前に

ここでは、メモリ、キーボード、マウス、リモコンなどの周辺機器をお使いになる前に知っておいていただきたいことについて説明します。

警告



・周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。



・周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器とは？

メモリ、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどの装置のことです。パソコン本体内部に取り付けたり、パソコンの各コネクタに接続したりします。


ここでは、このパソコンに添付されているキーボード、マウス、リモコンも含めて説明しています。

周辺機器を取り付けると

メモリを取り付けてパソコンの処理能力を上げたり、プリンタを接続して印刷したりなど、パソコンでできることがさらに広がります。

また、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで、Eメールに添付したりできます。

周辺機器を取り付けるには

周辺機器の取り付け方は、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」または「6. 周辺機器の接続」に記載されています。また、本マニュアル内では、次の周辺機器についても記載しています。

「メモリの増設／交換」(●▶P.137)

「ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定」(●▶P.149)

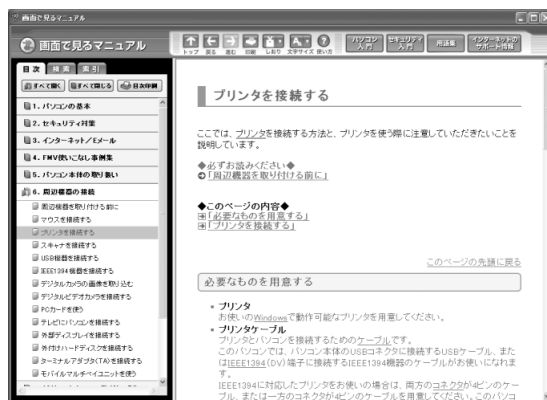
「リモコンについて」(●▶P.156)

お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。

「画面で見るマニュアル」で調べる

1 表示される画面の中から取り付けたい周辺機器をクリックします。

例えば、プリンタを接続する場合は、「6. 周辺機器の接続」→「プリンタを接続する」をクリックします。



POINT

手順の中に「動画を見る」というボタンがあるとき

ボタンをクリックすると、インターネットに接続して手順の動画をご覧いただけます。このとき、FMV ユーザー登録で発行された「ユーザー登録番号」と「パスワード」が必要です。ユーザー登録については、[『サポート&サービスのご案内』](#)をご覧ください。

「画面で見るマニュアル」の使い方については、[『FMV 活用ガイド』](#)→「パソコンの画面で見るマニュアルを活用する」をご覧ください。

周辺機器の取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- 周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
 純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
 純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。
- Windows のセットアップは終了していますか？**
 「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」(▶▶ P.74) をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。
 なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けしないでください。セットアップが正常に行われなないおそれがあります。
- 周辺機器に添付のドライバがお使いの Windows に対応しているか確認してください**
 お使いになる周辺機器のドライバがお使いの Windows に対応していないと、その周辺機器はお使いになれません。必ずお使いの Windows に対応したものをご用意ください。

- ・ **ドライバなどがフロッピーディスクで添付されている場合**
 周辺機器によっては、添付のドライバなどがフロッピーディスクで提供されているものがあります。その場合は、オプションの FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) をご購入になり、接続した上でドライバをインストールしてください。
- ・ **ACPI に対応した周辺機器をお使いください**
 このパソコンは、ACPI (省電力に関する電源制御規格の 1 つ) によって電源制御を行っていますので、周辺機器も ACPI に対応している必要があります。
 ACPI に対応していない周辺機器をお使いの場合は、増設した機器やパソコンが正常に動作しなくなることがあります。周辺機器が ACPI に対応しているかどうかは、周辺機器メーカーにお問い合わせください。
 また、このパソコンの ACPI モードは、スタンバイ (ACPI S3) に設定されています。
- ・ **一度に取り付ける周辺機器は 1 つだけに**
 一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバのインストールなどが正常に行われずおそれがあります。1 つの周辺機器の取り付けが終了して、動作確認を行ってから、別の周辺機器を取り付けてください。
- ・ **パソコンおよび接続されている機器の電源を切ってください**
 安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。パソコンの電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。パソコン本体の電源の切り方については、「電源を切る」(▶▶ P.92) をご覧ください。
- ・ **電源を切った直後は作業をしないでください**
 電源を切った直後は、パソコン本体内部の装置が熱くなっています。電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後 10 分ほど待ってから作業を始めてください。
- ・ **電源ユニットは分解しないでください**
 電源ユニットは、パソコン本体内部の背面側にある箱形の部品です。
- ・ **内部のケーブル類や装置の扱いに注意してください**
 傷付けたり、加工したりしないでください。また、ねじったり、極端に曲げたりしないでください。
- ・ **静電気に注意してください**
 内蔵周辺機器は、基板や電子部品がむきだしになっています。これらは、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、一度大きな金属質のものに手を触れるなどして静電気を放電してください。
- ・ **基板表面やはんだ付けの部分、コネクタ部分には手を触れないでください**
 金具の部分や、基板のふちを持つようにしてください。
- ・ **周辺機器の電源について**
 周辺機器の電源はパソコン本体の電源を入れる前に入れるものが一般的ですが、パソコン本体より後に電源を入れるものもあります。周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- ・ **ドライバーを用意してください**
 パソコン本体の本体カバーなどの取り外しには、プラスのドライバーが必要です。ネジの頭をつぶさないように、ネジのサイズに合ったドライバーをご用意ください。

2 メモリの増設／交換

パソコンに取り付けられるメモリを増やすことによって、パソコンの処理能力などを上げることができます。ここでは、メモリを増やす方法について説明します。

メモリの取り付け場所

メモリは、パソコン本体内部のメモリスロットに取り付けます。
ご購入時の状態やメモリの増やし方は、お使いのパソコンによって異なります。

■ LX90S/D, LX70S/D, LX65S, LX55S/D, LX50S/DS, LX50S/D をお使いの方

ご購入時は、メモリスロット1と2にそれぞれ256MBのメモリが1枚ずつ取り付けられています。メモリは、最大2GB（1GB×2枚）まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ（メモリスロット1、2）を取り外して交換します。

■ LX90SN, LX70SN, LX65SN, LX55SN, LX50SN をお使いの方

ご購入時に選択したメモリが取り付けられています。メモリは、最大2GB（1GB×2枚）まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、あらかじめ取り付けられているメモリ（メモリスロット1、2）を取り外して交換します。

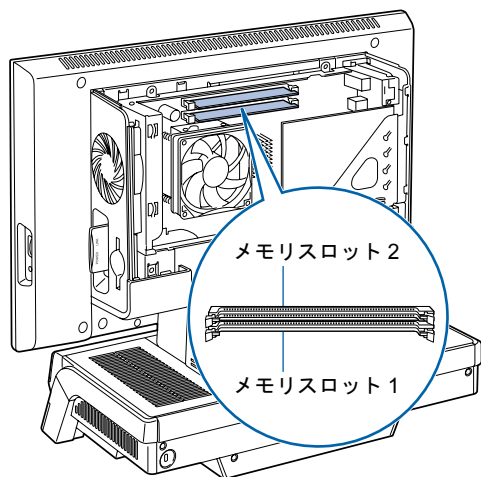
2GBのメモリを選択した方は、これ以上メモリ容量を増やすことはできません。

■ LX50S をお使いの方

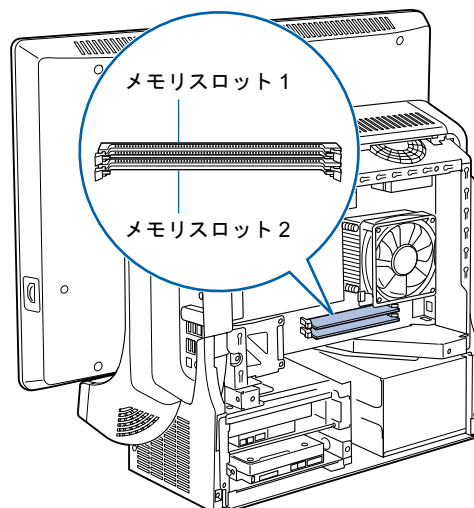
ご購入時は、メモリスロット1に512MBのメモリが1枚取り付けられています。メモリは、最大2GB（1GB×2枚）まで増やせます。

メモリ容量を増やすには、メモリスロット2に、新たにメモリを取り付けます。メモリを最大容量まで増やすときは、あらかじめ取り付けられているメモリ（メモリスロット1）を取り外して交換します。

■ LX90/70/55/50 シリーズ



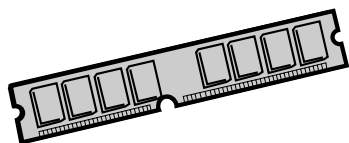
■ LX65 シリーズ



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

取り付けられるメモリ

お使いになれるメモリは次の種類です。



■ LX90/70/65/55 シリーズ、LX50S/DS,LX50S/D,LX50SN をお使いの方

- ・ 種類: DDR2(ディーディーアール2)SDRAM(エスディーラム)DIMM(ディム)(SPD 付き)
- ・ メモリバスクロック : PC2-4200 (533MHz)
- ・ ピン数 : 240 ピン
- ・ 容量 : 256MB、512MB、1GB
- ・ ECC : なし

■ LX50S をお使いの方

- ・ 種類: DDR2(ディーディーアール2)SDRAM(エスディーラム)DIMM(ディム)(SPD 付き)
- ・ メモリバスクロック : PC2-4200 (533MHz)
- ・ ピン数 : 240 ピン
- ・ 容量 : 512MB、1GB
- ・ ECC : なし

👉 重要

メモリバスクロックについて

このパソコンに取り付けるメモリは、PC2-4200 対応 (DDR2) または PC2-4300 対応 (DDR2) のものをお使いください。

🔍 POINT

SPD (エスピーディー)

Serial Presence Detect の略で、メモリの機能のひとつです。

必ず SPD 付きのメモリをご購入ください。なお、弊社製の DIMM は、SPD 付きです。

ECC (イーシーシー)

Error Correcting Code の略で、データの中の誤りを検出し、訂正する機能のことです。

このパソコンでは使いません。

メモリの組み合わせ表

次の表で、メモリの容量とメモリスロットの組み合わせを確認してください。
次の表以外の組み合わせにすると、パソコンが正常に動作しない場合があります。

■ LX90S/D, LX70S/D, LX65S, LX55S/D, LX50S/DS, LX50S/D をお使いの方、および LX90SN, LX70SN, LX65SN, LX55SN, LX50SN で 512MB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1	メモリスロット 2
512MB (ご購入時)	256MB	256MB
1GB	512MB [注 1] [注 2]	512MB [注 1] [注 2]
2GB (最大)	1GB [注 1] [注 2]	1GB [注 1] [注 2]

注 1：あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

注 2：デュアルチャンネルで動作させるには、弊社純正品の同じ容量のメモリを 2 枚 1 組で取り付けてください。

■ LX90SN, LX70SN, LX65SN, LX55SN, LX50SN で 1GB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1	メモリスロット 2
1GB (ご購入時)	512MB	512MB
2GB (最大)	1GB [注 1] [注 2]	1GB [注 1] [注 2]

注 1：あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

注 2：デュアルチャンネルで動作させるには、弊社純正品の同じ容量のメモリを 2 枚 1 組で取り付けてください。

■ LX90SN, LX70SN, LX65SN, LX55SN, LX50SN で 2GB のメモリを選択した方

総容量	メモリスロット 1	メモリスロット 2
2GB (ご購入時/最大)	1GB	1GB

■ LX50S をお使いの方

総容量	メモリスロット 1	メモリスロット 2
512MB (ご購入時)	512MB	なし
1GB	512MB	512MB
1.5GB	512MB	1GB
2GB (最大)	1GB [注]	1GB

注：あらかじめ取り付けられているメモリを交換します。

メモリの取り扱い上の注意

⚠ 警告



- ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
この手順を守らずに作業を行うと、感電・火災または故障の原因となります。

⚠ 注意



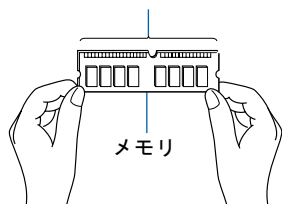
- ・メモリの取り付けまたは交換を行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。



- ・基板表面上の突起物には手を触れないでください。
けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

メモリを取り付けるときの注意

- ・メモリを取り付けるときは、メモリの差し込み方向をお確かめのうえ、確実に差し込んでください。誤ってメモリを逆方向に差したり、差し込みが不完全だったりすると、故障の原因となることがあります。
- ・メモリは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリを取り扱う前に、一度金属質のものに手を触れて、静電気を放電してください。
- ・メモリは何度も抜き差ししないでください。故障の原因となることがあります。
- ・メモリの表面の端子やIC部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。
- ・メモリは下図のようにふちを持ってください。金色の線が入っている部分（端子）には、絶対に手を触れないでください。
この部分には手を触れないでください。



- ・パソコン本体の電源を切った状態でも、パソコン本体内部には電流が流れています。必ず電源プラグをコンセントから抜いたことを確認してください。

メモリを増やす

警告



- ・メモリの取り付けや取り外しを行うときなど、本体カバーをあける場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後、しばらくたってから本体カバーを開けてください。また、電話回線からモジュラーケーブルが接続されている場合、モジュラーケーブルも取り外してください。電話回線から着信があった場合、または落雷が起きた場合に感電の原因となります。

ここでは、メモリを増やす方法を説明します。

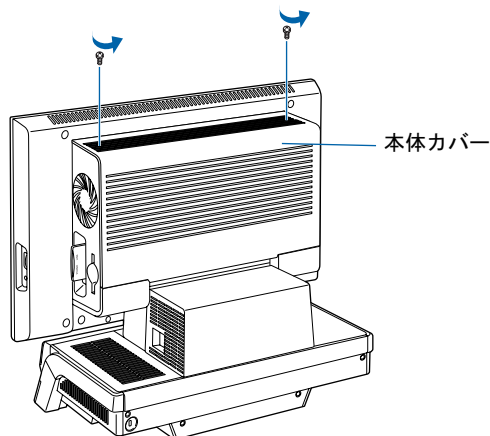
POINT

メモリの取り付け手順の動画を見ることができます

サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) で、メモリの取り付け手順の動画がご覧になれます。

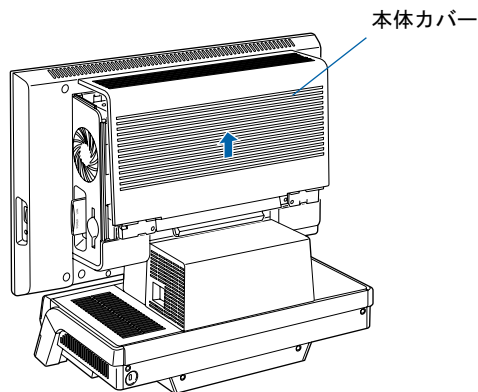
■ LX90/70/55/50 シリーズの場合

- 1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 本体カバーのネジ（2ヶ所）をプラスのドライバーで外します。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

4 本体カバーを取り外します。

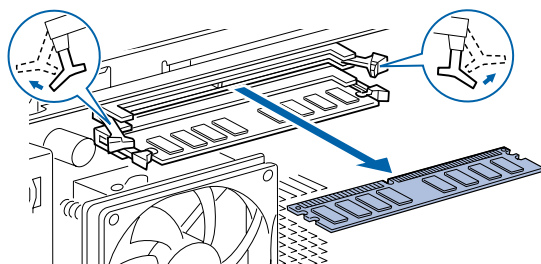


5 メモリの取り付け場所とメモリ容量の組み合わせを確認します。

メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」(●▶P.137)をご覧ください。
メモリの容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」(●▶P.139)をご覧ください。

6 メモリスロット2の両側のレバーを外側へ開いて、メモリを引き抜きます。

LX50S の場合は、メモリスロット 2 の両側のレバーを外側へ開いてください。その後は、手順 8 へ進んでください。



重要

メモリを取り外すときの注意

- ・メモリスロットの両側のレバーを外側へ開くときに、指をはさまないようにご注意ください。
- ・レバーを勢いよく外側へ開くと、メモリが飛び出し、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

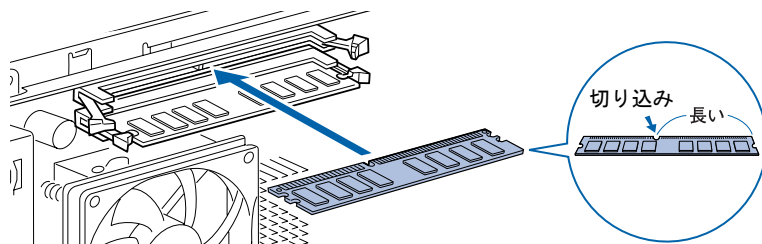
7 手順 6 と同様に、メモリスロット 1 のメモリを引き抜きます。

8 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。 LX50S の場合は、メモリスロット 2 に差し込みます。 それ以外の機種の場合は、メモリスロット 1、メモリスロット 2 の順に差し込みます。

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうを右側に向けて、メモリスロット正面からまっすぐに差し込んでください。

メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。

必ず、メモリがロックされたことを確認してください。



重要

メモリを取り付けるときは

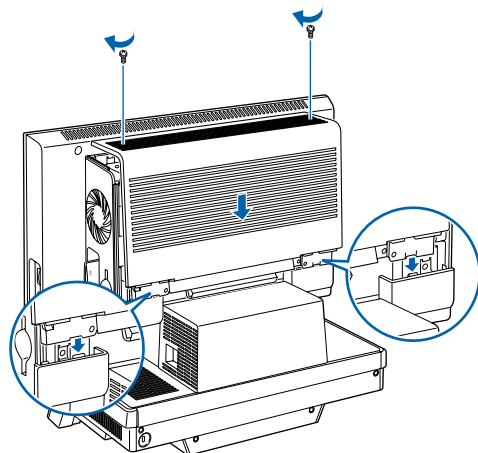
- ・端子や IC に触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- ・メモリの表面の端子や IC 部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようとすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

メモリの向きについて

メモリの方向をよく確認して正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障の原因となります。

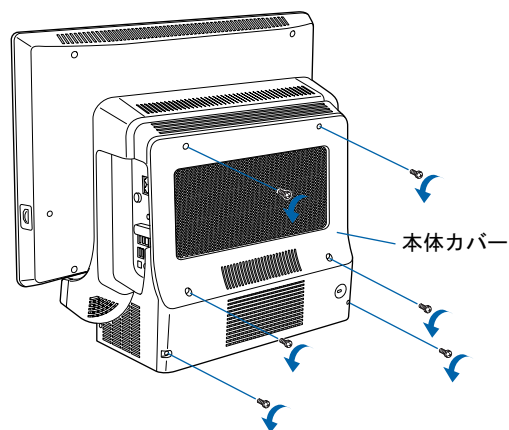
9 本体カバーを取り付け、手順 3 (●▶ P.141) で外したネジ (2ヶ所) で固定します。

ネジは固く締めすぎないようにしてください。



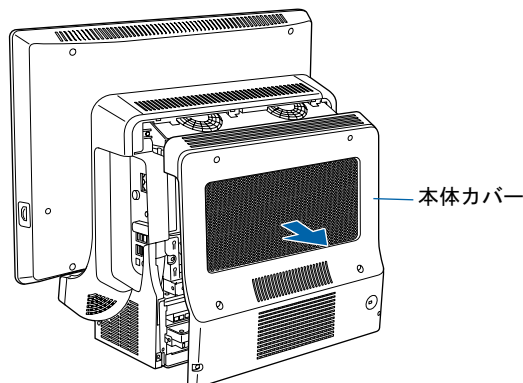
■ LX65 シリーズの場合

- 1 パソコン本体と接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2 電源プラグをコンセントから抜きます。
- 3 本体カバーのネジ（6ヶ所）をプラスのドライバーで外します。



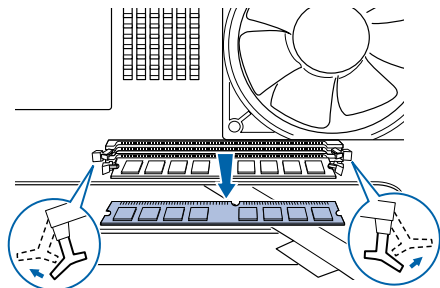
(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

- 4 本体カバーを取り外します。



- 5 メモリの取り付け場所とメモリ容量の組み合わせを確認します。
メモリの取り付け場所については、「メモリの取り付け場所」(●▶P.137)をご覧ください。
メモリの容量と組み合わせについては、「メモリの組み合わせ表」(●▶P.139)をご覧ください。

6 メモリスロット1の両側のレバーを外側へ開いて、メモリを引き抜きます。



重要

メモリを取り外すときの注意

- ・メモリスロットの両側のレバーを外側へ開くときに、指をはさまないようにご注意ください。
- ・レバーを勢いよく外側へ開くと、メモリが飛び出し、故障の原因となることがありますので、ご注意ください。

7 手順6と同様に、メモリスロット2のメモリを引き抜きます。

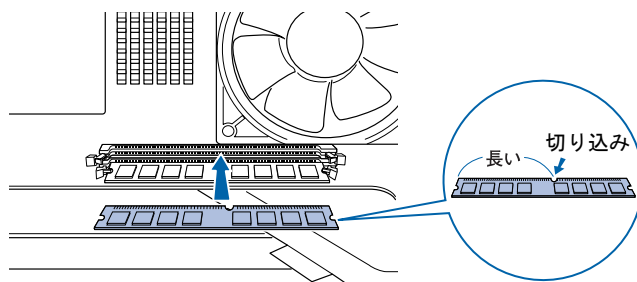
8 新しいメモリをメモリスロットに差し込みます。

メモリスロット2、メモリスロット1の順に差し込みます。

端子に切り込みが入っている部分から端までの距離が長いほうを左側に向けて、メモリスロット正面からまっすぐに差し込んでください。

メモリがメモリスロットに差し込まれると、スロット両側のレバーが自動的に閉じて、メモリがロックされます。

必ず、メモリがロックされたことを確認してください。



重要

メモリを取り付けるときは

- ・端子やICに触れないようにして、両手でメモリのふちを持って取り付けてください。
- ・メモリの表面の端子やIC部分に触れて押さないでください。また、メモリに強い力をかけないようにしてください。
- ・メモリがうまく取り付けられないときは、無理にメモリを取り付けず、いったんメモリを抜いてから再度メモリを取り付け直してください。無理にメモリを取り付けようとすると、メモリやコネクタが破損する原因となります。

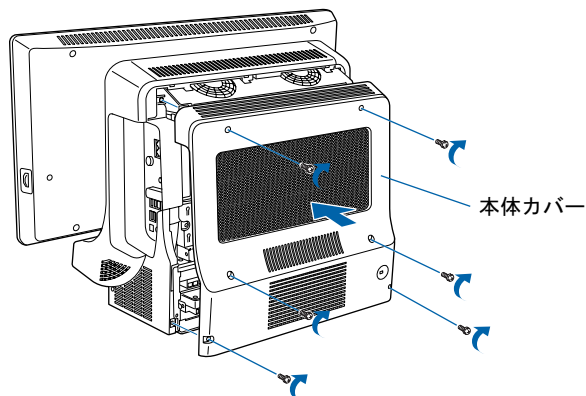
メモリの向きについて

メモリの方向をよく確認して正しく差し込んでください。無理に差し込むと故障の原因となります。

次のページへ

9 本体カバーを取り付け、手順3（▶P.144）で外したネジ（6ヶ所）で固定します。

ネジは固く締めすぎないようにしてください。



続いて、メモリが正しく取り付けられたかメモリ容量を確認しましょう（▶P.146）。

メモリ容量を確認する

メモリを取り付けた後、増やしたメモリが使える状態になっているかを確認してください。必ず、本体カバーを取り付けてから確認作業を行ってください。

1 パソコン本体の電源を入れます。

「電源を入れる」（▶P.96）をご覧ください。

次のいずれかのメッセージが表示されます。

- ・メモリ容量が変更されました。インスタント MyMedia のみリカバリが必要です。添付のマニュアルに従い、インスタント MyMedia のみリカバリを行ってください。
- ・Memory Size changed. Please recovery "Instant MyMedia" area.

POINT

メッセージが表示されずに Windows が起動したときは

BIOS セットアップの「詳細」メニューで「インスタント MyMedia」を「使用しない」に設定している場合は、メッセージが表示されません。
このまま手順3へ進んでください。

画面に何も表示されないときは

メモリが正しく取り付けられていないと、パソコンの電源を入れたとき画面に何も表示されない場合があります。

その場合は、パソコン電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンの電源を切り、電源プラグを抜いた後、メモリを取り付け直してください。

2 **[F1]** を押します。

3 Windows が起動したら、「スタート」ボタンをクリックします。

4 「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

5 丸で囲んだ部分の数値が、増やしたメモリの分だけ増えているかを確認します。



(画面は機種や状況により異なります)

画面は、512MBのメモリ2枚に交換して、1GBに増やした例です。

このパソコンではメモリの一部をグラフィック用メモリとして使用するため、実際のメモリ容量より少なく表示されます。

SCSIカードの増設などお使いのシステム構成によっては、さらに1～2MB少なく表示される場合があります。

6 「OK」をクリックします。

続いて、「インスタント MyMedia」をリカバリします。「インスタント MyMedia」のリカバリについては、『FMV 活用ガイド』をご覧ください。

重要

メッセージは一度しか表示されません

手順1のメッセージは、メモリ容量を変更後、はじめてWindowsを起動したときのみ表示されます。

「インスタント MyMedia」の設定を正しく行わないと、「インスタント MyMedia」はお使いになれません。

POINT

「インスタント MyMedia」をお使いにならない場合

今後、「インスタント MyMedia」をお使いにならない場合は、「インスタント MyMedia」のリカバリを実行する必要はありません。

メモリ容量の数値が増えていなかった場合は、次のことを確認してください。

- 増やしたメモリがこのパソコンで使える種類のものか
「取り付けられるメモリ」(●▶P.138)
- メモリがメモリスロットにきちんと差し込まれているか
「メモリを増やす」(●▶P.141)
- 正しいスロットに取り付けられているか
「メモリの取り付け場所」(●▶P.137)
- メモリを正しく組み合わせているか
「メモリの組み合わせ表」(●▶P.139)

3 ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの設置と設定

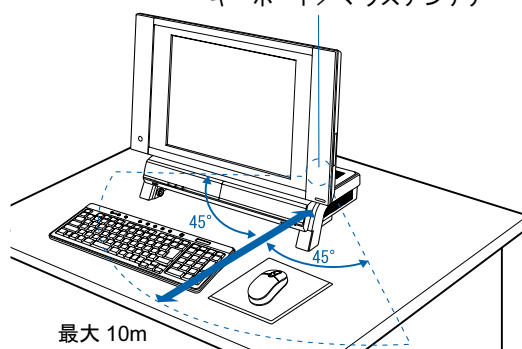
ここでは、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID を設定する方法などを説明します。

使用に適した配置

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号を受けるキーボード／マウスアンテナは、パソコン本体に内蔵されています。ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスは、次のような場所でお使いください。

- ・机の上など平らで安定した場所
- ・パソコン本体と同じくらいの高さで、操作に十分なスペースが取れる場所
- ・パソコン本体から最大 10m (3m 以内を推奨)、左右約 45 度の範囲

キーボード／マウスアンテナ



重要

ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをお使いになる時の注意事項

- ・次のような環境では、周囲からの電波を受けて、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスがうまく動作しないことがあります。設置場所を変えるなど、通信の妨げとなる原因を取り除いてください。
- ・ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの送信部とキーボード／マウスアンテナとの距離が離れすぎている場合
- ・パソコン本体とワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの中に、電気・電子機器や金属製のものを置いている場合
- ・パソコン本体をスチール机やスチール棚のような金属製の台の上に載せている場合
- ・周囲でノイズ源となる電気・電子機器（無線機器を含む）を使用している場合
- ・パソコン本体周辺に金属製の物（スチール製の机、金属部分がある机）がある場合
- ・周囲にこのパソコンと同じ周波数の電波を使用している機器がある場合
(パソコンを複数台でお使いの場合や、周囲でラジコンや無線機をお使いの場合、または無線局の近隣でお使いの場合など)
- ・パソコン本体を電子レンジの近くに置いている場合
- ・ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスを使用したパソコンを近くで使用している場合
- ・ワイヤレスマウスは電池の消耗を抑えるため、動かさない状態が約 10 秒続くと光学センサーを完全に消灯しスリープモードに入りますが、振動の検出によりスリープモードから復帰します。そのため、ワイヤレスマウスには振動を検出するためのモーションセンサーが内蔵されています。ワイヤレスマウスを振るとカラカラという音がありますが、これはモーションセンサーの振動検出機構の音であり、故障ではありません。そのままお使いください。
- ・ワイヤレスキーボードは、電池の消耗を抑えるため、キーを押さない状態が約 10 分続くと、状態表示 LCD に何も表示されなくなり、スリープモードに入ります。スリープモードから復帰する際、最初に押したキーが無効になることがあります。これは故障ではありません。もう一度、最初に押したキーを押してください。

乾電池について

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの乾電池について説明します。

- ・ **必ずアルカリ乾電池をお使いください。**
アルカリ乾電池以外の乾電池（マンガン乾電池、充電式乾電池など）はお使いにならないでください。十分な機能・性能で動作しない場合があったり、電池寿命が極端に短くなったりします。
- ・ **ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。**
すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい乾電池に交換してください。
- ・ **乾電池の寿命の目安は、毎日 2 時間の使用で、ワイヤレスキーボードは約 6ヶ月、ワイヤレスマウスは約 3ヶ月です。**
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。乾電池の交換時には、市販の単 3 型アルカリ乾電池 2 本をご使用ください。
- ・ **パソコンを操作していないときは、なるべく動かさないようにしてください。**
パソコン本体の電源が入っていても、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスが動作していると乾電池が消費されます。また、ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスの上に物を載せたままにしないようご注意ください。
- ・ **長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。**
ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスを使用せずに放置していても、乾電池が消費されます。長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- ・ **ワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの乾電池の消耗状態は、ワイヤレスキーボードの状態表示 LCD に表示されるインジケータをご覧になり、消耗している場合はお早めに新しい乾電池に交換してください（表示は目安です）。なお、ワイヤレスキーボードの乾電池が完全に消耗している場合は、状態表示 LCD には何も表示されません。**




K 電池残量表示
(ワイヤレスキーボード) [注 1]
ワイヤレスキーボードの乾電池の
消耗状態を表示します。



M 電池残量表示
(ワイヤレスマウス) [注 2]
ワイヤレスマウスの乾電池の消耗
状態を表示します。



または  : 正常に使用できます。



: 動作が不安定になる場合があります。

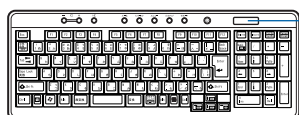


: 新しい乾電池に交換してください。

注 1 : ワイヤレスキーボードの乾電池が完全に消耗している場合は、状態表示 LCD には何も表示されません。

注 2 : 「電池残量表示 (ワイヤレスマウス)」は、Windows を起動後、ワイヤレスマウスを操作するまでは正しく表示されません。
また、ワイヤレスマウスの乾電池が完全に消耗している状態でワイヤレスマウスを操作しても「電池残量表示 (ワイヤレスマウス)」は、正しく表示されません。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合



状態表示 LCD




■ LX65 シリーズの場合



状態表示 LCD

乾電池を交換する

⚠ 注意

-  電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。
-  新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用せずに、2本の新品乾電池と交換してください。乾電池の液漏れや破裂等により、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
-  使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの乾電池を交換する方法については、「キーボード／マウスを準備する」(▶▶P.50)をご覧ください。

🔍 POINT

乾電池の使用推奨期限を確認してください

乾電池が使用推奨期限を過ぎていないか、確認してお使いください。

5

ID 設定をする

このパソコンに添付されているワイヤレスキーボードおよびワイヤレスマウスの ID 設定方法について説明します。ID 設定は、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが使えなくなった場合や、周囲や近隣で複数台のパソコンを使っていて誤動作する場合に行ってください。通常は設定の必要はありません。

ID は、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの電波の混信や誤動作を避けるため、対となっているパソコン本体との間でしかワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスが動作しないように設定する識別子です。

また、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、それぞれ固有の ID を使用しているため、別々に設定が必要です。

👉 重要

設定をする前に確認してください

- ・「使用上のお願い」(▶▶P.36) をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。
- ・パソコン電源を入れた状態で設定してください。パソコン電源が入っていないときや、省電力機能が働いているときは設定することはできません。

乾電池の交換などで乾電池を抜いても ID 設定は保持されます

乾電池の交換などで乾電池を抜いても、ワイヤレスキーボード／ワイヤレスマウスの ID 設定値は保持されます。再設定する必要はありません。

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス、両方の設定を行ってください

ID 設定を行う場合は、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウス両方の設定を行ってください。

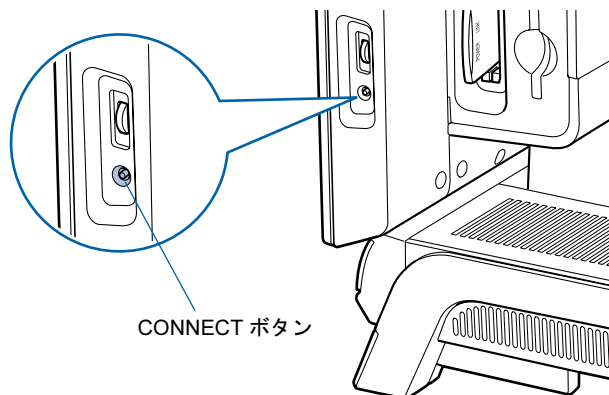
ワイレスキーボードの ID 設定をする

1 パソコン本体の CONNECT ボタンを 1 回押します。

■LX90/70/55/50 シリーズの場合

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

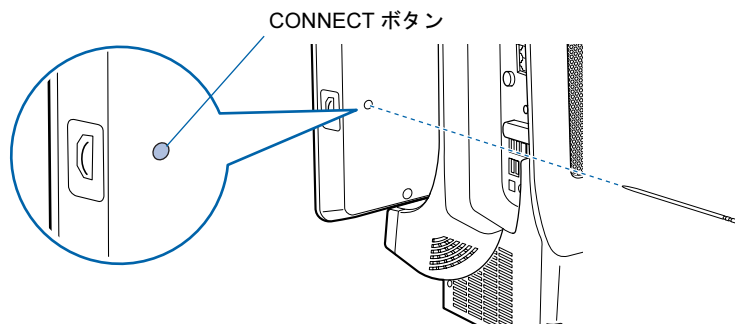
- ・パソコン本体右側面



■LX65 シリーズの場合

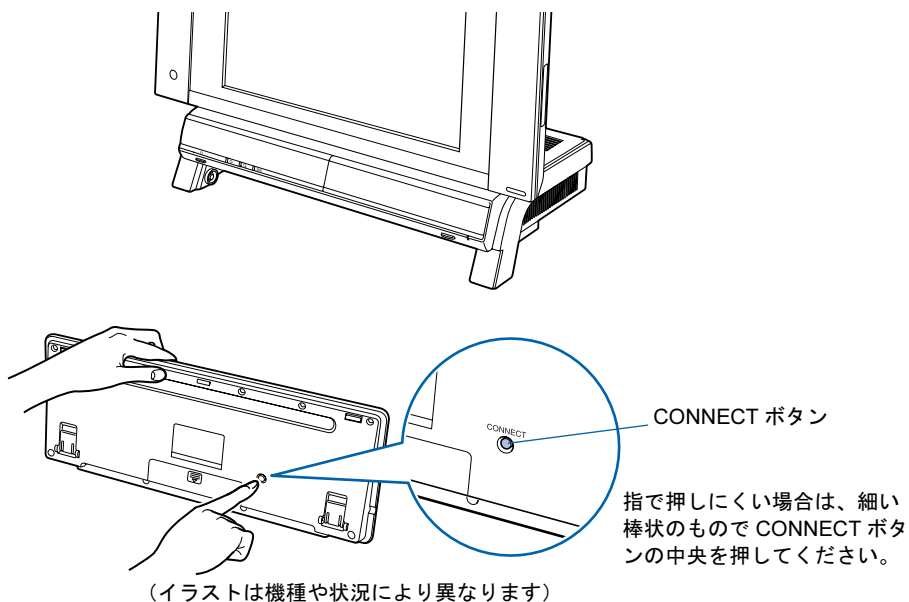
電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

- ・パソコン本体背面




2 パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、ワイヤレスキーボード裏面のCONNECTボタンを指で1回押し、すぐに離します。

CONNECT ボタンを押す際は、キーボードの他のキーを押さないようにご注意ください。キーボード上面の状態表示 LCD が数回点滅した後、ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスキーボードを操作します。

ワイヤレスキーボードの  などを押して正常に動作すれば設定完了です。キーボードが正常に動作しない場合は、一度乾電池を出し入れし、手順 1 (●▶P.152) からもう一度設定を行ってください。

続いて、ワイヤレスマウスの ID 設定を行きましょう (●▶P.154)。

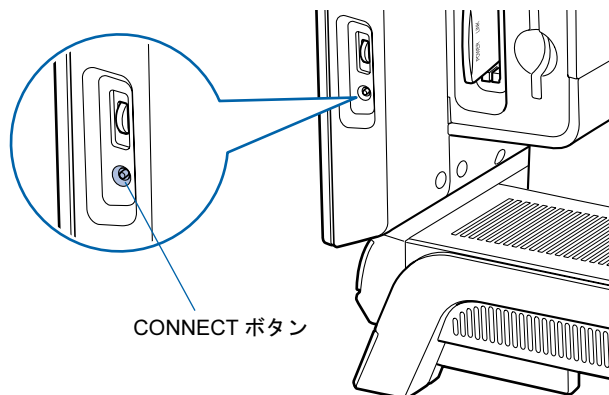
ワイヤレスマウスの ID 設定をする

1 パソコン本体の CONNECT ボタンを 1 回押します。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合

CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

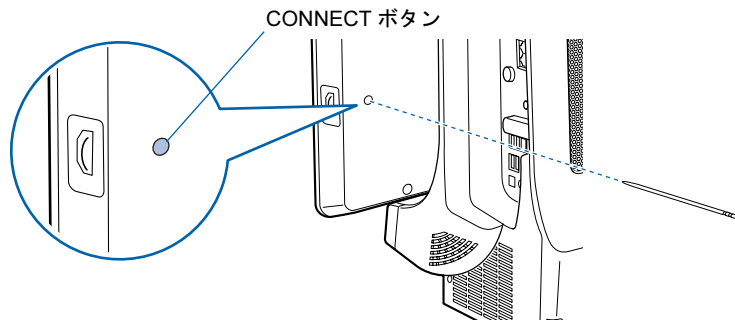
- ・パソコン本体右側面



■ LX65 シリーズの場合

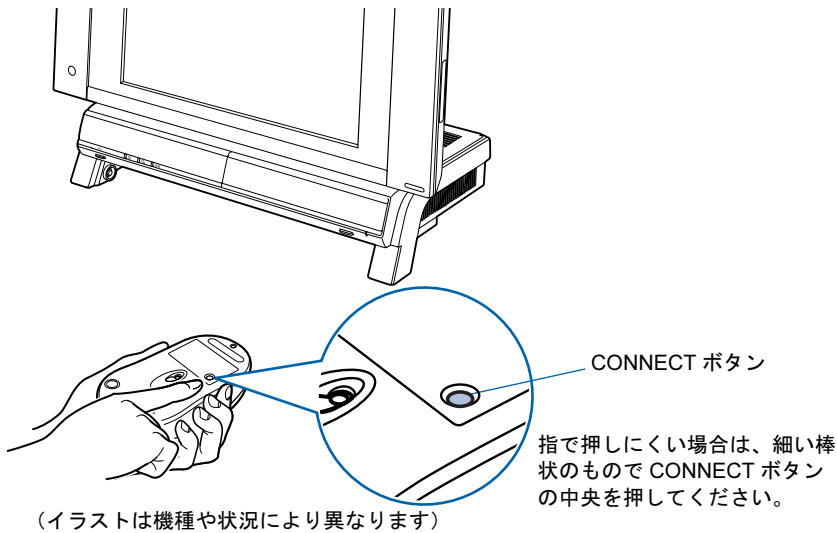
電気を通さない細い棒状のもの（つま楊枝など）を、まっすぐに差し込んでください。CONNECT ボタンを押すと「カチッ」という感触があります。「カチッ」という感触がない場合は、もう一度 CONNECT ボタンを押してください。

- ・パソコン本体背面



2 パソコン本体の CONNECT ボタンを押してから約 10 秒以内に、ワイヤレスマウス裏面の CONNECT ボタンを指で 1 回押し、すぐに離します。

CONNECT ボタンを押す際は、マウスの他のボタンを押さないようにご注意ください。光学式センサーの赤い光が数回点滅した後、ID が自動的に設定されます。



3 ワイヤレスマウスを操作します。

マウスを動かす、正常にマウスポインタが動けば設定完了です。正常に動作しない場合は、一度乾電池を出し入れし、手順 1 (▶▶P.154) からもう一度設定を行ってください。

4 リモコンについて

ここではリモコンをお使いになる際の注意事項、乾電池の交換方法について説明しています。

リモコンで操作できるソフトウェアについては、☎(サービスアシスタント)のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「5. パソコン本体の取り扱い」→「リモコン」→「リモコンについて」をご覧ください。

重要

添付のリモコンを使用してください

本製品に添付のリモコンを使用して操作してください。

乾電池を交換する

注意



・電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。





・使い切って寿命のなくなった乾電池はすぐに取り出してください。電池の液漏れなどの原因となることがあります。

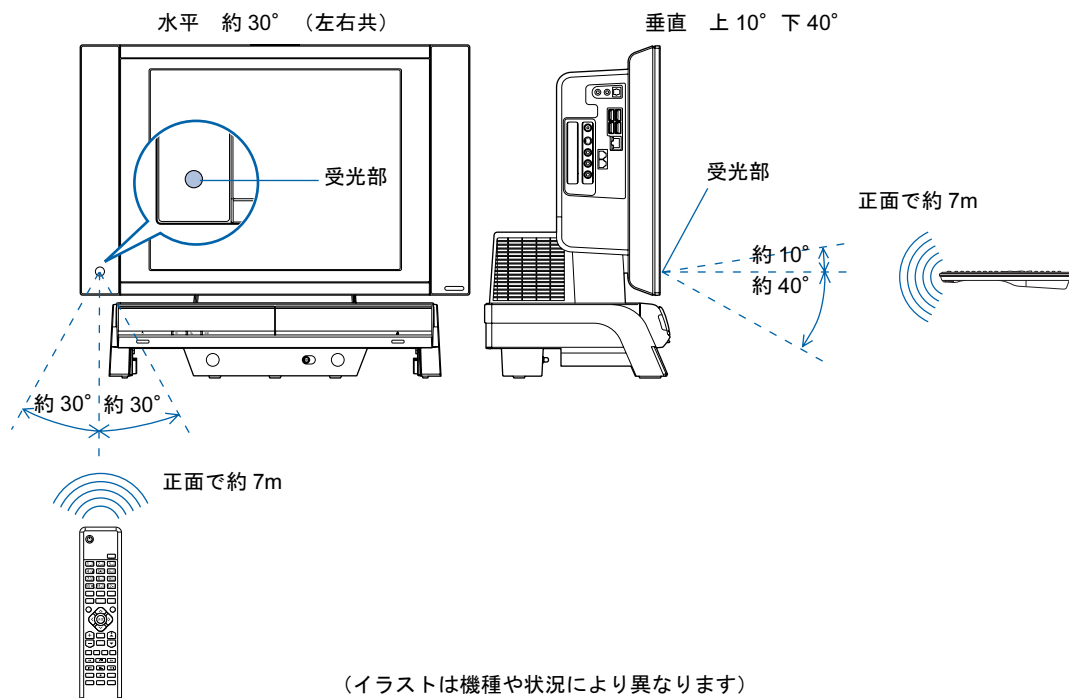
リモコンの乾電池を交換する方法については、「リモコンに乾電池を入れる」(▶▶P.65)をご覧ください。

リモコンをお使いになる場合の注意

リモコンをお使いになる場合は、次の点にご注意ください。

- ・リモコンをお使いになる場合には、リモコンマネージャーが起動している必要があります。画面右下の通知領域に (リモコンマネージャー) が表示されているか、確認してください。リモコンマネージャーについては、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「7. 添付ソフトウェア一覧 (読み別)」→「らりるれる」→「リモコンマネージャー」をご覧ください。
- ・信号が受けやすいように、リモコンをパソコン本体の受光部に向けてください。
- ・パソコン本体の受光部とリモコンの間に障害物がない場所に設置してください。
- ・直射日光などの強い光があたる場所での使用は避けてください。使用距離が短くなる場合があります。
- ・リモコンをプラズマディスプレイ/プラズマテレビ/ハロゲンヒーターなどの近くでお使いになると、リモコンが正常に動作しないことがあります。これはプラズマディスプレイ/プラズマテレビ/ハロゲンヒーターなどから放射される赤外線により、リモコンとパソコン本体の受光部との通信が妨害されるために起こる現象です。このようなときは、パソコン本体またはプラズマディスプレイ/プラズマテレビ/ハロゲンヒーターなどの設置場所を変更してください。

パソコン本体のリモコン受光部使用可能範囲



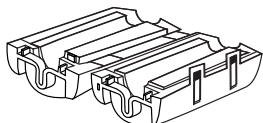
5 添付コアの取り付けかた

このパソコンでは、お使いになる機種や接続するケーブルによって、コアの取り付けが必要な場合があります。次の説明をよくお読みになり、正しくコアを取り付けてください。

添付されているコアの種類

■ LX65S,LX65SN をお使いの場合

コアが 1 個添付されています。



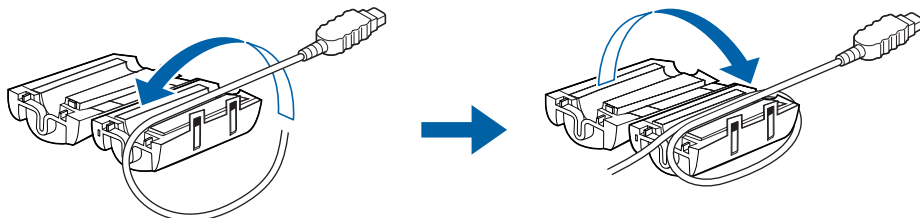
大 : 1 個

IEEE1394 (DV) 端子にプリンタなどの IEEE1394 (DV) ケーブルを接続する場合に取り付けます。

コアの取り付け方

ケーブルをコアに 1 回巻きつけ、端子の近くでコアを閉じます。

コアを閉じるときは、コアでケーブルをはさみ込まないように注意してください。



6

第 6 章 仕様一覧

1 パソコン本体の仕様	160
2 その他の仕様	170

1 パソコン本体の仕様

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90S/D	FMV-DESKPOWER LX70S/D	FMV-DESKPOWER LX55S/D	FMV-DESKPOWER LX50S/DS	FMV-DESKPOWER LX50S/D	FMV-DESKPOWER LX50S
CPU		HTテクノロジー インテル® Pentium® 4 プロセッサ 517注1	インテル® Celeron® D プロセッサ 346	HTテクノロジー インテル® Pentium® 4 プロセッサ 517注1	インテル® Celeron® D プロセッサ 346		インテル® Celeron® M プロセッサ 380
		2.93GHz	3.06GHz	2.93GHz	3.06GHz		1.60GHz
キャッシュメモリ		1次： 12K μ Ops 実行 トレース+ 16KB データ、 2次：1MB (CPU 内蔵)	1次： 12K μ Ops 実行 トレース+ 16KB データ、 2次：256KB (CPU 内蔵)	1次： 12K μ Ops 実行 トレース+ 16KB データ、 2次：1MB (CPU 内蔵)	1次：12K μ Ops 実行トレース + 16KB データ、 2次：256KB (CPU 内蔵)		1次：64KB、 2次：1MB (CPU 内蔵)
チップセット	ATI 社製 RADEON® XPRESS 200M チップセット						
システム・バス	533MHz						
メインメモリ注2	標準 512MB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注3 最大 2GB注4						標準 512MB (PC2-4200 DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注3 最大 2GB注4
メモリスロット	× 2 (空きスロットなし)						× 2 (空き スロット× 1)
表示 機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵					
	ビデオメモリ	64MB (メインメモリ 1GB 以上搭載時は 128MB) (メインメモリと共用)					64MB (メイン メモリと共用)
	液晶ディスプレイ注7	20.1 型ワイドデジタル液晶			17 型デジタル液晶		
	解像度/発色数	最大 1680 × 1050 ドット/ 最大 1619 万色注8			最大 1280 × 1024 ドット/ 最大 1619 万色注8		
フロッピーディスク ドライブ注9	FDD ユニット (USB) (別売)						
ハードディスク ドライブ注10	400GB (シリアル ATA/150)注11	300GB (シリアル ATA/150)注11					
CD/DVD ドライブ	スーパーマルチドライブ注12						
オー デ ィ オ 機 能	オーディオコント ローラ	チップセット内蔵+ AC97 コードデック					
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応					
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート					
通 信 機 能	モデム	データ：最大 56kbps (V.90 規格準拠)注13 / FAX：最大 14.4kbps					
	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠					
	無線 LAN	IEEE802.11a (J52/W52/W53) 準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠 (Wi-Fi® 準拠)注14					
メディアタンク (FMMET- 101 添付)	-	-	-	あり注15	-	-	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.168)をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90S/D	FMV-DESKPOWER LX70S/D	FMV-DESKPOWER LX55S/D	FMV-DESKPOWER LX50S/DS	FMV-DESKPOWER LX50S/D	FMV-DESKPOWER LX50S	
テレビ機能	地上アナログ	受信チャンネル：VHF (1～12ch)、UHF (13～62ch)、CATV (C13～C63ch) ステレオ、音声多重対応						
	BSアナログ	—						
	地上デジタル注16	受信チャンネル：000～999ch					—	
	BSデジタル注17	受信チャンネル：000～999ch	—					
	110度CSデジタル注17	受信チャンネル：000～999ch	—					
録画形式注18		MPEG2 (ハードエンコード)						
高画質化機能		3次元Y/C分離、ゴーストリダクション						
インターフェース	PCカード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応) (1 スロット (背面側) にワイヤレス LAN カードを搭載)						
	SDカード / メモリースティック / xD-ピクチャーカード注19	× 1 スロット						
	USB注20	USB2.0 準拠 × 6 (前面 × 2、左側面 × 4)						
	IEEE1394 (DV)	4ピン × 1 (S400)						
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)						
	LAN	RJ-45 × 1						
	テレビ	アンテナ入力 (地上アナログ) × 1、アンテナ入力 (地上デジタル) × 1、アンテナ入力 (BS・110度CSデジタル) × 1、ビデオ入力 (Sビデオ) × 2、ビデオ入力 (コンポジット) × 2、ビデオ音声入力 (右/左) × 2	アンテナ入力 (地上デジタル・地上アナログ) × 1、ビデオ入力 (Sビデオ) × 2、ビデオ入力 (コンポジット) × 2、ビデオ音声入力 (右/左) × 2				アンテナ入力 (地上アナログ) × 1、ビデオ入力 (Sビデオ) × 2、ビデオ入力 (コンポジット) × 2、ビデオ音声入力 (右/左) × 2	
	オーディオ	マイク：φ3.5mm ミニジャック (入力：100mV以下、入力インピーダンス (AC) 10kΩ以上 (DC) 2kΩ以上)、ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力：1mW以上、負荷インピーダンス 32Ω)、光デジタルオーディオ出力：角形：光プラグ、ラインイン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック						
	電源/周波数		AC100V 50/60Hz					
	消費電力	電源OFF時注21	3W以下					
動作時		通常約 122W 最大 222W スタンバイ時 約 3W	通常約 125W 最大 222W スタンバイ時 約 3W	通常約 107W 最大 215W スタンバイ時 約 3W	通常約 118W 最大 215W スタンバイ時約 3W		通常約 92W 最大 144W スタンバイ時 約 3W	
省エネ法に基づくエネルギー消費効率注22		P 区分 0.00024	P 区分 0.00023	P 区分 0.00024	P 区分 0.00023		P 区分 0.00055	
省エネルギー基準達成率		AAA						
外形寸法		W 594 × D253 × H453mm (突起部含まず)		W 530 × D253 × H453mm (突起部含まず)				
質量		約 18.5kg		約 17.5kg		約 17.0kg		
盗難防止用ロック取り付け穴		あり						
温湿度条件		温度 10～35℃/湿度 20～80%RH (動作時)、温度 -10～60℃/湿度 20～90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)						
プレインストール OS		Windows XP Home Edition注23 (DirectX:9.0c 対応)						
サポート OS		Windows XP Home Edition注24、Windows XP Professional注24						

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.168)をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90SN	FMV-DESKPOWER LX70SN	FMV-DESKPOWER LX55SN	FMV-DESKPOWER LX50SN
CPU		HT テクノロジインテ ル® Pentium® 4 プロセッサ 517 注1	インテル® Celeron® D プロセッサ 346	HT テクノロジインテ ル® Pentium® 4 プロセッサ 517 注1	インテル® Celeron® D プロセッサ 346
		2.93GHz	3.06GHz	2.93GHz	3.06GHz
キャッシュメモリ		1次：12K μ Ops 実行ト レース+ 16KB データ、 2次：1MB (CPU 内 蔵)	1次：12K μ Ops 実行ト レース+ 16KB データ、 2次：256KB (CPU 内 蔵)	1次：12K μ Ops 実行ト レース+ 16KB データ、 2次：1MB (CPU 内 蔵)	1次：12K μ Ops 実行ト レース+ 16KB データ、 2次：256KB (CPU 内 蔵)
チップセット	ATI 社製 RADEON® XPRESS 200 M チップセット				
システム・バス	533MHz				
メインメモリ注2★	標準 512MB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注3 最大 2GB注4 / 1GB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注3 最大 2GB注4 / 2GB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし注3 最大 2GB注4				
メモリスロット	× 2 (空きスロットなし)注5				
表示 機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵			
	ビデオメモリ	64MB (メインメモリ 1GB 以上搭載時は 128MB) (メインメモリと共用)			
	液晶ディスプレイ注7	20.1 型ワイドデジタル液晶		17 型デジタル液晶	
	解像度/発色数	最大 1680 × 1050 ドット/最大 1619 万色		最大 1280 × 1024 ドット/最大 1619 万色注8	
フロッピーディスク ドライブ注9	FDD ユニット (USB) (別売)				
ハードディスク ドライブ注10★	200GB / 300GB / 400GB (シリアル ATA/150) 注11				
CD/DVD ドライブ	スーパーマルチドライブ注12				
オー ディ オ 機 能	オーディオコント ローラ	チップセット内蔵+ AC97 コーデック			
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応			
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート			
通 信 機 能	モデム	データ：最大 56kbps (V.90 規格準拠)注13 / FAX：最大 14.4kbps			
	LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 準拠			
	無線 LAN★	IEEE802.11a (J52/W52/W53) 準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠 (Wi-Fi® 準拠)注14			
テ レ ビ 機 能 ★	地上アナログ	受信チャンネル：VHF (1～12ch)、UHF (13～62ch)、CATV (C13～C63ch) ステレオ、音声多重対応			
	BS アナログ	—			
	地上デジタル 注16	受信チャンネル：000～999ch			
	BS デジタル注17	受信チャンネル： 000～999ch	—		
	110度CS デジタ ル注17	受信チャンネル： 000～999ch	—		
	録画形式注18	MPEG2 (ハードエンコード)			
高画質化機能	3次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション				
イ ン タ ー フ ェ ー ス	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応) (ワイヤレス LAN カードを選択した場合、1 スロット (背面側) にワイヤレス LAN カードを搭載)			
	SD カード/メモリー スティック /xD-ピク チャーカード注19	× 1 スロット			
	USB注20	USB2.0 準拠 × 6 (前面 × 2、左側面 × 4)			
	IEEE1394 (DV)	4 ピン × 1 (S400)			
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)			
	LAN	RJ45 × 1			

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART (ウェブマート)」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶ P.168) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX90SN	FMV-DESKPOWER LX70SN	FMV-DESKPOWER LX55SN	FMV-DESKPOWER LX50SN
インターフェイス	テレビ★	ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）を選択した場合：アンテナ入力（地上アナログ）×1、アンテナ入力（地上デジタル）×1、アンテナ入力（BS・110度CS デジタル）×1、ビデオ入力（S ビデオ）×2、ビデオ入力（コンボジット）×2、ビデオ音声入力（右/左）×2 / ハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）を選択した場合：アンテナ入力（地上デジタル・地上アナログ）×1、ビデオ入力（S ビデオ）×2、ビデオ入力（コンボジット）×2、ビデオ音声入力（右/左）×2	アンテナ入力（地上デジタル・地上アナログ）×1、ビデオ入力（S ビデオ）×2、ビデオ入力（コンボジット）×2、ビデオ音声入力（右/左）×2	ハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）を選択した場合：アンテナ入力（地上デジタル・地上アナログ）×1、ビデオ入力（S ビデオ）×2、ビデオ入力（コンボジット）×2 / 高画質テレビチューナー（アナログ放送用）を選択した場合：アンテナ入力（地上アナログ）×1、ビデオ入力（S ビデオ）×2、ビデオ入力（コンボジット）×2、ビデオ音声入力（右/左）×2	
	オーディオ	マイク：φ3.5mm ミニジャック（入力：100mV以下、入力インピーダンス（AC）10kΩ以上（DC）2kΩ以上）、ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック（出力：1mW以上、負荷インピーダンス 32Ω）、光デジタルオーディオ出力：角形：光プラグ、ラインイン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック			
電源/周波数		AC100V 50/60Hz			
消費電力	電源 OFF 時 ^{注21}	3W 以下			
	動作時	通常約 122W 最大 222W スタンバイ時約 3W	通常約 125W 最大 222W スタンバイ時約 3W	通常約 107W 最大 215W スタンバイ時約 3W	通常約 118W 最大 215W スタンバイ時約 3W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 ^{注22}		P 区分 0.00024	P 区分 0.00023	P 区分 0.00024	P 区分 0.00023
省エネルギー基準達成率		AAA			
外形寸法		W594 × D253 × H453 mm（突起部含まず）		W530 × D253 × H453 mm（突起部含まず）	
質量		約 18.5kg		約 17.5kg	
盗難防止用ロック取り付け穴		あり			
温湿度条件		温度 10 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH（動作時）、温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 90%RH（非動作時）（ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）			
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注23} （DirectX:9.0c 対応）			
サポート OS		Windows XP Home Edition ^{注24} 、Windows XP Professional ^{注24}			

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」（●▶P.168）をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX65S
CPU		HT テクノロジ インテル® Pentium® 4 プロセッサ 517 ^{注1} 2.93GHz
キャッシュメモリ		1次: 12K μ Ops 実行トレース+ 16KB データ、 2次: 1MB (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 915GV チップセット
システム・バス		533MHz
メインメモリ ^{注2}		標準 512MB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし ^{注3} 最大 2GB ^{注4}
メモリスロット		× 2 (空きスロットなし)
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 128MB (メインメモリと共用) ^{注6}
	液晶ディスプレイ ^{注7}	19 型デジタル液晶
	解像度/発色数	最大 1280 × 1024 ドット/最大 1619 万色
フロッピーディスク ドライブ ^{注9}		FDD ユニット (USB) (別売)
ハードディスク ドライブ ^{注10}		300GB (シリアル ATA/150) ^{注11}
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ ^{注12}
オーディオ機能	オーディオコントロール ローラ	チップセット内蔵+ AC97 コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
通信機能	モデム	データ: 最大 56kbps (V.90 規格準拠) ^{注13} / FAX: 最大 14.4kbps
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠
	無線 LAN	IEEE802.11a (J52/W52/W53) 準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠 (Wi-Fi® 準拠) ^{注14}
メディアアタック (FMNET-101 添付)		—
テレビ機能	地上アナログ	受信チャンネル: VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch)、CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応
	BS アナログ	—
	地上デジタル	—
	BS デジタル	—
	110度CS デジタル	—
録画形式 ^{注18}		MPEG2 (ハードエンコード)
高画質化機能		3次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応) (1 スロット (背面側) にワイヤレス LAN カードを搭載)
	SD カード / メモリー スティック / xD- ビック チャーカード ^{注19}	× 1 スロット
	USB ^{注20}	USB2.0 準拠 × 6 (左側面 × 2、右側面 × 4)
	IEEE1394 (DV)	4 ピン × 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)
	LAN	RJ-45 × 1
	テレビ	アンテナ入力 (地上アナログ) × 1、ビデオ入力 (S ビデオ) × 1、 ビデオ入力 (コンポジット) × 1、ビデオ音声入力 (右/左) × 1
	オーディオ	マイク: ϕ 3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10k Ω 以上 (DC) 2k Ω 以上)、ヘッドホン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32 Ω)、光デジタルオーディオ出力: 角形: 光プラグ、ラインイン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック
電源/周波数	AC100V 50/60Hz	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」 (**▶ P.168) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX65S
消費電力	電源 OFF 時 ^{注21}	2W 以下
	動作時	通常約 137W 最大 229W スタンバイ時約 3W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 ^{注22}		P 区分 0.00021
省エネルギー基準達成率		AAA
外形寸法		W 554 × D270 × H477mm (突起部含まず)
質量		約 18.5kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度 10 ～ 35 °C / 湿度 20 ～ 80%RH (動作時)、温度 -10 ～ 60 °C / 湿度 20 ～ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注23} (DirectX:9.0c 対応)
サポート OS		Windows XP Home Edition ^{注24} 、Windows XP Professional ^{注24}

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶P.168)をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX65SN
CPU		HT テクノロジ インテル® Pentium® 4 プロセッサ 517 ^{注1} 2.93GHz
キャッシュメモリ		1次: 12K μ Ops 実行トレース+ 16KB データ、 2次: 1MB (CPU 内蔵)
チップセット		インテル® 915GV チップセット
システム・バス		533MHz
メインメモリ ^{注2} ★		標準 512MB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし ^{注3} 最大 2GB ^{注4} / 1GB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし ^{注3} 最大 2GB ^{注4} / 2GB (PC2-4200 デュアルチャネル DDR2 SDRAM DIMM) ECC なし ^{注3} 最大 2GB ^{注4}
メモリスロット		× 2 (空きスロットなし)
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵
	ビデオメモリ	最大 128MB (メインメモリと共用) ^{注6}
	液晶ディスプレイ ^{注7}	19 型デジタル液晶
	解像度/発色数	最大 1280 × 1024 ドット/最大 1619 万色
フロッピーディスク ドライブ ^{注9}		FDD ユニット (USB) (別売)
ハードディスク ドライブ ^{注10} ★		200GB / 300GB (シリアル ATA/150) ^{注11}
CD/DVD ドライブ		スーパーマルチドライブ ^{注12}
オーディオ機能	オーディオコント ローラ	チップセット内蔵+ AC97 コーデック
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数 最大 48kHz、16 ビットステレオ、同時録音再生対応
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート
通信機能	モデム	データ: 最大 56kbps (V.90 規格準拠) ^{注13} / FAX: 最大 14.4kbps
	LAN	100BASE-TX/10BASE-T 準拠
	無線 LAN ★	IEEE802.11a (J52/W52/W53) 準拠、IEEE802.11b 準拠、IEEE802.11g 準拠 (Wi-Fi® 準拠) ^{注14}
メディアタンク (FMNET-101 添付)		—
テレビ機能	テレビチューナー	地上アナログ 受信チャンネル: VHF (1 ~ 12ch)、UHF (13 ~ 62ch)、CATV (C13 ~ C63ch) ステレオ、音声多重対応
		BS アナログ —
		地上デジタル —
		BS デジタル —
		110度CS デジタル —
		録画形式 ^{注18}
	高画質化機能	3次元 Y/C 分離、ゴーストリダクション
インターフェイス	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type I / II × 2 スロットまたは Type III × 1 スロット (CardBus 対応) (ワイヤレス LAN カードを選択した場合、1 スロット (背面側) にワイヤレス LAN カードを搭載)
	SD カード / メモリー スティック /xD- ビク チャーカード ^{注19}	× 1 スロット
	USB ^{注20}	USB2.0 準拠 × 6 (左側面 × 2、右側面 × 4)
	IEEE1394 (DV)	4 ピン × 1 (S400)
	モデム	RJ-11 × 2 (LINE × 1、PHONE × 1)
	LAN	RJ-45 × 1
	テレビ	アンテナ入力 (地上アナログ) × 1、ビデオ入力 (S ビデオ) × 1、 ビデオ入力 (コンポジット) × 1、ビデオ音声入力 (右/左) × 1
	オーディオ	マイク: ϕ 3.5mm ミニジャック (入力: 100mV 以下、入力インピーダンス (AC) 10k Ω 以上 (DC) 2k Ω 以上)、ヘッドホン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック (出力: 1mW 以上、負荷インピーダンス 32 Ω)、光デジタルオーディオ出力: 角形: 光プラグ、ラインイン: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック、ラインアウト: ϕ 3.5mm ステレオ・ミニジャック

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART (ウェブマート)」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

注記については、「仕様一覧の注記について」 (**▶ P.168) をご覧ください。

製品名称		FMV-DESKPOWER LX65SN
電源／周波数		AC100V 50/60Hz
消費電力	電源 OFF 時 ^{注21}	2W 以下
	動作時	通常約 137W 最大 229W スタンバイ時約 3W
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 ^{注22}		P 区分 0.00021
省エネルギー基準達成率		AAA
外形寸法		W 554 × D270 × H477mm (突起部含まず)
質量		約 18.5kg
盗難防止用ロック取り付け穴		あり
温湿度条件		温度 10 ～ 35℃ / 湿度 20 ～ 80%RH (動作時)、温度 -10 ～ 60℃ / 湿度 20 ～ 90%RH (非動作時) (ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと)
プレインストール OS		Windows XP Home Edition ^{注23} (DirectX:9.0c 対応)
サポート OS		Windows XP Home Edition ^{注24} 、Windows XP Professional ^{注24}

インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART (ウェブマート)」でのみご購入いただける製品の仕様です。

★ ご購入時に選択したものをご覧ください。


パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。


注記については、「仕様一覧の注記について」(●▶ P.168)をご覧ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 : ハイパー・スレディング・テクノロジーが搭載されています。ご購入時のハイパー・スレディング・テクノロジー設定は、有効になっています。
ソフトウェアや周辺機器を追加される場合は、ハイパー・スレディング・テクノロジーに対応しているか、販売元にご確認ください。
- 注 2 : ビデオメモリと共有しているため、「コントロールパネル」の「パフォーマンスとメンテナンス」の「システム」では、搭載メモリサイズより少なく表示されます。
LX65 シリーズの場合、ビデオメモリの使用量は、Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) により、パソコンの動作状況によって自動的に変化します。LX50S の場合、ビデオメモリの使用量は、64MB です。その他の機種の場合、ビデオメモリの使用量は、64MB (メインメモリが 1GB 以上搭載時は 128MB) です。
- 注 3 : メモリについては、533MHz の周波数で動作します。
- 注 4 : ・メインメモリの最大容量は拡張 RAM モジュール 1GB を 2 枚搭載した場合です。また、デュアルチャネルで動作させるには当社指定の純正オプションが必要です。
・このパソコンに取り付けるメモリは、PC2-4200 対応 (DDR2) または PC2-4300 対応 (DDR2) のものをお使いください。
- 注 5 : 当社指定の純正オプションを追加することにより、デュアルチャネルで動作させることができます。
- 注 6 : Intel® Dynamic Video Memory Technology (DVMT) を使用しているため、パソコンの動作状況により、メモリ容量が自動的に変化します。
- 注 7 : ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります (有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示している全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています)。
これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・長時間同じ表示を続けることと残像となることがありますが、故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。
この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・表示する条件によっては、むらおよび微少な斑点が目立つことがありますが、故障ではありません。
- 注 8 : グラフィックアクセラレータの出力する最大発色数は 1677 万色ですが、液晶ディスプレイではディザリング機能によって、擬似的に表現されます。
- 注 9 : ・このパソコンにはフロッピーディスクドライブは内蔵されていません。オプション品の FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) をお買い求めの上、お使いください。
なお、FDD ユニットの接続と取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) を接続すると、デスクトップの  (マイコンピュータ) 内にドライブが表示され、フロッピーディスクドライブとして使うことができます。
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは使用できません。
・OASYS 文書フロッピー
・640KB でフォーマットしたフロッピーディスク
・FDD ユニット (USB) (FMFD-51S または FMFD-51SZ) では、次のフロッピーディスクは、データの読み書きはできませんが、フォーマットはできません。
・1.25MB でフォーマットしたフロッピーディスク
・1.23MB でフォーマットしたフロッピーディスク
・720KB でフォーマットしたフロッピーディスク
- 注 10 : このマニュアルに記載のディスク容量は、1MB=1000³byte、1GB=1000³byte 換算によるものです。
Windows 上で 1MB=1024²byte、1GB=1024³byte 換算で表示される容量は、このマニュアルに記載のディスク容量より少なくなります。
- 注 11 : C ドライブは「インスタント MyMedia」と「マイリカバリ」用に、合わせて約 4.3GB の領域が占有されています。
そのため、「マイコンピュータ」のハードディスクの総容量は、マニュアルの記載よりも約 4.3GB 少なく表示されます。
なお、ハードディスクの区画の数や種別を変更したり、外付けドライブを接続した状態では、「インスタント MyMedia」および「マイリカバリ」が正常に動作しなくなります。ご了承ください。
- 注 12 : ドライブの主な仕様は次の通りです。
スーパーマルチドライブ

CD/DVD	読出速度 (最大)	書込速度 (最大)	書換速度 (最大)
CD-ROM	40 倍速	—	—
CD-R	40 倍速	40 倍速	—
CD-RW	24 倍速	10 倍速	10 倍速
DVD-ROM	16 倍速	—	—
DVD-R	10 倍速	16 倍速	—
DVD-R DL	8 倍速	4 倍速	—
DVD-RAM	5 倍速 (4.7/9.4GB)	5 倍速 (4.7/9.4GB)	—
DVD-RW	8 倍速	6 倍速	6 倍速
DVD+R	10 倍速	16 倍速	—
DVD+R DL	8 倍速 (8.5GB)	4 倍速 (8.5GB)	—
DVD+RW	8 倍速	8 倍速	8 倍速

- 注 13 : ・56000bps は、V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。
詳しくは、 (サービスマニュアル) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「10. 関連するマニュアル」→「内蔵モデム」をご覧ください。
・本モデムは、電気通信事業法による技術基準適合認定を取得しています。
回線認定番号 : A04-0001005

- 注 14 : ・ Wi-Fi[®] 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の総合接続性テストに合格していることを示します。
 ・ Super AGTM に対応しています。Super AGTM は Super AGTM に対応したアクセスポイントとの通信を行うときのみ利用できます。
 ・ 無線 LAN の仕様については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「10. 関連するマニュアル」→「無線 LAN」をご覧ください。
- 注 15 : メディアタンクをお使いになるには、メディアタンクに添付されているマニュアルをご覧ください。
- 注 16 : ・ ペーパービューのチャンネルはサポートしていません。
 ・ 同一周波数パススルー方式に対応しています。周波数変換パススルー方式、トランスモジュレーション方式には対応していません。
- 注 17 : ペーパービューのチャンネルはサポートしていません。
- 注 18 : ・ Windows が起動しているとき、または「インスタント MyMedia」が起動しているときに録画することができます。
 ・ テレビ番組の録画などは、お客様個人またはご家庭で楽しむ目的でのみ、ご利用ください。
 ・ テレオなどコピーガード信号を含んだ映像を、録画することはできません。
 ・ ビデオ入力 (S ビデオ) 端子やビデオ入力 (コンポジット) 端子に接続した一部のビデオ機器では、メニューや操作画面においてコピーガード信号を出しています。このような場合も、映像を録画することはできません。
- 注 19 : ・ 「SD メモリーカード」、「メモリースティック」、「xD-ピクチャーカード」の同時使用はできません。
 ・ 「マジックゲート」機能が必要なデータの記録/再生はできません。
 ・ マルチメディアカード (MMC) には対応していません。
 ・ SD メモリーカード、miniSD カードは、著作権保護機能 (CPRM) に対応しています。
 このパソコンでは「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」というソフトウェアで SD-Audio 形式でファイルの読み書きを行うときに、SD メモリーカード、または miniSD カードの著作権保護機能 (CPRM) が有効になります。
 「MOOCS PLAYER」や「SD-Jukebox」については次のページをご覧ください。
 ・ 「MOOCS PLAYER」 (<http://moocs.com/>)
 ・ 「SD-Jukebox」 (<http://panasonic.jp/support/software/sdjb/index.html>)
- 注 20 : すべての USB 対応周辺機器について動作するものではありません。
- 注 21 : 電源 OFF 時の消費電力を回避するには、パソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 注 22 : エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
- 注 23 : 出荷時に、Microsoft[®] Windows[®] XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されています。
- 注 24 : Microsoft[®] Windows[®] XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載が適用されている必要があります。

2 その他の仕様

液晶ディスプレイ

■ LX90/70 シリーズの場合

表示方式	TFT
サイズ	20.1 型ワイド
最大解像度	1680 × 1050 ドット
最大発色数	1619 万色
画素ピッチ	0.258mm × 0.258mm

■ LX65 シリーズの場合

表示方式	TFT
サイズ	19 型
最大解像度	1280 × 1024 ドット
最大発色数	1619 万色
画素ピッチ	0.294mm × 0.294mm


■ LX55/50 シリーズの場合

表示方式	TFT
サイズ	17 型
最大解像度	1280 × 1024 ドット
最大発色数	1619 万色
画素ピッチ	0.264mm × 0.264mm

内蔵スピーカー

方式	トランソニックスピーカー
スピーカーユニット	口径：40 (mm) × 1 個 インピーダンス 4.0 Ω
定格入力	2W/ch
音圧レベル	77dB/W (m)
再生周波数	170Hz ~ 20kHz

LAN 機能

次の表は、有線 LAN の仕様です。無線 LAN の仕様については、 (サービスアシスタント) のトップ画面→「画面で見るマニュアル」→「10. 関連するマニュアル」→「無線 LAN」をご覧ください。

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合

LAN コントローラ	Broadcom BCM5751
送受信バッファ用 RAM	送受信 各 2kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル ^{注1} (1Gbps : カテゴリ 5E 以上、100Mbps : カテゴリ 5 以上、10Mbps : カテゴリ 3 以上)
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	1Gbps、100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数/セグメント	ハブユニット ^{注2} による

■ LX65 シリーズの場合

LAN コントローラ	Realtek RTL8100C
送受信バッファ用 RAM	送受信 各 2kbyte
外部インターフェース	ISO8802-3 100BASE-TX/10BASE-T
伝送媒体	ツイストペアケーブル ^{注1} (100Mbps : カテゴリ 5 以上、10Mbps : カテゴリ 3 以上)
伝送方式	ベースバンド
アクセス方式	CSMA/CD
データ転送速度	100Mbps、10Mbps
配線形態	スター型
セグメント最大長	100m
最大ノード数/セグメント	ハブユニット ^{注3} による

注1 : ネットワークを 100Mbps で確実に動作させるには、非シールド・ツイスト・ペア (UTP) カテゴリ 5 またはそれ以上のデータグレードのケーブルをお使いください。カテゴリ 3 のケーブルを使うと、データ紛失が発生します。

注2 : ハブユニットとは、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

注3 : ハブユニットとは、100BASE-TX/10BASE-T のコンセントレータです。

POINT

ネットワークのスピードについて

LAN はネットワークのスピードに自動で対応します。ハブユニットの変更などでネットワークのスピードが変更される場合、スピードに対応した適切なデータグレードのケーブルを必ずお使いください。

高画質テレビチューナー（アナログ放送用）

**LX90S/D, LX65S, LX65SN, LX50S の場合、
LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）を選択した場合、
LX55SN, LX50SN で高画質テレビチューナー（アナログ放送用）を選択した場合のみ**

割り込み（IRQ）	PCI システムによる自動設定
メモリマッピング	PCI システムによる自動設定
NTSC 入力仕様	NTSC コンポジット：1Vp-p75Ω Sビデオ：1Vp-p75Ω
コネクタ	ビデオ音声入力端子（右）：RCA ピンジャック×1 ビデオ音声入力端子（左）：RCA ピンジャック×1 ビデオ入力（コンポジット）端子：RCA ピンジャック×1 ビデオ入力（Sビデオ）端子：ミニ DIN4 ピンジャック×1 アンテナ入力端子（地上アナログ）：F型コネクタ×1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75ΩF型コネクタ

ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）

**LX90S/D の場合、
LX90SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CS デジタル放送用）を選択した場合のみ**

コネクタ	アンテナ入力端子：F型コネクタ×2
RF 入力端子	75ΩF型コネクタ
BS アンテナ電源供給	右旋円偏波時：DC15V、最大 4W
受信周波数	地上デジタル：90～770MHz BS・110度CSデジタル：1032MHz～2071MHz

ハイビジョン（地上デジタル）／高画質（アナログ）テレビチューナー

**LX70S/D,LX55S/D,LX50S/DS,LX50S/D の場合、
LX90SN,LX70SN,LX55SN,LX50SN でハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）を選択した場合のみ**

割り込み（IRQ）	PCI システムによる自動設定
メモリマッピング	PCI システムによる自動設定
NTSC 入力仕様	NTSC コンポジット：1V _{p-p} 75Ω S ビデオ：1V _{p-p} 75Ω
コネクタ	ビデオ音声入力端子（右）：RCA ピンジャック×1 ビデオ音声入力端子（左）：RCA ピンジャック×1 ビデオ入力（コンポジット）端子：RCA ピンジャック×1 ビデオ入力（S ビデオ）端子：ミニ DIN4 ピンジャック×1 アンテナ入力端子（地上デジタル・地上アナログ）：F 型コネクタ×1
TV 音声仕様	ステレオ、音声多重対応
RF 入力端子	75ΩF 型コネクタ
受信周波数	地上デジタル：470～770MHz（U13～U62）

リモコン

通信方式	赤外線方式	
使用可能距離	正面で約 7m	
乾電池の寿命の目安	約 6ヶ月（マンガン乾電池使用時）	
使用可能範囲	水平	約 30°
	垂直	上：約 10° / 下：約 40°
使用電池	単 3 形乾電池 2 本	

ワイヤレスキーボード（ワンタッチボタン付、無線方式、抗菌^注）

■ LX90/70/55/50 シリーズの場合

キー配列	104 キー（テンキー付）+ワンタッチボタン（8ヶ）+パソコン電源ボタン
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m(3m 以内を推奨)、左右約 45 度（ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 6ヶ月（ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります）
外形寸法（W × D × H）	約 387mm × 約 151mm × 約 30mm（チルト未使用時）
質量	約 650g（乾電池含まず）

注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分（キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く）

■ LX65 シリーズの場合

キー配列	105 キー（テンキー付）+ワンタッチボタン（8ヶ）+パソコン電源ボタン
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m(3m 以内を推奨)、左右約 45 度（ただし、設置環境により短くなる場合があります）
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 6ヶ月（ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります）
外形寸法（W × D × H）	約 437mm × 約 170mm × 約 35mm（チルト未使用時）
質量	約 1200g（乾電池含まず）

注：抗菌処理部分：キーボードのキートップ部分（キーボードのキートップ部分に刻印された文字およびワンタッチボタンは除く）

ワイヤレスマウス（光学式）

セレクトスイッチ動作形式	2 押ボタン、1 ホイール
インターフェース	RF（無線）方式
使用可能範囲	パソコン本体から最大 10m(3m 以内を推奨)、左右約 45 度 (ただし、設置環境により短くなる場合があります)
使用電池	単 3 形アルカリ乾電池 2 本
乾電池の寿命の目安	毎日 2 時間の使用で約 3 ヶ月 (ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります)
外形寸法 (W × D × H)	約 60mm × 約 114mm × 約 35mm
質量	約 90g (電池含まず)

この本で見つからない情報は、「画面で見るマニュアル」で！

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→

「富士通サービスアシスタント(マニュアル&サポート)」の「画面で見るマニュアル」

索引

A

Application ボタン 30, 32

B

B-CAS カードスロット 25

C

CD/DVD 取り出しボタン 20, 21

CONNECT ボタン 25, 27

D

DDR2 138

DIMM 138

E

ECC 138

I

ID 設定 151

IEEE1394 (DV) 端子 20, 24

L

LAN コネクタ 22, 23, 26

LINE 端子 22, 23, 26

LINK ランプ 24, 25

M

Mute (消音) ボタン 30, 32

N

Norton Internet Security 109

P

PC カードスロット 24, 25

PC カード取り出しボタン 24, 25

PHONE 端子 22, 23, 26

POWER ランプ 24, 25

S

SDRAM 138

SPD 138

U

USB コネクタ 20, 22, 23, 24, 26

W

Windows

ー使用許諾契約書 81

ーセットアップ 74

Windows Update 101

あ行

明るさ調節つまみ 25, 26

アップデートナビ 121

アンテナ入力端子 23

アンテナ入力端子 (BS・110度 CS デジタル) 22

アンテナ入力端子 (地上アナログ) 22, 26

アンテナ入力端子 (地上デジタル) 22

インターネット 99

インターネットボタン 31, 32

インレット 24, 25

ウイルス 99

液晶ディスプレイ 20, 21

液晶ディスプレイのお手入れ 41

音量調節ボタン 30, 32

か行

各部名称 19

ーパソコン本体前面 20

ーパソコン本体側面 22

ーパソコン本体内部 28

ーパソコン本体背面 27

ーワンタッチボタン 30

キーボード

ーID 設定 151

ー乾電池 150

ー準備 50

キーボード収納レール 20

キーボード/マウスアンテナ 20, 21

機種名 34

クリック 78

コア 158

光学式マウス 80

さ行

サービスアシスタント 90

サポートボタン 31, 32

仕様

ーLAN 機能 171

ー液晶ディスプレイ 170

ー高画質テレビチューナー (アナログ放送用) 172

ー内蔵スピーカー 170

ーハイビジョン・テレビチューナー

(地上・BS・CS デジタル放送用) 172

ーハイビジョン (地上デジタル) /

高画質 (アナログ) テレビチューナー 173

ーパソコン本体	160
ーリモコン	173
ーワイヤレスキーボード	174
ーワイヤレスマウス	175
スーパーマルチドライブ	20, 21
スピーカー	20, 21
セキュリティ対策	109
接続する	49
セットアップ	74

た行

ダイレクトメモリスロット (SD カード、 メモリスティック、xD-ピクチャーカード)	20, 24
通風孔	22, 23, 24, 25, 26, 27
電源	
ー入れる	96
ー切る	92
ー切れない場合	95
電源ケーブルの接続	66
盗難防止用ロック取り付け穴	27

は行

ハードディスク / CD アクセスランプ	20, 21
初めて電源を入れる	72
パソコン電源ボタン	20, 21
パソコン電源ランプ	20, 21
パソコン本体のお手入れ	42
バックアップボタン	31, 32
光デジタルオーディオ出力端子	22, 23, 26
ビデオ 1 音声入力端子 (左)	22, 23
ビデオ 1 音声入力端子 (右)	22, 23
ビデオ 1 入力 (S ビデオ) 端子	22, 23
ビデオ 1 入力 (コンポジット) 端子	22, 23
ビデオ 2 音声入力端子 (左)	20
ビデオ 2 音声入力端子 (右)	20
ビデオ 2 入力 (S ビデオ) 端子	20
ビデオ 2 入力 (コンポジット) 端子	20
ビデオ音声入力端子 (左)	26
ビデオ音声入力端子 (右)	26
ビデオ入力 (S ビデオ) 端子	26

ビデオ入力 (コンポジット) 端子	26
品名	34
ヘッドホン端子	20, 24
保証書	47
ボリュームボタン (+)	30, 32
ボリュームボタン (-)	30, 32

ま行

マイク端子	20, 24
マイリカバリ	124
マウス	
ー ID 設定	151
ー乾電池	150
ー準備	50
ー持ち方	78
無線 LAN	127
無線 LAN アンテナ	24, 25
メールボタン	31, 32
メディアタンク	128
メニューボタン	31, 32
メモリ	137
ー組み合わせ	139
ー取り付け	141
ー持ちかた	140
メモリスロット	28, 29
メモリバスクロック	138

や行

ユーザー登録をする	125
-----------	-----

ら行

ラインアウト端子	22, 23, 26
ラインイン端子	22, 23, 26
リモコン受光部	20, 21
録画ランプ	20, 21

わ行

ワイヤレス LAN カード	24, 25
ワンタッチボタン	30

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

Memo

FMV-DESKPOWER LX90S/D,LX90SN,LX70S/D,LX70SN,
LX65S,LX65SN,LX55S/D,LX55SN,LX50S/DS,LX50S/D,
LX50S,LX50SN

パソコンの準備

B6FH-9141-01-00

発行日 2006年4月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。